

年 報

第 36 号

令和四年度
(2022 年度)

大阪がん循環器病予防センター

は じ め に

今年は元旦早々から、能登地震が勃発し大変な幕開けとなりました。辰（龍）が目覚まして暴れ出したのかと思わせる一瞬でした。被災されました方々には心よりお悔やみ申し上げます。

我々を悩まし続けた新型コロナウイルス感染症は長いトンネルを抜けて、やっと落ち着きを見せており日常生活を取り戻しました。しかしながら、そのすきを見つけてインフルエンザが顔をのぞかせることもありました。ともかく感染症だけは今後も続く永遠の医療のテーマかと思われます。新型コロナの経験から、我々は常日頃からの感染対策において油断は禁物であることを学びました。

さて、当センターにおきましても、新型コロナの影響を受けて健診（検診）受診者数は一時落ち込みましたが、徐々に回復の兆しを見せております。当センターに限らず、この影響は全国的にも同様であり、その結果、早期がんが減り進行したケースが増えたとの報告を受け、健診（検診）の重要性が再認識されたことと思われます。

当センターにおける検診受診者数は新型コロナの影響からここ数年低迷していましたが、最近では徐々に回復しております。中でも、胃内視鏡や腹部エコー検診の要望が増えております。しかしながら、大阪府全体としてのがん検診の受診率は依然として低い状態にあります。例年10月のがん予防月間に合わせて、大阪府、大阪市や大阪府医師会などとの協力の下、府民を対象としたがん予防キャンペーンを開催しており、去年は子宮頸がんワクチンに関する講演会を行いました。また、当センターのホームページ上でがんを含む生活習慣病について、それぞれの専門家による解説や予防の大切さをオンライン市民公開セミナーとして公開しています。この試みに対しては、相当の反響が見られ、今後も項目を増やして継続していく所存です。

精度管理につきましては、大阪府の委託を受け府内各市町村検診の実態把握に努めるとともにと検診率を上げるための相談に乗るとともに、精検受診率の向上を目指して助言指導を行っています。

循環器予防事業については、昨年4月より大阪健康安全基盤研究所に所管替えがなされたため、今年度の報告が最後となりますが、地域や職域の検診データの解析を通じて、健康増進のためのツール開発や国保のビッグデータの分析を行いました。

ここに令和4年度の実績を詳しくまとめ掲載したので参考にいただければ幸いです。

令和6年3月

公益財団法人 大阪府保健医療財団

理事長 伊 藤 壽 記

目 次

総 括 編

I 概 要	1
1 大阪がん循環器病予防センターの沿革	3
2 がん予防検診部門(旧大阪がん予防検診センター)のあゆみ	4
(1) 設 立 趣 旨	4
(2) 沿 革	5
3 循環器病予防部門(旧健康科学センター)のあゆみ	6
(1) 設 立 趣 旨	6
(2) 沿 革	6
II 管 理	7
1 組 織	9
2 理事会・評議員会等の開催状況	10
3 評議員・役員名簿	11
4 幹部職員・職員数	12
5 主要事業開始日	13
6 施設認定および職員の認定資格	14
7 施 設 概 要	15
8 主 要 備 品 一 覧 表	18
9 会 計	24
III 検診・健診事業	27
1 がん検診事業	28
(1) 胃がん検診	30
(2) 子宮がん検診	32
(3) 乳がん検診	34
(4) 肺がん検診	36
(5) 大腸がん検診	37
2 総合健診	38
3 所外健診	39
4 検 査	40
5 医療機関との連携	42
6 精度管理と研修	43
7 循環器病予防活動	46
IV 広 報 活 動	49
1 概 要	50
2 がん予防キャンペーン大阪2022	50
3 オンライン市民公開セミナー	50

4 講 師 派 遣	53
5 そ の 他	54
V 受診者満足度調査	55
1 概 要	56
2 アンケート結果についての対応	57
VI 研究及び研究支援	59
1 概 要	60
2 国などの研究班への参加	60
3 各 種 役 員 ・ 委 員	62
4 学会及び学術集会主催	63
5 学会発表及び学術講演	63
6 研 究 論 文 ・ 著 書	66
7 受 賞 及 び 表 彰	68
8 大阪がん予防対策基金	69

資 料 編

VII がん検診結果集計資料	77
1 胃 が ん 検 診	
(1) 胃がん検診実績表（施設検診・車検診号車別）	78
(2) 胃がん検診結果集計表	79
(3)～(6) 胃がん検診結果集計表（性・年齢階級別）	80
(7) 胃がん精検機関別精検受診数	84
(8) 市町村別胃がん検診精密検査機関	85
2 子 宮 が ん 検 診	
(1) 子宮がん検診結果集計表	86
(2) 子宮がん検診結果集計表（年齢階級別）	87
(3) 子宮がん精検機関別精検受診数	88
(4) 市町村別子宮がん検診精密検査機関	89
3 乳 が ん 検 診	
(1) 乳がん検診結果集計表	90
(2) 乳がん検診結果集計表（年齢階級別）	91
(3) 乳がん精検機関別精検受診数	92
(4) 市町村別乳がん検診精密検査機関	93
4 肺 が ん 検 診	
(1) 肺がん検診結果集計表	94
(2) 肺がん検診（C T）結果集計表（性・年齢階級別）	95
(3) 肺がん検診（X線）結果集計表（性・年齢階級別）	96

5 大 腸 が ん 検 診

(1) 大腸がん検診結果集計表	97
(2)～(5) 大腸がん検診結果集計表（性・年齢階級別）	98
(6) 大腸がん精検機関別精検受診数	102
(7) 市町村別大腸がん検診精密検査機関	103

總 括 編

I 概 要

1 大阪がん循環器病予防センターの沿革

大阪がん循環器病予防センターは、大阪がん予防検診センターと大阪府立健康科学センターとの統合により平成24年4月1日に発足致しました。

これら2施設の設立の経緯を辿りますと、両者共に大阪府立成人病センターの設立当初からの事業に関わっています。

大阪府立成人病センターは、大阪府の成人病予防行政の一環として、昭和34年9月に、高血圧、心臓疾患、がんなどのいわゆる成人病の予防、早期発見およびこれらの調査、研究等を行い、府内における成人病に関する医療水準の向上を図るための中核施設として設置されました。(大阪府立成人病センター設立の趣旨より抜粋) この目的のために、成人病センターでは設立当初より循環器集団検診事業を、昭和36年より胃集団検診事業を開始しました。

その後、昭和62年に(財)大阪がん予防検診センターが設立され、胃検診部門の検診車集検、施設集検業務が移管されました。

また、平成13年には大阪府立健康科学センター((財)大阪府保健医療財団)が設立され、循環器集団検診事業が移管されました。

平成24年に両センターが統合され、昭和30年代から続けられてきた、大阪府におけるがん予防事業と循環器病予防事業を、再びひとつの施設で行うこととなりました。

令和5年4月より、循環器病予防部事業が地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に移管されることから、令和5年3月31日付けで循環器病予防部門を廃止しました。

以下に統合までの両施設の沿革を掲載します。

2 がん予防検診部門(旧大阪がん予防検診センター)のあゆみ

(1) 設立趣旨

がんによる死亡は、年々増加しており、我が国では昭和56年以降死因順位のトップを占めつづけております。この傾向は人口構造の高齢化に伴い今後ますます増加するものと予想され、がん制圧は我が国のみならず人類共通の課題となっております。

大阪府でも昭和46年以降死因のトップを占め、現在、がんで亡くなる人は年間1万2千名を越え、その数は今なお年々増加しております。また、がんは主として中高年齢層をおそい、その及ぼす影響は、本人や家庭ばかりでなく社会にとっても大きな問題であります。このようなことから、がんに対する住民の不安は大きなものがあり、また、がん対策に強い期待がかけられております。

一方、近年の医療の長足の進歩によって、がんについても早期に発見し適切な治療を受ければ、その殆どは治るようになっております。国においても、老人保健事業としてがん検診の一層積極的な推進を図るほか、対がん10か年総合戦略を策定し、がんの本態解明を目指すなど、がん対策には特に力を入れつつあります。

このような状況に応じ、がん対策をより効果的に推進するためには、地域医療機関、高度医療機関、行政等が機能・特色を生かして一層の連携を図り、がんの早期発見を促し、早期治療に結びつけるとともに、がん対策に関し府内全体の水準の向上を図る必要があります。また、がん予防についての府内全域にわたるきめ細かい対応が必要であります。

このようなことから、社団法人大阪府医師会、大阪府が中心となり、府内におけるがん予防活動の推進体として、財団法人大阪がん予防検診センターの設立を検討してきましたが、さらに大阪市も参画・出捐して法人の発足を図り、がん予防に関する知識の啓発普及、各種のがん検診、細胞検査、専門技術者に対する各種の研修、調査研究、その他がん予防に関する必要な事業を行い、今後の高齢化社会に向けてますます重要となる府民の健康の保持増進と地域保健の向上に寄与しようとするものであります。

(「設立趣意書」より)

(2) 沿革

昭和61年10月	財団法人大阪がん予防検診センター 設立認可	平成元年 9 月	「がん予防キャンペーン大阪'89」 コンピューターによる危険度判定と 保健指導、街頭・店頭キャンペーン、 がん予防テレホンサービスキャブテン システムによるがん予防情報サービス
昭和62年 4 月	胃がん検診：車検診開始（間接X線 撮影装置10台） 肺がん(所外)検診：4市3町の住民 対象に実施	平成 5 年 2 月	「創立 5 周年記念講演会」開催
4 月	大阪がん予防検診センター（建物） を引継ぐ	10 月	第47回保健文化賞受賞
5 月	細胞診検査、組織診検査業務開始 大阪がん予防検診センター（附属診 療所）開所式典 子宮がん検診：車検診開始（細胞診 検査 1 台） 三笠宮寛仁親王殿下御夫妻御視察 胃がん検診：施設での集団検診開始 （間接X線撮影装置 2 台）	平成 9 年 4 月	総合健診：施設において大阪市住民 を対象に開始
6 月	子宮がん検診：施設での一次、二次 検診開始	6 月	総合健診：車検診 職域を対象に 開始（1 台）
10 月	検診結果のコンピュータ処理開始 胃がん検診：施設での精密検査開始 （胃X線直接撮影装置「FCR 対応」 1台、内視鏡） 乳がん検診：施設での一次検診（視・ 触診）二次検診開始 （乳房X線撮影装置「FCR 対応」1台、 超音波診断装置 1 台）	11 月	施設において禁煙クリニックを開始
11 月	「がん予防キャンペーン大阪'87」 街頭・店頭キャンペーン、世界の がん予防ポスター展 「喫煙と健康教育大阪セミナー」開催	平成13年 4 月	乳がん車検診：超音波検診車をマン モグラフィ検診車に変換、検診開始
昭和63年 2 月	第 1 回禁煙コンテスト開催	平成14年 6 月	肺がん検診：精密検査でヘリカルCT 検 査を開始
3 月	昭和62年度大阪がん予防対策基金事 業研究助成決定（3 件）	平成15年 3 月	がん予防クリニック開設
4 月	大腸がん検診：一次検診開始（便潜 血検査）	平成17年 4 月	肺がん検診：車 CT 検診開始 （ヘリカルCT 撮影装置 1 台、喀痰細 胞診検査）
5 月	肺がん検診：施設での一次検診開始 （胸部X線撮影装置「FCR 対応」1台、 喀痰細胞診検査）	平成18年 4 月	胃がん車検診：デジタル胃X線検診 車に変換（2 台）、検診開始
6 月	肺がん検診：施設での精密検査開始 （断層X線撮影装置「FCR 対応」1台、 喀痰細胞診検査）	6 月	乳がん車検診：デジタルマンモグラ フィ検診車検診開始（1 台）
7 月	乳がん検診：車検診開始（超音波診 断装置 1 台）	平成19年 3 月	胃がん車検診：デジタル胃X線検診 車に変換（1 台）、検診開始
9 月	がん危険度セルフチェックキャン ペーン、街頭・店頭キャンペーン、 世界のがん予防ポスター展	平成20年 3 月	施設検診システム稼働 胃がん車検診：デジタル胃X線検診 車に変換（1 台）、検診開始
平成元年 3 月	昭和63年度大阪がん予防対策基金事 業研究助成決定（10件）	平成22年 3 月	肺がん車検診：デジタル化に変換 検診開始
		4 月	（財）大阪府保健医療財団と法人統合
		9 月	乳がん車検診：乳がん検診強化の為 デジタルマンモグラフィ検診車購入 （1 台）
		平成24年 4 月	大阪がん予防検診センターと大阪 府立健康科学センターとの事業統合 大阪がん予防検診センターから大阪 がん循環器病予防センターに名称 変更
		平成25年 3 月	公益財団法人への移行認定
		4 月	公益財団法人への移行登記
		平成29年 2 月	日本人間ドック学会の定める人間ド ック健診施設機能評価に認定
		令和 2 年10 月	デジタルマンモグラフィ検診車更新 （1 台）
		令和 5 年 3 月	循環器病予防部門廃止

3 循環器病予防部門(旧健康科学センター)のあゆみ

(1) 設立趣旨

大阪府では、従来から他府県に比較して平均寿命が短く、中高年の死亡率が高いこと、特に循環器病やがんによる死亡率が高いことが行政課題となっています。これらの課題の解決のために、府民の健康度の変化を早期に把握し、生活習慣を改善するとともに環境の改善や必要な医療へ繋げていくことが必要となっています。そのためには、科学的根拠に基づく効果的な健康づくり技法の開発、健康情報の普及啓発、指導者育成、実践活動を行う拠点施設が必要であることが強く認識され、健康科学センターの設置へと繋がりました。

(2) 沿 革

昭和34年に、脳卒中、心疾患、がん等の成人病の研究および対策を確立するため、大阪府では全国に先駆けて、大阪府立成人病センターをオープンし、死因の第一位で国民病と言われた脳卒中の予防を図るため、調査部集検一科を設置しました。当時、脳卒中の原因はおろか死亡や発生の実態すら十分に把握されていない状況でしたが、旧健康科学センター顧問の小町喜男氏が先駆的に循環器病の予防のための疫学研究と実践活動を開始され、さらに集団検診第一部へと発展した組織で活動を展開され、日本の循環器病予防の疫学研究と対策の進展に先導的な役割を果たされてきました。

平成4年には、「大阪府衛生対策審議会」が成人病予防から治療に至る一貫した体制を整備するため、生活習慣に関する専門施設（大阪府立成人病センター、大阪がん予防検診センター、大阪府立公衆衛生研究所）が集中する森ノ宮地区に府民の健康づくりの拠点施設を整備し、これまで以上に積極的な健康づくり施策を推進していくとした「森ノ宮健康ゾーン構想」を打ち出しました。

平成7年には「大阪府森ノ宮健康ゾーン推進計画書」が自治省「リーディングプロジェクト」先導的な地域づくり対策に対する支援、地域総合整備事業債の適用

を受けることとなり、健康づくりの拠点施設の設置の実現性が高まりました。

平成8年には、大阪府が「成人病克服おおさか10か年プラン」を策定し、府民の自主的な健康づくり活動の支援を行うため、その拠点施設として、大阪府立成人病センター集団検診第一部等を基盤に、大阪府立健康科学センターを設置することとしています。

平成13年には、2月議会で設置条例が可決され、3月に本体建物が竣工し、4月には（財）大阪府保健医療財団へ管理運営を委託して、7月に大阪府立健康科学センターとしての事業を開始しました。

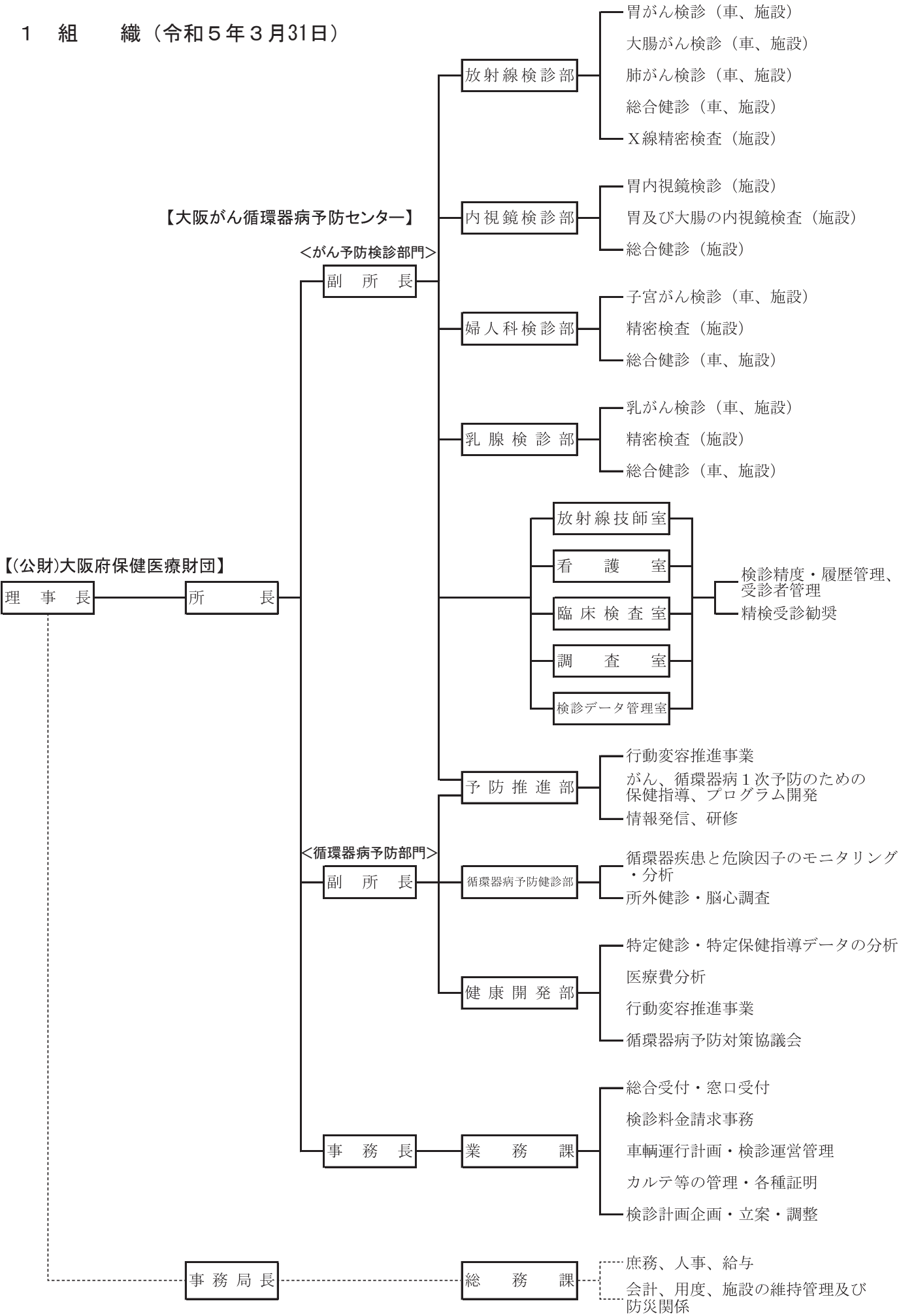
平成20年には、大阪府の財政非常事態宣言で財政再建プログラム素案が出され、大阪府立健康科学センターの廃止が提示されましたが、府民はもとより全国から存続嘆願の署名22,320人が集まり、知事に提出され、廃止案は後退しました。しかし、同プログラム案で、運動フロアでのフィットネス、展示施設の廃止、健診事業の内容精査、（財）大阪がん予防検診センターと統合の方針が出され、さらに府派遣職員の全員引揚げ方針が出された結果、組織・財源の大幅な見直しが行われました。

平成23年9月議会で、平成23年度末で大阪府立健康科学センターの公の施設としては廃止する条例が可決され、平成24年度から、大阪府立健康科学センターと大阪がん予防検診センターの統合による新センターが設置されることとなりました。

令和5年4月より、循環器病予防部門の事業が地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に移管されることから、令和5年3月31日付けで循環器病予防部門を廃止しました。

Ⅱ 管 理

1 組 織（令和5年3月31日）



2 理事会・評議員会等の開催状況

【第309回理事会】 令和4年6月15日

・議 案

第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算の件

第2号議案 定時評議員会の開催の件

・報告事項 令和3年度における職務執行状況について

【第310回理事会】 令和4年12月19日

・議 案

第1号議案 循環器病予防事業の廃止について

【第311回理事会】 令和5年3月13日

・議 案

第1号議案 令和4年度収支予算補正の件

第2号議案 令和5年度事業計画の件

第3号議案 令和5年度収支予算の件

第4号議案 第3期中期経営計画の改定の件

第5号議案 臨時評議員会の招集の件

・報告事項 令和4年度における職務執行状況について

【評議員選定委員会】 令和4年11月4日

・議 案

第1号議案 評議員の辞任に伴う補欠の評議員の選任の件

【令和4年度定時評議員会】 令和4年6月30日

・議 案

第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算の件

・報告事項 第309回理事会の概要について
(書面による同意)

【令和4年度第1回臨時評議員会】令和4年10月20日

・議 案

第1号議案 理事の辞任に伴う補欠の理事の選任の件

第2号議案 評議員の辞任に伴う補欠の評議員候補者の推薦の件
(書面による同意)

【令和4年度第2回臨時評議員会】令和5年3月30日

・議 案

第1号議案 令和4年度収支予算補正の件

第2号議案 令和5年度事業計画の件

第3号議案 令和5年度収支予算の件

第4号議案 第3期中期経営計画の改定の件

・報告事項 (1)第311回理事会の概要について
(2)令和4年度の経営目標達成状況等について

3 評議員・役員名簿

〔評議員名簿〕

(令和5年3月31日現在)

名 称	氏 名	摘 要
評 議 員	磯 博 康	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター グローバルヘルス政策研究センター長
評 議 員	乾 英 夫	一般社団法人 大阪府薬剤師会 会長
評 議 員	新 谷 憲 一	大阪市健康局長
評 議 員	祖父江 友 孝	大阪大学大学院医学系研究科教授
評 議 員	高 井 康 之	一般社団法人 大阪府医師会 会長
評 議 員	深 田 拓 司	一般社団法人 大阪府歯科医師会 会長
評 議 員	藤 井 睦 子	大阪府健康医療部長
評 議 員	松 浦 成 昭	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 総長
評 議 員	矢 野 雅 彦	一般社団法人 大阪府病院協会 副会長

〔役員名簿〕

(令和5年3月31日現在)

名 称	氏 名	所 属
理 事 長	高 杉 豊	公益財団法人 大阪府保健医療財団
理 事	伊 藤 壽 記	大阪がん循環器病予防センター 所長
理 事	伊 藤 憲一郎	一般社団法人 大阪府薬剤師会 副会長
理 事	川 勝 洋 一	大阪市健康局健康推進部長
理 事	北 村 良 夫	一般社団法人 大阪府医師会 理事
理 事	津 田 高 司	一般社団法人 大阪府歯科医師会 副会長
理 事	中 尾 和 民	一般社団法人 大阪府病院協会 理事
理 事	長 井 詳 昭	公益財団法人 大阪対がん協会 専務理事
理 事	森 脇 俊	大阪府医療監
監 事	蒲 生 武 志	公認会計士
監 事	南 部 英 幸	元大阪府会計管理者

4 幹部職員・職員数

〔幹部職員〕

(令和5年3月31日現在)

役 職 名	氏 名
所 長	伊 藤 壽 記
副 所 長 兼 放 射 線 検 診 部 長 兼 総合健診部長兼検診データ管理室長	今 村 文 生
副所長兼循環器病予防健診部長	木 山 昌 彦
乳 線 検 診 部 長	濱 田 未 佳
婦 人 科 検 診 部 長	杉 田 道 夫
内 視 鏡 検 診 部 長	林 暢 彦
予 防 推 進 部 長	岡 田 武 夫
健 康 開 発 部 長	清 水 悠 路
放 射 線 技 師 室 長	三 浦 一 利
看 護 長	岡 由 紀 子
臨 床 検 査 室 長	西 山 ひ ろ み
調 査 室 長	池 宮 城 賀 恵 子
事 務 長	辻 村 雅 仁

〔常勤職員数（現員）〕

(令和5年3月31日現在)

職 種	職 員 数
医 師	5
診 療 放 射 線 技 師	1 1
臨 床 検 査 技 師	5
看 護 師	1 4
保 健 師	4
シ ス テ ム エ ン ジ ニ ア	1
事 務	9
運 転 手	2
合 計	5 1

5 主要事業開始日

事業区分			開始日	
胃がん検診	車検診		昭和62年 4月 1日	
	施設検診	一次検診	昭和62年 5月19日	
		精密検査	昭和62年10月 5日	
子宮がん検診	車検診		昭和62年 5月12日	
	施設検診	一次検診	昭和62年 6月 2日	
		精密検診	昭和62年 6月 2日	
乳がん検診	車検診		昭和63年 7月 4日	
	施設検診	一次検診	昭和62年10月 8日	
		精密検診	昭和62年10月 8日	
肺がん検診	車検診(胸部X線車)		平成11年 4月16日	
	車検診(ヘリカルCT車)		自 平成17年 4月11日 至 平成31年 3月31日	
	施設検診	一次検診	昭和63年 5月11日	
		精密検査	昭和63年 6月14日	
大腸がん検診	一次検診(郵送方式)		自 昭和63年 4月 1日 至 平成 4年 3月31日	
	車検診(胃と同時検診)		平成 4年 6月10日	
	施設検診	一次検診	平成 4年 4月 1日	
		精密検査	平成 4年 7月13日	
総合健診	車検診		平成10年 6月 4日	
	施設検診	一次検診	平成 9年 4月 1日	
		精密検査	平成10年 6月25日	
特定保健指導			平成21年 4月 1日	
細胞診・組織診検査			昭和62年 5月 6日	

6 施設認定および職員の認定資格

(1) 施設認定

- ・日本臨床細胞学会 細胞診認定施設
- ・日本臨床細胞学会 教育研修認定施設
- ・日本消化器がん検診学会 認定指導施設
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構
マンモグラフィ検診施設画像認定
- ・日本医師会臨床検査精度管理調査
- ・日本臨床細胞学会コントロールサーベイ
- ・全国労働衛生団体連合会
腹部超音波検査精度管理調査優評価
胃X線検査精度管理調査優評価
- ・CDC/CRMLNによる総コレステロール等の
国際標準化プログラム合格機関
- ・日本人間ドック学会 機能評価認定施設

(2) 職員の保有する認定資格

【医師】

(医療法に基づく広告可能な専門医資格)

- ・日本内科学会 総合内科専門医
- ・日本外科学会 外科専門医
- ・日本消化器病学会 消化器病専門医
- ・日本超音波医学会 超音波専門医
- ・日本臨床細胞学会 細胞診専門医
- ・日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医
- ・日本産科婦人科学会 産婦人科専門医

(その他の専門資格)

- ・日本外科学会 外科指導医
- ・日本消化器外科学会 消化器外科指導医
- ・日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
- ・日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医
- ・日本移植学会 認定医
- ・日本統合医療学会 統合医療指導医
- ・日本補完代替医療学会 補完代替医療学識医
- ・日本消化器内視鏡学会 指導医
- ・日本内科学会 認定内科医
- ・日本超音波医学会 超音波指導医
- ・日本消化器がん検診学会 認定医・総合認定医
- ・日本がん検診診断学会 認定医
- ・日本人間ドック学会
人間ドック健診認定医
人間ドック健診専門医
人間ドック健診指導医
- ・日本乳癌学会 認定医
- ・社会医学系専門医協会 社会医学系指導医・専門医
- ・日本公衆衛生学会 認定専門家
- ・日本医療情報学会医療情報技師育成部会認定
上級医療情報技師育成指導者
医療情報技師育成指導者
- ・日本医師会 認定産業医
- ・日本医師会 認定健康スポーツ医
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構
検診マンモグラフィ読影認定医
乳がん検診超音波検査実施・判定医

- ・J A B T S (乳房超音波認定)
- ・FIAC (Fellow at International Academy of Cytology)
- ・日本呼吸器学会指導医
- ・気管支鏡指導医
- ・衛生学エキスパート

【診療放射線技師】

- ・日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門技師
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構
検診マンモグラフィ撮影技術認定
- ・日本診療放射線技師会
ADVANCED R. T. (アドバンスド診療放射線技師)
- ・肺がんC T検診認定機構
肺がんC T検診認定技師
- ・日本消化器がん検診精度管理評価機構
胃がんX線検診読影部門B資格検定
- ・日本消化器がん検診学会 大腸C T検査技師認定
- ・ピンクリボンアドバイザー

【臨床検査技師】

- ・日本臨床細胞学会 国際細胞検査士
- ・日本臨床細胞学会 細胞検査士
- ・日本超音波医学会 超音波検査士
(健診・循環器・体表臓器)
- ・日本臨床検査同学院 二級臨床検査士(病理)
- ・J A B T S (乳房超音波認定)
- ・有機溶剤作業主任者
- ・特別化学物質作業主任者
- ・タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会認定

【看護師】

- ・日本消化器内視鏡学会 認定消化器内視鏡技師
- ・第一種 衛生管理者
- ・介護支援専門員
- ・3学会合同呼吸療法認定士

(令和5年3月現在)

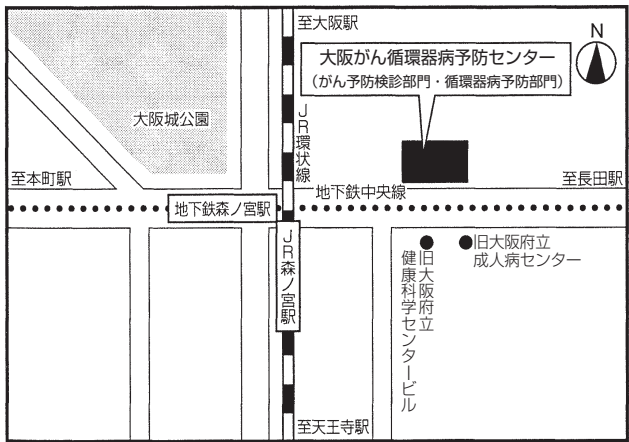
7 施設概要

○ がん予防検診部門・循環器病予防部門

- 所在地 大阪市城東区森之宮 1 丁目 6 番107号
- 設立 昭和61年10月
- 階数 地下1階 地上6階—一部7階
- 面積 2,178.51㎡
- 延床面積 5,208.57㎡（車庫棟含む）

施設配置図

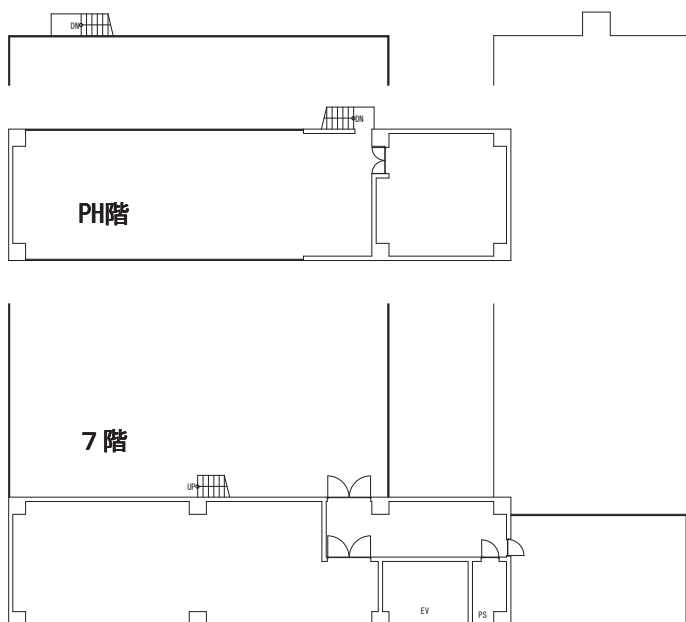
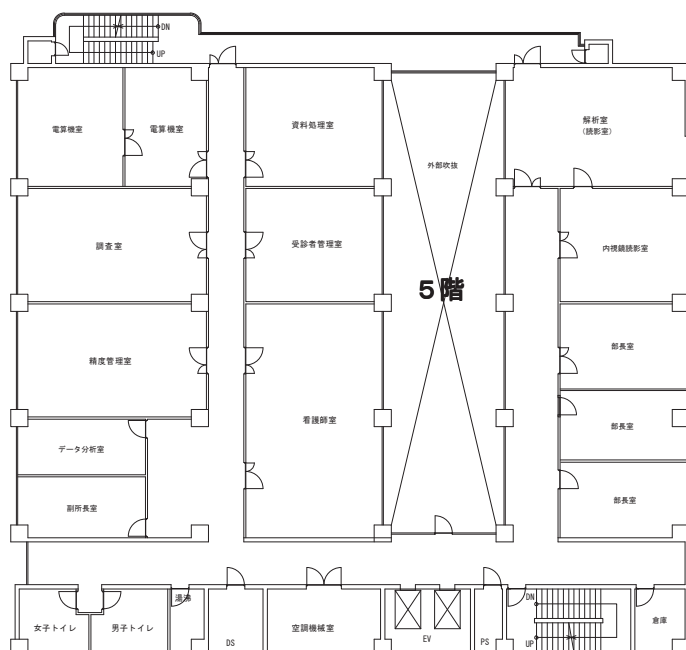
7階	機械室
6階	循環器病予防部門（副所長室・資材室・執務室）・情報管理室・情報処理室・カルテ室・研修室
5階	副所長室・部長室・看護室・読影室 電算機室・調査室・検診データ管理室
4階	事務室・理事長室・所長室・技師室 会議室
3階	総合健診室・標本作製室・部長室
2階	X線撮影室・内視鏡室・診察室
1階	ロビー・待合室・受付・診察室・問診室
B1階	機械室



※ JR環状線「森ノ宮」下車
※ 地下鉄 中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮」下車④号出口東へ徒歩2分

(3) 各階配置図





8 主要備品一覧表

主 要 備 品

〔1 F 婦人科及び診察室関連〕

(令和5年3月31日現在)

品 名	数量	メ ー カ ー ・ 型 式	購入設置 年 月 日
心電計	1	フクダエム・イー 503FB	S62年5月
ヒステロスコープ	一式	トーイツ HS-401	〃
ヒステロファイバースコープ (専用カメラ付、専用光源付)	1	富士写真 HYS-F FG-110H FIL-FS	〃
ワイサップコアグレーター	一式	ワイサップ社	S62年6月
吊下式アーム型ステレオколポスコープ・側視鏡	1	トーイツ CP-600	H8年2月
医事会計システム	1	富士通ビジネスシステム HOPE/ST-3230	H8年9月
超音波診断装置	1	東芝 ECCOC EE SSA-340白黒	H12年3月
超音波診断装置 (車搭載用)	1	東芝 DYRO-US	H13年3月
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 SPA-750型	H17年3月
電動検診台	1	トーイツ セリーナ800R	〃
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 FI-371E	H18年3月
超音波診断装置	1	持田シーメンス C-3000	H19年1月
全自動血圧計	2	エルクエスト UDEX-Twin タイプⅡ	H20年1月
磁気カードリーダー	1	富士通 3150R-USB	H22年7月
診療ユニット	1	タカラベルモント DG-100N	H23年4月
AED装置	1	ハートスター FR2	H25年2月
診療ユニット	1	タカラベルモント DG-WS110	H27年1月
колポスコープ	1	オリンパス コルポスコープ OCS-500	H27年12月
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 FI-271E	H28年2月
婦人科半導体レーザー	1	飛鳥メディカル社製 ADL-20	H28年3月
超音波診断装置	一式	シーメンス社製 SONOVISTA FXRE	H30年3月
OCRスキャナー	1	富士通(株) fi-7480	R1年9月
肺精検用モニター	一式	富士フイルム社製 3M2面参照用ビューワ等	R1年12月
小型採血管準備装置	1	テクノメディカ BC-ROB007	R2年3月
自動血圧計	1	オムロン (健太郎) HBP-9035	R5年1月
婦人科検診台	1	タカラベルモント DG-770N	R5年3月

〔２Ｆレントゲン室関連〕

品 名	数量	メーカ・型式	購入設置 年 月 日
胸部ファントム	1	アルダーソン社 XA-209型	S62年 5 月
X線出力アナライザー	1	ビクトリン社 6000B 型 NERO	H15年 4 月
線量計（500型プローブ 3 本）	1	ビクトリン社 ラドコン線量計	〃
内臓脂肪 CT ソフト	1	東芝メディカル Fat Scan	H19年 3 月
ポータブル濃度計	1	伊原テクニック TM-S	H19年 6 月
骨密度連携システム	1	富士通	H22年 3 月
乳房 X線撮影装置	一式	富士メディカルシステム アミュレット	〃
富士医用画像情報システム	1	富士フィルムメディカル SYNAPSE STD 一式	H24年 3 月
放射線管理システム	一式	DELL	〃
胃 X線 TV デジタル透視撮影装置（6TV）	1	東芝メディカル X線システム SREX-D32C 形	H25年 3 月
線量計 ACCU-GOLD	1	Radcal 社	〃
線量計（イオンビームチェンバー）	1	Radcal 社 10X6-6型	〃
給茶器	1	東芝製 HTP-360 MIPB-0	H25年 7 月
胃 X線 TV デジタル透視撮影装置（5TV）	1	東芝メディカル X線システム SREX-D32C 形	H25年 9 月
全身用 X線 CT 装置	1	シーメンス・ジャパン製 ハイエンド画像診断装置	H26年 3 月
線量計（CTDI 用チェンバー）	1	Radcal 社 10X6-3CT 型	〃
線量計（マンモ用チェンバー）	1	Radcal 社 10X6-6M 型	H26年12月
医用 X線高電圧装置	一式	キヤノン社製 KXO-50SS	H30年 3 月
超音波骨密度測定装置	2	日立製作所製 AOS-100SA	H30年 9 月
島津 FPD 搭載7ｲﾝﾁ方式 X線 TV システム	1	島津製作所製 SONIALVISION	H31年 4 月
X線天井走行型支持器	一式	キヤノンメディカルシステムズ DST-1000A	R 3 年 4 月
胸部 X線撮影装置（受光部）	一式	富士フィルムメディカル CALNED Flow C77	R 3 年 5 月

〔２Ｆ内視鏡室関連〕

品 名	数量	メーカ・型式	購入設置 年 月 日
内視鏡検診台	4	タカラベルモント TR-83	S62年 9 月
上部消化管汎用ビデオスコープ	1	オリンパス GIF-XP260	H15年 4 月
大腸用ビデオスコープ	1	オリンパス PCF-Q260AI	〃
高輝度光源装置	1	オリンパス CLV-260	〃
上部消化管汎用ビデオスコープ	1	オリンパス GIF-XQ260	〃
大腸用ビデオスコープ	1	オリンパス PCF-Q260AI	H16年 4 月

品名	数量	メーカー・型式	購入設置 年月日
ビデオシステムセンター	1	オリンパス CV-260	H16年4月
高輝度光源装置	1	オリンパス CLV-260	H18年1月
大腸用ビデオスコープ	1	オリンパス PCF-Q260AI	〃
ビデオシステムセンター	1	オリンパス CV-260B	〃
上部消化管汎用ビデオスコープ	1	オリンパス GIF-XP260N	H19年3月
上部消化管汎用ビデオスコープ	1	オリンパス GIF-XQ260	〃
高輝度光源装置	1	オリンパス CLV-260	H19年4月
内視鏡用汎用トロリー	1	オリンパス WM-NP-1	〃
ビデオシステムセンター	1	オリンパス CV-260B	〃
カラービデオプリンター	1	オリンパス OEP-3	H19年9月
大腸用ビデオスコープ	1	オリンパス PCF-Q260AI	H20年3月
内視鏡ビデオスコープ	4	オリンパス GIF-P260NS	H22年3月
内視鏡ビデオスコープ	2	オリンパス GIF-PQ260	〃
内視鏡ビデオスコープ	4	オリンパス PCF-Q260AI	〃
医療用画像情報システム(内視鏡)	5	オリンパス IT-1	〃
医療用吸引装置	1	オリンパス KV-5	H24年10月
AED装置	1	ハートスタート FR2	H25年2月
ベッドサイドモニター	1	日本光電 PVN-2701	H28年6月
内視鏡用DICOMコンバータ	4	富士フイルム社製 VT-318D	H30年3月

〔3F検査・総合検診室関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置 年月日
クリオスタット	1	ライヘルツ社 クライオカットE	S62年5月
顕微鏡カラーテレビシステム	一式	ニコン	〃
顕微鏡側光装置	1	ニコン P-1システム	〃
自動現像機	1	甲南電気 オートデベ6型	〃
純水装置	1	オルガノ オスモクリア R0-100	〃
生物顕微鏡	13	ニコン	〃
マルチティーチングマイクロスコープ	2	ニコン XB-MTH-21	〃
落射蛍光・位相差顕微鏡	一式	ニコン FX-1	〃
落射蛍光システムパソコン	一式	PC-9801 VX41	S63年3月
ファインビューア	1	富士レビオ 300800	H4年5月

品名	数量	メーカー・型式	購入設置 年月日
ファステック	1	富士レビオ 104	H6年6月
マイコン心電計	1	フクダ電子 FCP-4720	H10年3月
尿自動分析装置	1	栄研化学 US-2100	H10年5月
デジタルフィルムレコーダ（富士通パソコン付）	1	ラサー グラフィックス LFR Plus	H13年4月
パラフィン包埋ブロック作成装置	1	千代田製作所 ティッシュ・テック TECS	H13年9月
細胞診業務支援システム	1	ニコンインステック	H14年2月
小型高圧蒸気滅菌器	1	サクラ ACV-3023	H15年6月
フルオート非接触眼圧計	1	キャノン TX-F	H18年3月
遺伝子増幅装置	1	アプライドバイオシステム Gene Amp PCR System9700	H19年10月
オーディオメーター	1	リオン AA-S6	〃
ゲル読影装置	1	アトーププリントグラフ AE-6932CXCf-U	〃
乳腺超音波装置	1	日立メディコ EUB-7500	H21年3月
乳腺比較読影システム	1	GE 横河メディカル Prefetch	〃
腹部エコー	1	東芝メディカル Nemio XG	H21年5月
医療用画像情報システム（腹部エコー2台）	2	富士フィルムメディカル synapse	H22年3月
デジタルマンモ装置	1	富士フィルムメディカル AMULET	〃
乳腺超音波カードリーダー	1	日立メディコ PDC-816	〃
乳腺超音波診断装置	1	日立メディコ EVB-7500	H22年11月
自動染色封入装置	1	グリーンホスピタルサプライ	H23年3月
バイオメディカルフリーザ	1	エルクコーポレーション MDF-U730M	〃
薬用冷蔵ショーケース	1	サンヨー MDF-U730M	H23年9月
心電図サーバー	1	フクダ電子 EFS-8000	H24年3月
超音波ピペット洗浄機	1	シャープマニュファクチャリング UT-55	〃
臨床化学自動分析装置	1	東芝メディカルシステムズ TBA-2000FR	〃
便潜血測定装置 OC センサー DIANA250	1	栄研化学 OC センサー DIANA250タイプ	H25年3月
汎用超音波診断装置（エコー装置）	一式	GE ヘルスケアジャパン LOJIE9	H25年9月
汎用超音波診断装置（エコー装置）	1	GE ヘルスケアジャパン LOJIE	〃
ニコン顕微鏡	1	ニコン エクリプス Ci-L	H27年1月
椅子型電動診察台	1	タカラベルモント製 イクスフィール	〃
解析付心電計	1	フクダ電子 FCP-8800	H27年3月
密閉式自動固定包埋装置	1	サクラファインテック ETP ティッシュ・テック	〃
自動視力計	1	ニデック社製 NV-350-N	H27年6月
高圧蒸気滅菌装置	1	サクラ精機 F1-271E	H28年2月

品名	数量	メーカー・型式	購入設置 年月日
オートスパイロメータシステム	一式	メディセオ S7WNRD	H28年4月
全自動身長体重計	1	エー・アンド・ディ AD-6228A	H29年1月
デジタル無散眼底カメラ	一式	キャノン社製 CR-2 AF	H30年3月
オージオメーター	1	リオン AA-58	〃
超音波診断装置	1	キャノン製 腹部エコー Xario100Platinum	H31年1月
解析付心電計	1	フクダ電子製 FCP-8800	〃
パードマグナム（自動生検装置）	1	(株)メディコン製 MG1522	R1年5月
解析付心電計	1	フクダ電子製 FCP-8800	R2年3月
ニコン顕微鏡	2	ニコン エクリプス Ci-L	R3年10月
オリンパス顕微鏡	3	オリンパス BX43	〃
フルオート非接触眼圧計	1	キャノン TX-20P	R4年3月

〔4 F 事務局関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置 年月日
コピー機	1	リコー MP6000RC	H22年3月
リソグラフ	1	理想科学工業製 オルフィス FW2230	H31年4月
PCA 法人給与経理システム	1	NEC デスクトップ MKL36/B-5	R1年9月
封書・ハガキ圧縮機	1	トッパン・フォームズ PRESSLE Core	R3年3月

〔5 F 検診解析及び調査部関連〕

品名	数量	メーカー・型式	購入設置 年月日
総合検診システム	一式	富士通	H24年3月
健診システム（健太くん）	一式	ミエデン Win10移行作業	R2年3月

[検 診 車]

検 診 車 名	メ ー カ ー ・ 型 式	取得年月日
デジタル胸部X線検診車(すこやか1号) (大阪府から無償貸与)	日野・KC-RR1JJAA	H11年3月24日
デジタル胃X線検診車(1号車)	日野・PK-FH2PNJA 改	H18年3月24日
デジタル胃X線検診車(2号車)	日野・PK-FH2PNJA 改	H18年3月29日
デジタル胃X線検診車(12号車): 岸和田 HC	日野・PK-FH2PNJA 改	H18年6月7日
デジタル胃X線検診車(8号車): 八尾 HC	日野・PB-RR7JJAA	H19年3月26日
婦人科検診車	日野・PB-RR7JJAA	H19年3月26日
デジタルマンモグラフィ検診車(2号車)	日野・BDG-FE8JPWG 装置載せ替え	H22年9月30日 R3年1月18日
デジタルマンモグラフィ検診車(1号車)	日野・BDG-FE2AB	R2年10月22日

9 会 計

貸 借 対 照 表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	がん予防検診事業	循環器病予防事業
I 資産の部		
1. 流動資産		
流動資産合計	203,075,676	63,749,403
2. 固定資産		
(1)基本財産		
基本財産合計	22,000,000	0
(2)特定資産		
特定資産合計	494,716,845	0
(3)その他固定資産		
その他固定資産合計	223,237,066	2
固定資産合計	739,953,911	2
資 産 合 計	943,029,587	63,749,405
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計	206,528,557	44,996,722
2. 固定負債		
固定負債合計	423,894,995	0
負 債 合 計	630,423,552	44,996,722
III 正味財産の部		
1. 指定正味財産	259,758,441	0
(うち基本財産への充当額)	(22,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(247,258,441)	(0)
2. 一般正味財産	52,847,594	18,752,683
(うち特定資産への充当額)	(69,630,255)	(0)
正味財産合計	312,606,035	18,752,683
負債及び正味財産合計	943,029,587	63,749,405

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	がん予防検診事業	循環器病予防事業
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産運用益	38,908	0
特定資産運用益	2,803,805	0
事業収益	840,219,760	31,229,144
受託事業収益	61,085,456	101,186,884
受取補助金	5,000,000	0
雑収益	8,139,572	0
受取寄付金	434,500	0
経常収益計	917,722,001	132,416,028
(2) 経常費用		
事業費	948,117,394	124,287,549
経常費用計	948,117,394	124,287,549
当期経常増減額	△30,395,393	8,128,479
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
経常外収益計	25	0
(2) 経常外費用		
固定資産除却損	25	0
指定正味財産への繰入金	0	0
経常外費用計	25	0
当期経常外増減額	△25	0
当期一般正味財産増減額	△30,395,418	8,128,479
一般正味財産期首残高	83,243,012	10,624,204
一般正味財産期末残高	52,847,594	18,752,683
II 指定正味財産増減の部		
受取補助金	0	0
受取寄付金	2,000	0
一般正味財産への振替額	△5,434,500	0
当期指定正味財産増減額	△5,432,500	0
指定正味財産期首残高	265,190,941	0
指定正味財産期末残高	259,758,441	0
III 正味財産期末残高	312,606,035	18,752,683

Ⅲ 検診・健診事業

1 がん検診事業

当センターで実施している検診には、市町村や企業等からの依頼を受け、検診車を派遣して実施する巡回検診（以下「車検診」という。）と、施設内において行う検診がある。

車検診は、胃がん検診車4台、子宮がん検診車1台、乳がんマンモグラフィ検診車2台、胸部エックス線検診車1台で実施している。

施設検診は、胃がん検診（一次検診、精密検査）、子宮がん検診（一次検診、精密検査）、乳がん検診（一次検診、精密検査）、肺がん検診（一次検診、精密検査）、大腸がん検診（一次検診、精密検査）を実施している。

表1に検診項目別の検査件数を示した。一次検診の結果、要精密検査と判定された者については本人の希望に沿い地域の医療機関を紹介し、又は当センターにおいて精密検査を実施している。

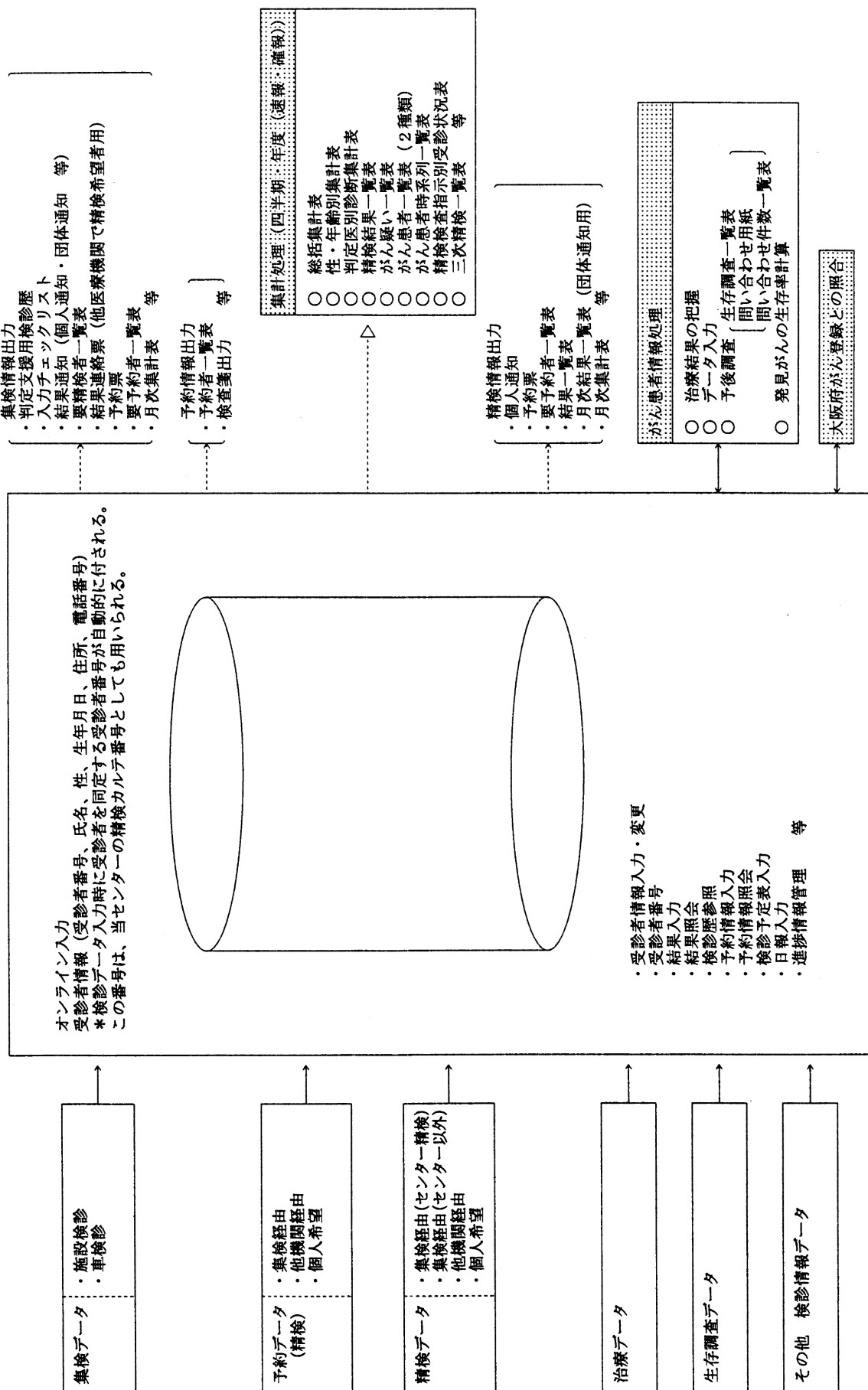
なお、当センターの精密検査において治療が必要と診断された者については、当センターは治療設備をもたない検診専門機関であるため、本人や家族と相談した上で適切な治療機関を紹介している。

受診者のデータの管理や結果通知・集計等の作業、並びに受診団体と協力しての精検未受診者に対する受診勧奨や、がん患者の追跡調査等にはコンピュータを活用している。図1に胃がん検診を例としてコンピュータ処理の概要を示した。

表1 検査件数

検 診 項 目			検 査 件 数 (延べ数)	
			令和4年度	前 年 度
胃がん検診	一 次 検 診	車 検 診	19,829	19,806
		施 設 検 診	11,501	9,078
	精 密 検 査		1,299	1,607
	小 計		32,629	30,491
子宮がん検診	一 次 検 診	車 検 診	9,889	9,896
		施 設 検 診	6,941	5,844
	精 密 検 査		1,194	1,270
	小 計		18,024	17,010
乳がん検診	一 次 検 診	車 検 診	13,231	13,070
		施 設 検 診	8,102	6,749
	精 密 検 査		2,772	2,657
	小 計		24,105	22,476
肺がん検診	一 次 検 診	車 検 診	13,158	12,742
		施 設 検 診	10,048	7,230
	精 密 検 査		1,109	1,179
	小 計		24,315	21,151
大腸がん検診	一 次 検 診	車 検 診	18,112	17,892
		施 設 検 診	14,347	11,333
	精 密 検 査		7	11
	小 計		32,466	29,236
が ん 検 診 合 計			131,539	120,364

図1. 大阪がん循環器病予防センターのがん検診情報処理の概要（胃がん検診を例として）



(1) 胃がん検診

胃がんの早期発見を主目的として、市町村及び職域等を対象に一次検診（主としてX線8枚撮影によるスクリーニング）と精密検査（胃X線16枚撮影並びに胃内視鏡検査及び生検）を実施している。

〈一次検診〉

一次検診は、検診車による検診と施設における検診を実施している。

令和4年度の受診者総数は31,330人、車検診受診者数19,829人、施設検診受診者数11,501人であった。

車検診は、胃がん検診車4台を保有し、当センターの敷地内に4台（1, 2, 8, 12号車）を配置して、主に近隣の地域の市町村や職域等の集団検診を実施している。

令和4年度の稼働回数は検診車4台合計で延べ565回であった。

表2に車検診、施設検診別の胃がん検診の成績を示した（月毎の実績は資料1(1)、P78を参照）。

令和4年度受診者31,330人のうち、要精密検査と判定された者は1,529人で、要精検率は4.9%であった。精検受診率は90.8%、発見胃がん患者は45人、うち早期胃がんは34人、発見率は、受診数に対して各々0.14%、0.11%であった。

当センターでは、昭和62年度開設当初より検診の胃X線間接写真の読影・判定に異時ダブルチェックを行ってきた。2度目の読影医師は、1度目の読影医師が「異常なし」と判定したものについてその情報を知った上で読影し「要精検」とするべきものを追加する異時ダブルチェック方式を採用している。

令和4年度胃X線検査での要精検数は1,384人であったが、このうち975人が1度目の読影で要精検と判定され、409人が2度目の読影で要精検と判定されたものであった。

検診発見胃がん40人のうち2度目の読影でチェックしたものは3人、このうち早期胃がんは2人であった（資料1(2)の末尾、P79）。

表3には検診対象別の胃がん検診の成績を示した。府内市町村が実施主体となり、地域住民を対象として行った胃がん検診数は29市町村の20,069人であった（資料1(2)、P79）。

これに対し、事業所等職域を対象として行った胃がん検診数は129団体7,557人、大阪対がん協会、検診友の会会員や原爆被爆者を対象に行った胃がん検診数は531人であった（資料1(2)、P79）。

当センターで精検を受診する精検実施割合は地域で12.2%、職域で61.7%、総計では23.6%を占めていた（資料1(7)、(8)、P84、P85）。

表2 胃がん検診成績（車検診・施設検診別）

区 分		受 診 者 数	要 精 検 者		精検受診者		胃 が ん		うち早期がん	
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)
車 検 診	1号車	6,470	316	4.9	283	89.6	10	0.15	9	0.14
	2号車	276	9	3.3	9	100.0	0	0.00	0	0.00
	8号車	6,332	371	5.9	326	87.9	13	0.21	11	0.17
	12号車	6,751	477	7.1	443	92.9	15	0.22	10	0.15
施設検診		11,501	356	3.1	327	91.9	7	0.06	4	0.03
合 計		31,330	1,529	4.9	1,388	90.8	45	0.14	34	0.11
前年度計		29,003	1,656	5.7	1,444	87.2	25	0.09	20	0.07

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の検診成績である。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計している。

3. 施設検診には、内視鏡検診分を含む。

表 3 胃がん検診成績（検診対象別）

対 象	年 度	受 診 者 数	要 精 検 者		精検受診者		胃 が ん		うち早期がん	
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)
地 域	令和4年度	20,069	1,141	5.7	1,037	90.9	39	0.19	31	0.15
	前年度	20,034	1,310	6.5	1,138	86.9	22	0.11	18	0.09
職 域	令和4年度	7,557	221	2.9	188	85.1	1	0.01	0	0
	前年度	6,410	209	3.3	172	82.3	2	0.03	1	0.02
検 診 友の会等	令和4年度	531	22	4.1	20	90.9	0	0	0	0
	前年度	128	3	2.3	2	66.7	0	0	0	0

注）表2に同じ。大阪市個別検診及び総合健診は地域に含めた。

〈精密検査〉

精密検査は、当センター実施の集団検診の要精検者、並びに他の集検機関及び医療機関からの紹介者を対象に実施している。

表4に胃がん検診の精密検査件数を示した。X線直接撮影による検査は1件、内視鏡による検査

は1,382件、この内生検による病理組織診検査は231件であった。

なお、他の集検機関及び一般医療機関等からの紹介者は82人であった（表5）。

表 4 胃がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容	検 査 件 数	
	令和4年度	前 年 度
X 線 直 接 撮 影	1	1
内 視 鏡 (うち、生検実施)	1,382 (231)	1,606 (219)
合 計 (うち、生検実施)	1,383 (231)	1,607 (219)

表 5 胃がん 精検依頼分の成績

依 頼 元	件 数	胃 が ん (うち早期がん)	胃 腺 腫 胃ポリープ	胃 潰 瘍	そ の 他	異常なし
集検機関	43	0(0)	8	0	25	10
医師紹介	0	0(0)	0	0	0	0
個 人	39	0(0)	4	1	33	1
合 計	82	0(0)	12	1	58	11

(2) 子宮がん検診

子宮がんの早期発見を主目的として、市町村及び職域等を対象に一次検診（細胞診によるスクリーニング等）と精密検査（細胞診、組織診、コルポスコピー等）を実施している。

〈一次検診〉

一次検診は、検診車による検診と施設における検診を実施している。

車検診は、子宮がん検診車 1 台を保有し、大阪府内全域の市町村や職域等の検診を実施している。

令和 4 年度の稼働回数は延べ 265 回であった。

表 6 に車検診、施設検診別の子宮がん検診の成績を示した。令和 4 年度の受診者数は車検診の頸部がん検診が 9,889 人、施設における頸部がん検診受診者が 6,941（うち 197 人が体がん検診も受診）であった。

当センターで実施した一次検診受診者総数は頸部がん検診 16,830 人、体部がん検診 197 人で、この内要精密検査（二次検診）となった者は頸部がん検診が 221 人、要精検率は 1.3%、体部がん検診が 9 人、要精検率は 4.6%であった。

頸部がん検診の精密検査受診者は 206 人で、受診率は 93.2%、体部がん検診の精密検査受診者は 9 人で受診率は 100%であった。発見した頸部がん患者は 4 人、体部がん患者は 0 人、がん発見率は一次検診受診者数に対し各々 0.02%、0%であった。

なお、頸部がん患者 4 人のうち微小浸潤がん患者は 2 人であった。

表 7 には検診対象別の子宮がん検診成績を示した。府内市町村が実施主体となり地域住民を対象として行った子宮がん頸部検診数は 29 市町村の 10,875 人であった。

これに対して、職域を対象として行った子宮がん頸部検診数は 117 団体 4,870 人で、大阪対がん協会、検診友の会会員や原爆被爆者を対象に行った子宮がん頸部検診数 1,071 人であった（資料 2(1)、P88）。

当センターの行う子宮がん検診で要精検になった者のうち、当センターで精検を実施したものの割合は地域が 52.1%、職域で 88.5%、総計では 72.2%を占めていた（資料 2(3)、(4)、P88、P89）。

表 6 子宮がん検診成績（車検診・施設検診別）

区 分	部 位	受診者数	要 精 検 者		精検受診者		子宮頸がん 子宮体がん		うち微小 浸潤がん
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	
車 検 診	頸部	9,889	77	0.8	69	89.6	2	0.02	1
	(体部)	0	0	0	0	0	0	0	0
施設検診	頸部	6,941	144	2.1	137	95.1	2	0.03	1
	(体部)	197	9	4.6	9	100.0	0	0	0
合 計	頸部	16,830	221	1.3	206	93.2	4	0.02	2
	(体部)	197	9	4.6	9	100.0	0	0	0
前年度計	頸部	15,733	269	1.7	253	94.1	2	0.01	0
	(体部)	180	8	4.4	8	100.0	0	0	0

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の検診成績である。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計している。

表 7 子宮（頸部）がん検診成績（検診対象別）

対 象	年 度	受診者数	要 精 検 者		精検受診者		子宮頸がん		うち微小浸潤がん
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	
地 域	令和 4 年度	10,875	102	0.9	95	93.1	3	0.03	1
	前年度	10,707	164	1.5	152	92.7	2	0.02	0
職 域	令和 4 年度	4,870	94	1.9	87	92.6	1	0.02	1
	前年度	4,437	93	2.1	89	95.7	0	0	0
検 診 友の会等	令和 4 年度	1,071	25	2.3	24	96.0	0	0	0
	前年度	589	12	2.0	12	100.0	0	0	0

注）表 6 に同じ。なお、大阪市個別検診は地域に含めた。

〈精密検査〉

精密検査は、一次検診の要精検者及び他の集検機関や一般医療機関からの紹介者を対象に頸部及び体部の細胞診検査を 1,370 件、組織診検査を 266 件、コルポスコピー1,016 件、下腹部エコー 262 件、合計 2,914 件実施した（表 8）。

なお、他の集検機関及び一般医療機関等からの精密検査の紹介者は頸部受診者が 19 人、体部受診者が 5 人であった（表 9）。

表 8 子宮がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容		検 査 件 数	
		令和 4 年度	前 年 度
細 胞 診	頸 部	1, 2 2 6	1, 3 1 2
	体 部	1 4 4	1 3 6
	小 計	1, 3 7 0	1, 4 4 8
組 織 診		2 6 6	2 9 4
コ ル ポ ス コ ピ ー		1, 0 1 6	1, 0 8 2
下 腹 部 エ コ ー		2 6 2	2 6 4
合 計		2, 9 1 4	3, 0 8 8

表 9 子宮がん精検依頼分の成績

依 頼 元		件 数	が ん (うち微小浸潤がん)	CIN3 異 型 増 殖	CIN2 複 雑 型 増 殖	CIN1 単 純 型 増 殖	そ の 他	異常なし
集検機関	頸 部	6	0 (0)	0	2	2	2	0
	体 部	1	0	0	0	0	0	0
医師紹介	頸 部	8	0 (0)	0	1	0	7	0
	体 部	2	0	0	0	0	0	0
個 人	頸 部	5	0 (0)	0	2	0	3	0
	体 部	2	0	0	0	0	0	0
合 計	頸 部	19	0 (0)	0	5	2	12	0
	体 部	5	0	0	0	0	0	0

(3) 乳がん検診

乳がんの早期発見を主目的として、市町村及び職域等を対象に一次検診として視触診及び乳房撮影（マンモグラフィ）と精密検査としてX線撮影及び超音波検査、乳頭分泌物検査あるいは腫瘍穿刺検査による細胞診等を実施している。

〈一次検診〉

一次検診は、検診車による検診と施設における検診を実施している。車検診は、デジタルマンモグラフィ検診車2台を保有し、大阪府内市町村や職域等の検診を実施している。

市町村が実施主体となり実施する地域検診、職域等とともにマンモグラフィのみの検診を実施している。

なお、令和4年度の稼働回数は2台で274回であった。

表10に令和4年度の車検診、施設検診別の乳がん検診の成績を示した。一次検診受診者総数は21,318

人で、車検診受診者は13,231人、施設検診受診者は8,087人であった。

一次検診の結果、要精密検査となった者は872人で要精検率は4.1%であった。精密検査受診者数は820人、精検受診率は94.0%、発見した乳がん患者は90人、うち早期乳がん患者62人、発見率は一次検診受診者に対し各々0.42%、0.29%であった。

表11には検診対象別の乳がん検診成績を示した。府内市町村が実施主体となり地域住民を対象に行った乳がん検診数は31市町村14,900人であった。

これに対して職域を対象に行った乳がん検診数は117団体4,780人、大阪対がん協会や検診友の会会員、原爆被爆者等を対象に行った乳がん検診数は1,638人であった（資料3(1)、P90）。

当センターの乳がん検診で要精密検査となった者のうち当センターで精検を実施した者の割合は地域で42.7%、職域76.6%、総計では52.8%を占めていた（資料3(3)、(4)、P92、P93）。

表 10 乳がん検診成績（車検診・施設検診別）

区 分	年 度	受診者数	要 精 検 者		精検受診者		乳 が ん		う ち 早 期 が ん	
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)
車 検 診	令和4年度	13,231	558	4.2	518	92.8	54	0.41	38	0.29
	前年度	13,070	680	5.2	616	90.6	49	0.37	33	0.25
施設検診	令和4年度	8,087	314	3.9	302	96.2	36	0.45	24	0.30
	前年度	6,749	287	4.3	279	97.2	30	0.44	18	0.27
合 計	令和4年度	21,318	872	4.1	820	94.0	90	0.42	62	0.29
	前年度	19,819	967	4.9	895	92.6	79	0.40	51	0.26

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の成績である。

2. 要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計した。

表 11 乳がん検診成績（検診対象別）

対 象	年 度	受診者数	要 精 検 者		精検受診者		乳 が ん		うち早期がん	
			人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)
地 域	令和4年度	14,900	657	4.4	616	93.8	72	0.48	47	0.32
	前年度	14,963	774	5.2	708	91.5	66	0.44	42	0.28
職 域	令和4年度	4,780	147	3.1	141	95.9	10	0.21	8	0.17
	前年度	3,821	164	4.3	159	97.0	10	0.26	6	0.16
検 診 友の会等	令和4年度	1,638	68	4.2	63	92.6	8	0.49	7	0.43
	前年度	1,035	29	2.8	28	96.6	3	0.29	3	0.29

注）表 10 に同じ。なお、大阪市個別検診は地域に含めた。

〈精密検査〉

精密検査は、一次検診からの要精検者及び他の集検機関、一般医療機関等からの紹介者を対象に、超音波検査を2,772件、X線撮影を2,434件、乳頭分泌を3件、合計5,355件実施した（表12）。

なお、他の集検機関及び一般医療機関等からの精密検査の紹介者は171人であった（表13）。

表 12 乳がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容	検 査 件 数	
	令和4年度	前 年 度
超 音 波	2, 7 7 2	2, 6 5 5
X 線 撮 影	2, 4 3 4	2, 3 1 3
細 胞 診	1 1 0	1 5 7
分 泌 C E A	3	3
組 織 診	3 6	2 1
合 計	5, 3 5 5	5, 1 4 9

表 13 乳がん精検依頼分の成績

依 頼 元	件 数	乳 が ん (うち早期がん)	線維腺腫	乳 腺 症	そ の 他	異常なし
集 検 機 関	45	0(0)	3	2	31	9
医 師 紹 介	45	0(0)	3	4	37	1
個 人	81	6(1)	5	8	48	14
合 計	171	6(1)	11	14	116	24

（４） 肺がん検診

肺がんの早期発見を主目的として、市町村及び企業などを対象に一次検診（胸部直接X線検査、喀痰細胞診によるスクリーニング）と精密検査（胸部CT検査、喀痰細胞診）を実施している。

〈一次検診〉

一次検診は、施設において胸部直接X線検査、胸部低線量CT検査及び喀痰細胞診（三日蓄痰粘液融解法）による検診を実施するほか、車集検として、総合健診車での胸部直接X線検査及び喀痰細胞診による検診を実施している。

表14に施設（車）検診の成績を示した。

また、施設（車）とも、労働安全衛生法に基づく、定期健康診断なども実施している。

令和4年度の成績は、施設検診及び車検診で18,360人が受診し、要精密検査となった者663人、要精検率は3.6%、精検受診率は95.6%、結果、肺がんと診断された者は13人、がん発見率は、集検受診者に対して0.07%であった（資料4(1)、P94）。

なお、表15に検査内容別の検診成績を示した。

〈精密検査〉

精密検査は、施設における一次検診の要精検者などを対象に、胸部直接X線検査、CT検査、喀痰細胞診（三回法）を行っている。

令和4年度は胸部直接X線検査8件、CT検査1,110件、喀痰細胞診1件を実施した（表16）。

表14 肺がん検診成績（施設（車）検診別）

区 分	年 度	受診者数	要 精 検 者		精検受診者		が ん	
			人	率(%)	人	率(%)	人	(%)
施設（車）検診	令和4年度	18,360	663	3.6	634	95.6	13	0.07
	前年度	15,171	426	2.8	394	92.5	9	0.06

注）1．当センターが実施した一次検診受診者の成績である。なお、大阪市個別検診は施設検診に含まれている。

2．要精検者の中で精密検査を他機関で受診した者の成績については、当該機関からの報告を得て集計している。

表15 肺がん検診成績（検査内容別：延べ数）

検査内容	区 分	年 度	検査件数	要 精 検 者		精検受診者		が ん	
				人	率(%)	人	率(%)	人	率(%)
X 線 直 接	施設(車)検診	令和4年度	18,360	663	3.6	634	95.6	13	0.07
		前年度	15,171	426	2.8	394	92.5	9	0.06
喀痰細胞診	施設(車)検診	令和4年度	718	0	0	0	0	0	0
		前年度	583	0	0	0	0	0	0
合 計		令和4年度	19,078	663	3.5	634	95.6	13	0.07
		前年度	15,754	426	2.7	394	92.5	9	0.06

注）表14に同じ。

表16 肺がん検診精密検査件数（検査内容別）

検 査 内 容	検 査 件 数	
	令和4年度	前 年 度
胸 部 直 接 X 線 検 査	8	7
C T 検 査	1, 1 1 0	1, 1 7 9
喀 痰 細 胞 診	1	0
合 計	1, 1 1 9	1, 1 8 6

(5) 大腸がん検診

大腸がんの発見を目的として、市町村、職域、検診友の会会員等を対象に一次検診（免疫学的便潜血検査：2日法）を実施している。

〈一次検診〉

一次検診は、胃集団検診とセットで胃・大腸集団検診として地域住民を主に、職域、検診友の会会員等を対象に実施した。

表 17 に検診対象別の大腸がん検診の成績を示した。

市町村が実施主体となり行った大腸がん検診は

22 市町村 21,458 人、職域 89 団体 10,035 人、検診友の会会員等 966 人であった（資料 5(1)、P97）。

大腸がん検診受診者総数 32,459 人のうち、便潜血検査の結果、陽性で要精密検査と判定された者は 1,366 人、要精検率 4.2%、精検受診者は 1,133 人、精検受診率 82.9%で、発見した大腸がん患者 65 人、うち早期大腸がん 39 人、発見率は集検受診者に対して各々 0.20%、0.12%であった。

大腸がん検診の精密検査は当センターでは実施しなかった。（資料 5(6)、P102）。

表 17 大腸がん検診成績

対 象	年 度	受診者数	要 精 検 者		精検受診者		が ん		早 期 が ん	
			人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)	人	率 (%)
地 域	令和 4 年度	21,458	929	4.3	818	88.1	55	0.26	34	0.16
	前年度	21,252	948	4.5	781	82.4	58	0.27	48	0.23
職 域	令和 4 年度	10,035	382	3.8	272	71.2	4	0.04	4	0.04
	前年度	7,665	291	3.8	209	71.8	10	0.13	9	0.12
検 診 友の会等	令和 4 年度	966	55	5.7	43	78.2	6	0.62	1	0.10
	前年度	303	9	3.0	7	77.8	0	0	0	0
合 計	令和 4 年度	32,459	1,366	4.2	1133	82.9	65	0.20	39	0.12
	前年度	29,220	1,248	4.3	997	79.9	68	0.23	57	0.20

注) 1. 当センターが実施した一次検診受診者の検診成績である。

2. 精密検査の中で精密検査を他機関で受診した者の成績は、当該機関からの報告を得て集計している。

3. 大阪市個別検診は地域に含めた。

〈精密検査〉

全大腸内視鏡による精密検査は、実施していないが、人間ドック等の要精密検査者に対する大腸 CT 検査を 7 件実施した。

2 総合健診

施設内においては、協会けんぽが実施する生活習慣病予防健診、定期健康診断、特定健康診査、循環器健診を実施し、これらの健康診査とがん検診を同時に受診することができる態勢をとっている。また、総合的な人間ドック健診も行っている。

協会けんぽの生活習慣病予防健診は4,035人で、前年度より64人増加した。労働安全衛生法に規定する定期健康診断は1,234人で、前年度より8人の減少となった。

特定健康診査は1,541人で、前年度より76人の増加となった。

人間ドックは3,335人で、充実コース人間ドック

212人を含んでおり、前年度より141人の増加となった。

循環器健診は2,927人で、前年度より69人減少した。

その他の健診は54人で、前年度より54人の増加となった。

また、平成10年度から実施している検診車を活用した総合的な健康診査は、平成28年度より施設での健診に変更された。

上記の一次健康診査にひき続いて精密検査を実施したのは、がん検診の精密検査を除き841人となり、前年度より8人の減少となった。精密検査の内容は、腹部造影エコーや血液検査、尿検査などである。

表18 総合健診検査人数

(人)

健 診 種 別	令和4年度	前 年 度
生活習慣病予防健診（協会けんぽ）	4,035	3,971
定 期 健 康 診 断	1,234	1,242
特 定 健 康 診 査	1,541	1,465
人 間 ド ッ ク	3,335	3,194
循 環 器 健 診	2,927	2,996
そ の 他 の 健 診	54	0
上 記 合 計	13,126	12,868

＜特定健康診査・特定保健指導＞

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、平成20年度からメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した特定健康診査及び特定保健指導が開始され、当センターにおいても平成21年度から実施している。

特定健康診査及び定期健康診断や人間ドックを実施している団体の中で、特定保健指導の実施について依頼のあった団体の受診者のうち、生活習慣の改善が必要とされる対象者に対して特定保健指導を実施した。

11の健康保険組合と特定保健指導実施の契約を締結し、その組合員を対象とした特定保健指導を実施した。

令和4年度実績(次年度以降、初回面接実施者含む)

- ・ 特定健康診査 1,541人
- ・ 特定保健指導 513人
 - うち 動機づけ支援 248人
 - 積極的支援 265人

＜保健指導等＞

保健指導の契約がある8団体で循環器健診コースの受診者について、がん予防と循環器病予防の観点から、肥満の有無に関わらず、ハイリスク者に焦点を当てて、当センターの定めた基準に従って医師と保健師・管理栄養士が保健指導を行っている。平成29年度より開始した労災二次健診では、全受診者へ保健指導を実施した。

充実コースの結果説明では、ハイリスク者であるか否かにかかわらず、生活アドバイスとして受診者全員に保健指導を実施している。

令和4年度実績

- ・ 保健指導（労災二次健診受診者含む） 270人
- ・ 生活アドバイス 25人

3 所外健診

府民の健康状態や生活習慣の動向、疾病罹患の要因などを明らかにするために、健康科学センターから引き続き、地域住民と職域勤務者に対する「所外健診」を行っている。所外健診を通じ、特定集団の健康状況にかかるデータを長期継続的に追跡・調査し、循環器疾患の発症状況や危険因子のモニタリングを実施している。地域、職域ともに、当センターのスタッフ自らが現場に出向いて健診に従事し、健診方法や結果判定についての精度管理を継続して行うとともに、調査研究や保健指導を行って地域や職域の実情に応じた予防対策の立案に役立てている。

そして、「所外健診」で得られた分析結果や健診・保健指導のノウハウを、将来の循環器疾患の発症確率が計算できる「循環器疾患・発症予測ツール」等保健指導ツールの開発や市町村の予防対策に対するデータ分析や具体的な指導・助言などの支援に活かしている。

○八尾市南高安地区

大阪府立成人病センター集検Ⅰ部が、脳卒中、虚血性心疾患の発生状況及び主要リスクファクターの推移を明らかにするための疫学研究として昭和38年から継続して健診を行ってきた。平成13年、府立健康科学センターの設立に伴い、同センターが研究を引き継ぎ、平成24年4月の同センターと大阪がん予防検診センターとの統合により、大阪がん循環器病予防センターがさらに引き続いて実施している。

本地区の健康づくりは住民主体の活動となっており、その中核として活動している組織が「南高安地区成人病予防会」である。

同会の事業である交流会、総会、骨密度測定検査、健康相談、成人病健診、健診結果説明会、健康増進歩く会、会報作成などにも当センターのスタッフが参画している。

また、予防対策事業の評価の一環として、八尾市、八尾市医師会、関係医療機関、大阪府等と協力して、脳卒中、虚血性心疾患発症者調査を実施している。

○秋田県井川町

この地区も前述の八尾市南高安地区と同様に大阪府立成人病センター集検Ⅰ部が研究事業として昭和38年に健診を開始し現在も当センターが引き続いて実施している。

当時、東北地方は脳卒中の死亡率が高い地域であり、特に秋田県は全国一の高死亡率であった。脳卒中予防対策を希望する当時の秋田県衛生科学研究所職員、井川村村長、保健所長らの熱い思いと、大阪府内の地域・職域を中心に循環器健診を実施し着実に実績を上げつつあった成人病センターとの結びつきが脳卒中予防のための健診を共同で実施するきっかけになった。

同町における循環器健診と脳卒中発生状況の調査、食生活の実態調査の結果を大阪の成績と比較することにより、秋田の脳卒中の特徴が次第に浮き彫りになり、その報告をもとに以後の予防対策が推進され、発生率の低下や死亡率の減少など大きな成果を上げるに至った。逆に、両府県におけるデータの比較が大阪の循環器疾患の特徴の解明につながり、大阪での予防対策の発展に大きく寄与することとなっている。

○職域3集団

システム関連会社、市場、医療関係団体という労働環境の異なる3集団に対して、定期健康診断（医療関係団体はドック健診）として健診を実施し、各業態勤労者の循環器疾患の危険因子の特徴や動向を比較検討している。

表19 所外健診検査件数

(件)

健 診 団 体	健 診 日 数	令 和 4 年 度	前 年 度
八尾市南高安地区	8	924	863 (136)
秋 田 県 井 川 町	6	1,248	1,012
職 域 3 団 体	6	411	405
合 計	20	2,583	2,280

注) 八尾市南高安地区()の住民健診は、「南高安地区成人病予防会」の健康診断も併せて実施したため、健診検査件数を再掲載した。

4 検 査

画像検査、生理検査ならびに検体検査等の検査実績を表20及び表21に示す。表20には施設における検査の項目別実績を、表21にはがん検診における

細胞診、組織診、大腸便潜血検査実績を検査項目別件数として示す。

表20 施設における検査件数

(件)

区 分		令和4年度	前年度	区 分		令和4年度	前年度
放 射 線	胃 X 線 (16方向)	4,593	4,663	な 生 理 検 ど 査	ピロリ菌呼気検査	14	10
	胃 X 線 (8方向)	3,734	2,046		ピロリ菌除菌件数	10	6
	胸 部 X 線	14,670	11,924	検 体 検 査	便 潜 血	14,347	11,333
	胸 部 C T	1,301	1,310		検 尿	13,583	12,784
	マンモグラフィ	9,366	7,871		尿 沈 渣	1,467	1,368
生 理 検 査 な ど	心 電 図	12,016	11,357		血 液 検 査	13,553	12,765
	視 力 検 査	12,006	11,348	細 胞 診	子 宮 頸 部	8,093	5,852
	聴 力 検 査	11,961	11,300		子 宮 体 部	343	182
	骨 密 度	3,939	1,973		喀 痰 細 胞 診	715	602
	眼 底 検 査	7,927	7,569		乳 腺 吸 引 細 胞 診	110	157
	呼 吸 機 能 検 査	4,398	4,056	内 消 視 鏡 化 検 査 器	上 部 消 化 管	4,486	4,036
	腹 部 超 音 波 検 査	5,569	5,093		下 部 消 化 管	0	0
	腹部超音波検査(精検)	237	244		〔上部消化管 下部消化管の内 内 視 鏡 下 生 検〕	(161)	(219)
	乳 腺 超 音 波 検 査	4,918	4,472				
	経 膣 超 音 波 検 査	562	453	そ の 他	子宮レーザー蒸散術	4	12
合 計						153,922	134,786

注) 数値の () は再掲。

表21 細胞診・組織診・便潜血検査件数

(件)

検査内容	検査項目	依 頼 元	件 数	
			令和4年度	前 年 度
細胞診	子宮がん	車 検 診（頸部）	9,889	9,896
		施 設 検 診（頸部）	6,941	5,853
		〃（体部）	199	183
		精 密 検 診（頸部）	1,152	1,222
		〃（体部）	144	135
		小 計	18,325	17,289
	肺 が ん	一 次 検 診（喀痰）	715	602
		精 密 検 査（喀痰）	1	0
		小 計	716	602
	乳 が ん 精 密 検 診		117	157
	そ の 他		211	150
	合 計		19,369	18,198
組 織 診	子 宮 が ん 精 密 検 査		210	336
	胃 が ん 精 密 検 査		234	228
	乳 が ん 精 密 検 査		35	36
	合 計		479	600
大 腸 便 潜 血 検 査			32,459	29,220
総 合 計			52,307	48,018

5 医療機関との連携

大阪府医師会所属の医療機関との連携協調を事業の柱の1つとして推進している。

医療機関との連携事業としては、各種がん検診の精密検査の受入、患者紹介、施設見学、医療技術に関する研修などが中心であり詳細は下記の通りである。

(1) 紹介患者の受け入れ

一般医療機関などから紹介された患者については、当センターでは検査のみを実施、検査結果を当該医療機関に報告し、結果の説明、治療などは原則として紹介元の医療機関で行うという方法をとっている。

令和4年度の一般医療機関などからの精密検査紹介患者数は、胃がん検診82人、子宮がん頸部検診19人、子宮がん体部検診5人、乳がん検診171人であった。

(2) 患者の紹介

施設及び車での集団検診の結果、要精密検査とされた者のうち、主治医あるいは近医での受診を希望する者に対しては、精密検査に必要なフィルム、データなどをそろえて紹介している。

令和4年度の精検受診者の精検実施機関の内訳は、胃がん検診では76.4%、子宮がん検診では27.8%、乳がん検診では47.2%、大腸がん検診では100%が当センター以外の医療機関での精検受診であった。

また、当センターの精密検査で手術などの治療が必要と診断された患者に対しては、患者本人や家族と相談の上、適切な病院に紹介している。

(3) 主な紹介医療機関

病院名	紹介数
大阪国際がんセンター	83
大阪はびきの医療センター	20
大手前病院	8
大阪プレストクリニック	7
大阪市立総合医療センター	7
大阪医療センター	7
大阪赤十字病院	6
近畿大学病院	5
大阪警察病院	5
りんくう総合医療センター	4
市立貝塚病院	4
大阪大学医学部附属病院	4
大阪公立大学医学部附属病院	4
JCHO 大阪病院	4
済生会野江病院	3
済生会吹田病院	3
関西医科大学医学部附属病院	3
大阪医科薬科大学病院	3
神鋼記念病院	2
市立豊中病院	2
堺市立総合医療センター	2
関西医科大学付属香里病院	2
淀川キリスト教病院	1
八尾市立病院	1
市立吹田市民病院	1
市立池田病院	1
十三市民病院	1
北野病院	1
関西電力病院	1
大阪ろうさい病院	1
大阪鉄道病院	1
大阪急性期総合医療センター	1
尼崎総合医療センター	1

6 精度管理と研修

精度の高いがん検診を広く大阪府民に提供するためには、受診率の向上と検診そのものの精度管理が重要である。そのためには、検診に従事する者の資質の向上とがん検診の実態等の把握が必要である。

がん予防検診部門では、がん予防検診センター開設当初から、医療スタッフの技術研修や技術実習を行うとともに、がん検診の実態把握等に努めてきた。さらに、平成24年度からは大阪府からの委託を受け、組織型検診推進のための精度管理センター事業を行っている。

(1) がん検診の実態把握

大阪府から委託を受け、精度管理基礎調査をもとに、がん検診の実態並びに検診成績等の把握を行っている。把握した調査結果は、毎年、冊子『大阪府におけるがん検診』にまとめて、大阪府内市町村や大阪府医師会等多くの関係機関に配布している。

これは、より効率的・効果的ながん検診を展開していくための基礎資料となっている。なお、これらの事業は大阪府精度管理システムを運用管理し実施している。

(2) 市町村、検診機関支援

がん予防検診部門では調査室が中心となり、府内市町村や検診機関を対象に、がん検診精度向上に対する支援、がん検診提供体制確保に対する支援、受診率向上に対する支援を行った。支援事業内容の詳細は次頁に掲載する。

(3) がん検診受診率向上事業

令和3年度に事業主や健康保険組合等を実施したがん検診実施実態把握調査の結果から得られた知見に基づき、国マニュアルに基づく適切ながん検診の職域での実施を推進するため、企業経営者及び企業や健康保険組合の健康管理担当者に向け、がん検診啓発チラシ、がん検診をわかりやすく解説したハンドブックを作成、周知を図った。また、当センターホームページに「職域におけるがん検診推進のページ」を開設し、ハンドブックの内容を解説した動画を公開した。

(4) 研修及び施設見学

前身のがん予防検診センター開設当初より、国内外の各方面から医療スタッフの研修生を受け入れ、研修・実習及び施設見学を多数実施してきた。

放射線技師室では、国際医療技術交流財団からの依頼を受け「JICA 医療技術スタッフ研修」として海外からの多数の技術職研修生を受け入れてきた。また、婦人科検診部でも開設当初から多くの海外研修生を受け入れ、技術研修及び技術実習を行ってきた。

これまでに、マレーシア、カンボジア、タンザニア、中国、台湾、韓国、スペイン、パラグアイ等の多くの国々から医師、放射線技師等の医療技術職研修生を受け入れた。

1. 検診精度の向上に対する支援

(1) 精度管理委員会開催への支援

市町村が開催する精度管理委員会における資料作成協力などを行った。

支援市町村数 乳がん：1市1地域
子宮がん：1地域
肺がん：1市1地域
大腸がん：1市1地域
胃がん：1市1地域

(2) 精検受診率の向上に対する支援・精度管理指標の分析

効率的な精密検査結果報告方法を検討するための助言や報告書案の作成などを行った。
また、大阪府精度管理システムを活用し、精度管理指標の分析、評価を行った。

支援市町村数：18市町村

(3) 市町村からの電話相談・研修会の開催

《電話相談》 件数：143件

市町村がん検診担当者からの電話相談に対応した（別表1）。

《研修会》 1回 参加者 94名

市町村がん検診担当者向けの研修会をWEB開催した。（別表2）。

(4) 肺癌検診精度向上に向けた胸部X線読影講習会への協力

大阪府が主催した「肺癌検診読影講習会」へ、症例の提供および講師の派遣を行った。

（別表1）

電話相談内容	件数
がん全般	18
胃がん	23
大腸がん	21
肺がん	24
子宮頸がん	30
乳がん	27
合計	143

2. がん検診の提供体制の確保に対する支援

(1) 実施要領や受診票の改訂に対する支援

実施要領やがん検診問診票の改訂を行う市町村に対し、内容の確認や助言を行った。

支援市町村数：7市町

3. 受診率向上に対する支援

(1) 個別受診勧奨の推進に対する支援

個別受診勧奨を実施する市町村に対し、勧奨対象の選定、勧奨方法、対象に応じた勧奨ツールの提案を行った。また、その効果について検証した。

支援市町村数：2市

4. その他

(1) 大阪府精度管理システムの運用管理

43市町村運用精度管理システムの改修

胃内視鏡検診を開始した市町村についてのシステム改修を行った。

(2) 受診者数集計システムの運用管理

がん検診の受診者数を早期に把握計することを目的に、既存の精度管理システムの仕組みを活用し、受診者数集計システムを運用し、令和3年度速報値を府内市町村に報告した。

5. がん検診受診率向上事業

職域における精度管理されたがん検診の普及・啓発を目的に、啓発チラシ・ハンドブックを作成、配付した。
また、大阪がん循環器病センターホームページ内に「職域におけるがん検診推進のページ」を開設、「ハンドブック」の内容を解説した動画を公開した。

配付対象と配布数： 啓発チラシ 協会けんぽ大阪府支部の加入事業所 約20,000事業所
ハンドブック 健康保険組合連合加入組合 175組合 21共済組合 等

(別表2)

開催日	テーマ
令和4年 8月22日	今後の市町村がん検診のあり方について
	ブレスト・アウェアネスの意義について
	大阪府内市町村がん検診受診者数の調査結果等について
	精度管理センター事業紹介2022
	大阪府精度管理システムと 地域保健・健康増進事業報告の注意点について
	令和4年度 がん検診受診者数（速報値）の提出スケジュールについて

7 循環器病予防活動

循環器病予防部門では、健康科学センターで培った科学的根拠を踏まえた健康づくり技法のノウハウ等を活かし、大阪府からの受託事業として、府内の市町村の循環器病予防対策の支援として地域の健康課題の明確化や行動変容プログラムの策定・実践指導、保健指導ツールの開発を行うとともに、循環器病健診事業等を行った。

(1) 地域の健康課題の明確化（医療費及び特定健診・特定保健指導のデータ分析）

大阪府国民健康保険団体連合会、市町村国民健康保険等にかかる特定健診、特定保健指導及び医療費のデータを分析し、市町村国保における医療費や疾病構造にかかる課題、特定健診・特定保健指導の実施状況（受診率、メタボリックシンドロームの割合等）、健診有所見者状況の課題を明らかにした。

その結果、高血圧、喫煙率をはじめとする各所見や医療費の内訳において、市町村間の差や地理的な偏在が判明し、市町村の課題に応じた対策の重点化の必要性を示した。これらのデータを元にデータヘルス計画策定に対する助言を行っている。

また、平成 27 年度からは、協会けんぽデータの分析も行っている。

(2) 行動変容プログラムの提示・普及、モニタリング調査・分析（行動変容推進事業のフォローアップ事業）

行動変容推進事業は、データ分析の結果明らかになった健康課題を踏まえ、改善策について計画・実行・評価（PDCA サイクル）を行うことで、被保険者、保険者、関係者等の問題意識を高め行動変容につなげていくことを目指している。

(3) 循環器疾患と危険因子のモニタリング及び保健指導ツールの開発

所外健診を通じ、特定集団の健康状況にかかるデータを長期継続的に追跡・調査し、循環器疾患の発症状況や危険因子のモニタリングを実施した。また、これらの調査データの分析を通じ、特定健診の結果を活用して将来の循環器疾患の発症確率が計算できる「循環器疾患・発症予測ツール」（平成 23 年度に開発）をホームページで公開している。このツールはいくつかの団体でも活用されているほか、所内の保健指導においても活用されている。モデル地域・職域での健診によって蓄積されたデータ及び、その他の学術的な資料に基づき、現場の声を聞きながら、循環器疾患の予防対策に役立つ保健指導用リーフレットを作成した。

(4) 総合健診事業

がん検診と循環器健診をセットにした「総合健診」を行うとともに、特定保健指導を同日実施することにより、特定健診受診率の向上に寄与した。

受診者のうち、特定保健指導（いわゆる「メタボ健診」）の対象とならないハイリスク者に対しても、保健師又は管理栄養士による個別面接を行い、「循環器疾患・発症予測ツール」を活用するなど保健指導を実施し、循環器病予防の推進に努めた。

また、これらのことにより培われた健診・保健指導の実施方法の工夫や生活習慣の改善に関する具体的な指導・助言などを、市町村の行動変容プログラムに採り入れた。

(5) 循環器病予防のための情報発信

府民の健康指標の改善に資するため、府民、指導者、研究者に対し、循環器病・生活習慣等にかかる健康情報並びに「大阪府民の健康栄養状況」のとりまとめ、指導者養成の教材・講演内容、研究論文などをホームページで提供するとともに、大阪府、市町村と連携して、医師、保健師、管理栄養士等を対象に、特定健診・特定保健指導、禁煙支援など、健康づくりを推進するための専門研修を行った。

(6) 調査研究事業

循環器病等の生活習慣病予防の推進を目的に、科学的根拠に基づいた実践的な健康づくり技法の開発や制度化のための調査研究を行うとともに、厚生労働省や文部科学省等の研究班の研究協力者として共同研究を行った。

令和4年度 保健事業説明会

- 1 と き 令和4年5月27日（金）14：00～17：00（受付：13：30～）
- 2 開催形式 ハイブリッド（大阪がん循環器病予防センターより配信）
- 3 対 象 ・市町村国保、衛生部門の職員（管理職及び担当者）、
特定健診・保健指導・がん検診・医療費適正化等担当者（技術職・事務職）
・府保健所 企画調整課職員（地域職域連携推進事業担当者等）
・医療保険者、その他関係機関担当者 等
- 4 目 的 府が実施する健康づくり施策、国保ヘルスアップ支援事業、がん検診受診率向上等について、市町村担当者等が理解し、他機関と連携した効率的・効果的な保健事業を展開することができる。
- 5 主 催 大阪府健康医療部健康推進室健康づくり課、大阪がん循環器病予防センター
- 6 プログラム

時間	プログラム内容	講 師 等
14:00	大阪府健康推進室施策の説明 ・健康増進計画 ・データヘルス計画 ・健活10推進プロジェクト ・国保ヘルスアップ支援事業	大阪府健康推進室健康づくり課 課長 勝見友一
14:20	協会けんぽからの情報提供 「特定健診とがん検診の同時実施について」	全国健康保険協会 大阪支部 企画総務部 保健グループ グループ長補佐 鈴木亮佑
14:30	大阪国民健康保険団体連合会からの情報提供 「データヘルス計画ひな形と使用データについて」	大阪府国民健康保険団体連合会 総務部企画事業課 保健事業係長 上田聡子
14:40	医療費データ、特定健診・特定保健指導データ分析 ・分析結果説明 ・ワークショップ事例報告 ・データ分析ワーク	大阪がん循環器病予防センター 循環器病予防部門 健康開発部 部長 清水悠路
16:50	連絡事項 アンケート記入等	
17:00	終了予定	

令和4年度 行動変容推進事業フォローアップ研修会

- 1 と き 令和4年9月9日（金）13時15分～17時00分（受付：13時から）
- 2 開催形式 Web開催（Webでの参加が困難な市町村は会場参加可能）
 ＊府保健所、栄養士会は原則Web参加とする
 ＊会場参加の場合：大阪がん循環器病予防センター 6階 講堂
- 3 対 象 市町村国保、衛生部門、特定健診・保健指導等従事者・担当者（技術職・事務職）、
 府保健所企画調整課担当者、その他 関係機関担当者 等
- 4 目 的 効果的に生活習慣病予防の保健指導を行うためのより実践的知識を学び、保健事業従事者の
 スキルアップを図ると共に、汎用性の高い行動変容プログラムに基づく取り組みの推進を
 図る。
- 5 主 催 大阪がん循環器病予防センター（大阪府委託）
 ＊本研修会は、大阪府健康推進室健康づくり課、公益社団法人大阪府栄養士会主催の
 府保健所及び市町村栄養士等合同研修会としても実施しております。

プログラム

時間	プログラム内容	講 師 等
13：15	開会の挨拶（5分）	大阪がん循環器病予防センター 清水 悠路
13：20	第1部 報告（80分） 1. 大阪府栄養士会からのお知らせ（10分） 2. 市町村アンケートの報告、汎用性の高い行動変容プログラム についての提案（70分） 1) 特定健診受診率向上 2) 特定保健指導実施率向上 3) 保健事業の場での禁煙支援 4) 高血圧対策 5) 糖尿病対策	大阪府栄養士会 会長 藤原政嘉 大阪がん循環器病予防センター 佐々木 なぎさ 本田 瑛子 岡田 武夫
14：40	休憩（10分）	
14：50	第2部 講演 - 地域活動の紹介（40分）	大阪がん循環器病予防センター 木山 昌彦、高田 碧
15：30	休憩（10分）	
15：40	第3部 グループワーク（60分） ＜テーマ＞ 各自治体での地域活動を通じて、ポピュレーションアプローチや 健康無関心層へのアプローチについて意見交換を行う。 ※ 参加前記入票を参照（資料8）	ファシリテーター： 大阪がん循環器病予防センター
16：40	グループワークまとめ（20分）	
17：00	閉会の挨拶、その他（連絡事項、アンケート記入等） 終了予定	

IV 広報活動

1 概 要

広報活動として、がん及び生活習慣病に関する知識の啓発・普及活動並びに、当センターの事業紹介を行っている。

保健所や府内市町村などの協力も得て、喫煙習慣や食生活などの生活習慣の改善、がんの早期発見のために、がん検診を受診することの重要性などについての知識の普及を目指している。

また、所外で開催される研修会・講演会等に職員を講師として派遣している。

2 がん予防キャンペーン大阪2022

令和4年9月～令和5年3月にかけて、大阪府、大阪市、大阪府医師会をはじめ公衆衛生関係団体や婦人団体など計9団体で構成する「がん予防キャンペーン大阪」実行委員会（事務局：当センター）の主催の下でキャンペーンを開催した。

検診受診率の向上は、がん対策の大きな柱である。がんについての正しい知識を広く提供し、大阪府のがん検診受診率を向上させるために、府民を対象に講演会を毎年開催している。令和4年度はコロナ禍において検診の受診控えが課題とされる中、検診受診率の向上を目指すため『今こそ受けよう！肺がん検診～大切な検診と適切な治療～』というテーマで講演動画をWeb上に公開した。

また、前年に引き続き、当センターのホームページにおいて、作成した教材を閲覧及びダウンロードできるようにし、継続したがん予防のための啓発活動を展開した。

事業内容の詳細は次頁に掲載する。

3 オンライン市民公開セミナー

「がん検診がきつとあなたを救う 早期発見が大切」をメインテーマに、当センターホームページ上に特設ページを開設し、オンライン市民公開セミナーを開催した。

講 演 タ イ ト ル	講 師
健（検）診の意義 ― 備えあれば憂いなし！	伊藤 壽記
ヒートアップしている呼吸器の病気	今村 文生
なぜ子宮頸がん検診を受けるのか？	杉田 道夫
ブレストアウェアネスって知っていますか？	濱田 未佳
脳卒中や心臓病にならないようにするには	木山 昌彦
メタボリック症候群と特定保健指導	岡田 武夫
知っていますか？前立腺がん、腎臓がん	大阪国際がんセンター 西村 和郎
高齢者疾患（認知症、誤嚥性肺炎、フレイル）	伊藤 壽記
上部・下部消化器がん検診について	林 暢彦
超音波検査で見つける肝臓・胆嚢・膵臓の病気	田中 幸子
今、増えている膵臓がんについて	伊藤 壽記
糖尿病のなぜに答える	徳島大学 先端酵素学研究所 松久 宗英
“卵巣がんはこわい”って本当ですか？	杉田 道夫
乳癌にかかりやすい人は？乳癌は遺伝するの？	濱田 未佳
アルコールによる肝障害と肝がん発症	大阪国際がんセンター 大川 和良
自分と周囲の健康を守るために禁煙を！	本田 瑛子

1. Webでの動画公開

新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえWeb上での講演動画を公開し啓発をおこなった。

(1) Web 講演会

- テーマ 『今こそ受けよう！肺がん検診～大切な検診と適切な治療～』
- 掲載期間 令和4年10月1日～令和5年3月31日
- 掲載場所 大阪がん循環器病ホームページ内 がん予防キャンペーン大阪2022ページ
- 内容及び講師等
講演の動画 ◇『肺がんの内科治療はびっくりの進歩！
でも一丁目一番地は予防と検診です』
今村 文生氏（大阪がん循環器病予防センター 副所長兼放射線検診部長）

- ◇『肺がん検診 早く小さいうちに見つかった肺がんの治療について』
岡見 次郎氏（大阪国際がんセンター 呼吸器外科 主任部長）

- がん検診の動画 ◇ がん検診について
◇ 肺がん検診

- 視聴数 のべ 7,066回

(2) 広報活動

- 新聞等 府政だより
- チラシ・ポスター 各市町村、保健所、主催団体、協賛団体 等
- ホームページ等 主催団体 HP、健康保険組合 HP（ダスキン健康保険組合等）等
- その他 大阪府アスマイルアプリ、大阪府報道発表、大阪市報道発表

2. がん検診クーポンの配布

がん検診の受診のきっかけの提供を目的とし、がん検診無料クーポン券のプレゼントを企画した。

	応募数	受診数
胃がん検診（内視鏡）	10名	7名
肺がん検診（胸部CT）	28名	25名
乳がん検診（マンモ・エコー）	7名	7名
計	45名	39名

3. 啓発資料の作成・増刷

- 1) がん検診ポスター （作成）（B2版 カラー 1セット（6種）各100枚）
胃がん検診（胃部エックス線検査）、胃がん検診（胃内視鏡検査）、大腸がん検診（便潜血検査）
肺がん検診（胸部エックス線検査）、乳がん検診（マンモグラフィ）、子宮頸がん検診（細胞診）
- 2) 5がん検診啓発リーフレット （増刷）（A4版 カラー 8,000部）

4. 2022年版がん予防啓発冊子等の配布

がん予防のための正しい知識を掲載した冊子等が、一人でも多くの府民の手に届くよう、各関係機関等の協力を得て、場所や経路に応じた配布を行った。

また、7月にはがん検診啓発動画 DVD「おおさか 受けてや!! がん検診」(2021年作成)を、11月にはがん検診ポスターを府内43市町村に配付した。

(別表1) 9月のがん征圧月間に配布した機関および冊子枚数一覧表

	がん検診啓発リーフレット
主 催 団 体	各30部 合計150部
大 阪 府	10部
大 阪 府 医 師 会 (郡市区医師会64カ所)	10部と各50部 合計3,210部
大 阪 市 (保健センター24カ所)	各50部 合計1,250部
東 大 阪 市、堺 市 摂津市(13カ所)	各50部 合計650部
府 内 市 町 村 (39カ所)	各50部 合計1,950部
合 計	7,220部

5. その他の資料の配布状況

啓発資料の追加を希望する団体には過去のがん予防キャンペーン大阪で作成した資料も含めて配布した。

(別表2) その他の資料の配布状況(追加希望等)

資 料 の 種 類	作 成 年 度	市 町 村	医 療 機 関 そ の 他	計
あなたはもう受けましたか?乳がん検診を!	2018	350	200	550
子宮がん検診 早期発見が決めて!	2020	0	50	50
がん検診啓発リーフレット	2020	300	240	540
大腸がん検診	2018	0	60	60
肺がん検診啓発リーフレット	2016	0	55	55
胃がん検診啓発リーフレット	2017	0	150	150
ブレストアウェアネスカード	2021	1,800	715	2,515

6. 乳房触診モデルの貸し出し

乳がん検診受診の啓発を目的とし、社内啓発や乳がん検診啓発イベントで活用いただける、乳房触診モデルの無償貸出しを行った。

貸出し機関数 6 機関 ・ 貸出し回数 7 回

【主催団体】 大阪府／大阪市／(一社)大阪府医師会／(公財)大阪対がん協会／(一財)大阪府結核予防会
大阪府地域婦人団体協議会／大阪市地域女性団体協議会／(公財)大阪成人病予防協会
当センター(事務局)

4 講師派遣

大阪府内市町村や医師会、企業の健康保健組合等からの依頼により、市町村や企業の健康保険組合等が主催する研修会・講演会に講師等として職員を派遣し、がん・循環器疾患に関する知識の啓発・普及に努めた（表22）。

表22 講師派遣実績表

《伊藤 壽記 所長》

講演・研修等 内容	主 催 者	会 場	開 催 日
特別講演 「感染症における統合医療」	日本統合医療学会 群馬支部会	WE B	令和4年 5月15日
学会認定研修セミナーpart 5. 「生活習慣病（がん、糖尿病など）」	日本統合医療学会	WE B	令和4年 6月17日
学会認定研修セミナーpart 5. 「健康と疾病について」	日本統合医療学会	WE B	令和4年 6月18日
学会認定研修セミナーpart 1. 「統合医療とは？医療モデルと社会モデル、統合医療におけるEBM」	日本統合医療学会	WE B	令和5年 3月18日

〈がん予防検診部門〉

《三浦 一利 放射線技師室長》

講演・研修等 内容	主 催 者	会 場	開 催 日
基準撮影法の空気量について	大阪消化管撮影技術研究会	WE B	令和4年 4月2日
胃症例検討会（司会・解説）	大阪消化管撮影技術研究会	ラミ本町ケリー/ ハイブリッド開催	令和4年 7月2日
第49回放射線研修会 胃症例検討会（読影）	日本消化器がん検診学会 近畿支部	T P Kガーデンシ ティー東梅田/ ハイブリッド開催	令和5年 2月25日

〈循環器病予防部門〉

《木山 昌彦 副所長兼循環器病予防健診部長》

講演・研修等 内容	主 催 者	会 場	開 催 日
筑波大学非常勤講師 「機能・構造と病態Ⅰ」	筑波大学医学医療エリア 支援室 総務	筑波大学	令和4年 10月22日

《岡田 武夫 予防推進部長》

講演・研修等 内 容	主 催 者	会 場	開 催 日
令和4年度4年次 環境医学・公衆衛生学実習の指導	大阪大学医学部	オンライン開催	令和4年 4月14日～ 10月13日
令和4年度箕面市食生活改善推進員 (ヘルスメイト)養成講座 「府民の健康状況と生活習慣病予防」	箕面しみどりまちづくり部 箕面産と食の推進室	箕面市総合保健 福祉センター分館 2階講堂	令和4年 11月17日
特定健康診査結果説明会「特定健康診査 の見方と生活習慣病予防について」 市民からの健康相談へのアドバイス	泉佐野市健康福祉部	エブノ泉の森ホール 2階レセプションホ ール	令和5年 3月12日

《本田 瑛子 保健師副主査》

講演・研修等 内 容	主 催 者	会 場	開 催 日
講義 「対象者の状況をふまえた禁煙支援」 ロールプレイング 「禁煙を考えてもらうための話の聞き方、 話し方」	大阪府和泉保健所	大阪府和泉保健所 2階多目的室	令和4年 6月3日

5 そ の 他

パンフレットの作成と配布

当センターの事業内容の紹介とがんの知識の啓発普及を図るために、当センターで作成したパンフレット類を希望する市町村や職域団体などに配布している。また、大阪府が発行しているパンフレットに当センター職員医師が委員として作成に携わっている。

◇大阪がん循環器病予防センター

(センター紹介)

◇検診のご案内

◇自己検診で早期発見 (乳がん自己検診法)

◇女性と健康小読本 (大阪府発行)

V 受診者満足度調査

1 概 要

大阪がん循環器病予防センターでは、平成21年度から、受診者を対象としてアンケート方式による受診者満足度調査を実施してきた。

アンケートは施設と検診車で受診者、それぞれ500人を目処に自己記入方式により実施してきたが、平成29年度からは施設、検診車隔年ごとに実施することにした。

令和4年度の実施期間及び回答者数は次のとおりである。

・検診車 12月8日から12月15日まで 369人

(1) 年齢

「50歳代」が26.0%と最も多く、次いで「60歳代」24.7%、「40歳代」22.0%の順であった。

(2) 性別

「女性」76.0%、「男性」24.0%の割合で、女性の比率が高かった。

(3) 受診項目

「大腸がん検診」21.6%、「乳がん検診」21.5%、「肺がん検診」21.3%、「胃がん検診」20.9%、「子宮がん検診」14.7%、の割合であった。

(4) 受診した理由（複数回答）

「毎年受診」48.7%、「その他」12.1%、「スタッフの対応が良い」11.8%、「ホームページ見て」8.9%、「家族・知人の勧め」8.7%、「検診精度が高い」が5.9%、「評判が良い」3.9%の順となっている。

(5) 検診スタッフの言動・態度

「満足」91.8%、「ほぼ満足」5.7%で併せて97.5%を占めている。（表23）

(6) 診察、健診等の十分な説明

「満足」91.5%「ほぼ満足」5.5%で併せて97.0%を占めている。
（表26）

(7) 健診にかかった時間

「思ったより早く受診できた」87.5%、「普通」11.9%、「思った以上に時間がかかった」0.5%となっている。

(8) 次回も当センターを受診したいと思うか

「はい」と回答した受診者が93.2%、「いいえ」6.3%となっており、ほとんどの受診者が次回も当センターで受診したいと思っている。

(9) センターに対する要望、改善点について

自由記載による当センターに対する要望や改善点についての質問では、全体で50件の意見があり、その内「感謝や満足、励まし」が32件で最も多く、全体の64.0%であった。

次いで「その他」に関する意見が多く13件26.0%であった。

表23 検診スタッフの言動・態度に対する満足度

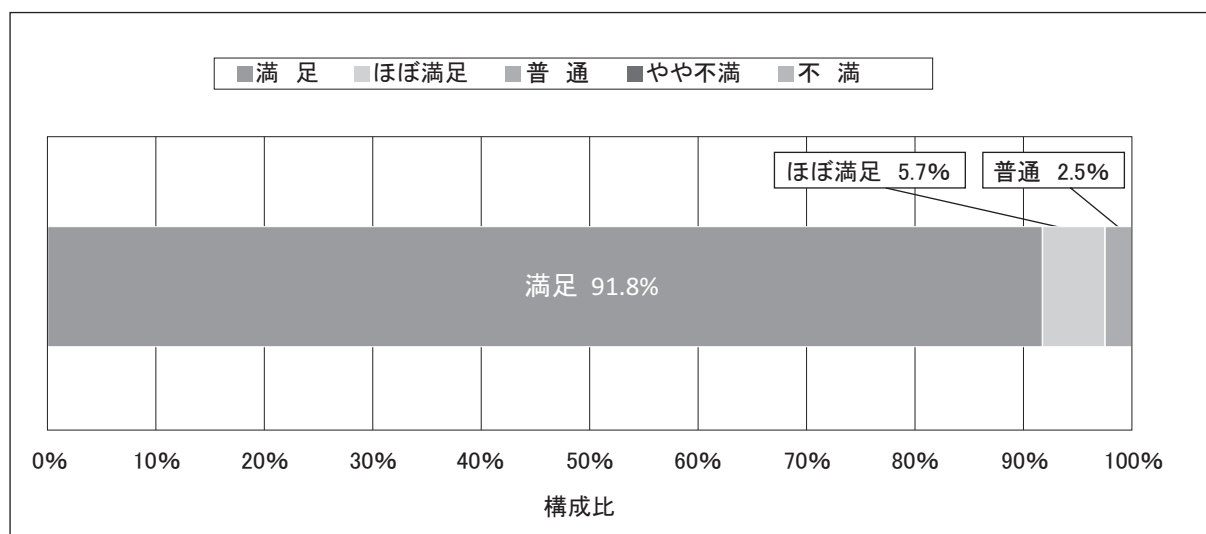
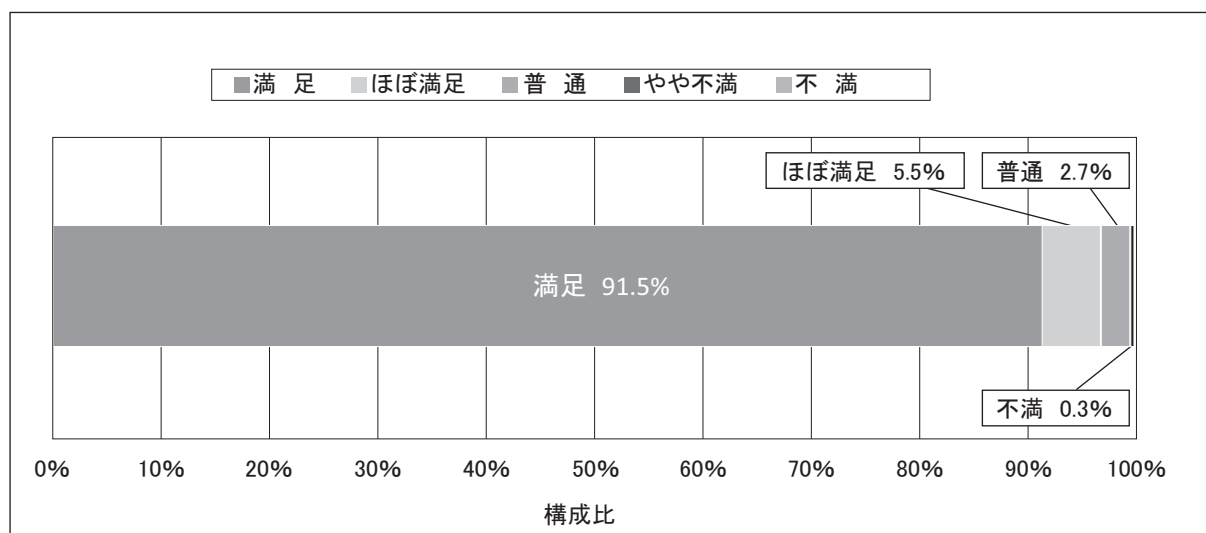


表24 診察、健診等の十分な説明に対する満足度



2 アンケート結果についての対応

本アンケートの結果を各所属に配布し、アンケートに寄せられた要望や改善点等の対応について、意見の提出を求めた。各所属では、まとめた意見をもとに順次改善のための対応を行うなど、アンケート結果を踏まえ、できるだけ多くの受診者の方に満足していただけるよう、今後ともセンター全職員「おもてなし」の心で対応させていただきたい。

VI 研究及び研究支援

1 概 要

当センターでは、日常の検診業務、広報活動の他、国などの機関からの研究助成を受けて、がん及び循環器病の予防に向けた研究活動を行っている。職員は、専門領域での新技術の開発研究や検診の実態調査、疾患予防のための知識の普及活動にも取り組み、多くの関連学会・研究会の役員として活躍している。国など

の機関からの研究助成金、学会・研究会などの役員・委員、学会発表、学術講演、研究論文、著書などを以下に掲載する。

また、がん予防に関する研究やがん検診の普及活動などを行っている大阪府内の個人や団体を対象とした研究助成金の交付も行っている。

2 国などの研究班への参加

研 究 費 名	研 究 班 名	参 加 者
日本医療研究開発機構（AMED） 革新的がん医療実用化研究会開発事業（佐川班）	低線量 CT による肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験および大規模コホート研究	伊 藤 壽 記 （研究分担者）
厚生労働科学研究費補助金 （循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）	生涯にわたる循環器疾患の個人リスクおよび集団リスクの評価ツールの開発及び臨床応用のための研究	木 山 昌 彦 （研究分担者）
	国民健康づくり運動の推進に向けた飲酒の社会的影響に関するエビデンスの創出	高 田 碧 （研究分担者）
科学研究費助成事業 （科学研究費補助金） 基盤研究 B	フレイル発症に及ぼす生活因子、医学的因子、社会的因子の影響：年齢層による差異	木 山 昌 彦 （研究分担者）
	脳卒中発症に及ぼす身体心理社会的因子の寄与率の時代変遷についての疫学研究	木 山 昌 彦 岡 田 武 夫 （研究分担者）
	大規模コホート研究の統合解析による認知症予防エビデンスの究明	清 水 悠 路 （研究分担者）
科学研究費助成事業 （学術研究助成基金助成金） 基盤研究 C	大腸がん検診における組織型検診をめざした受診行動サポートシステムの構築	木 山 昌 彦 （研究分担者）
	非糖尿病患者の筋肉・体脂肪分布量と個人内血糖変動等の糖代謝に関する地域疫学研究	高 田 碧 （研究分担者）

研 究 費 名	研 究 班 名	参 加 者
科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 挑戦的研究(萌芽)	コロナ禍の心身の健康維持に影響する腸内細菌叢及び関連要因についての疫学研究	木 山 昌 彦 (研究分担者)
	サルコペニア・プレサルコペニアと心不全に関する横断並びに縦断研究	高 田 碧 (研究分担者)
国立研究開発法人日本医療研究 開発機構 (AMED) 予防・健康づくりの社会実装に 向けた研究開発基盤整備事業 ヘルスケア社会実装基盤整備事業	生活習慣病予防のための行動変容を評価する 包括的な社会心理行動指標に関する研究	清 水 悠 路 (研究分担者)

3 各種役員・委員

【伊藤壽記 所長】

- ・日本組織移植学会 理事
- 同 評議員
- 同 規約委員会委員長
- ・日本臓器保存生物医学学会 監事
- 同 評議員
- ・日本統合医療学会 理事長
- ・日本機能性食品医学会 理事
- ・大阪対がん協会 参与
- ・統合医療機能性食品国際学会（ICNIM） 会長
- ・NPO 奄美機能性食品開発研究会 理事

〈がん予防検診部門〉

【田中 幸子 顧問】

- ・日本人間ドック学会 社員
- 同 試験問題検討・作成小委員会 委員
- 同 がん検診実態調査委員会 委員

【今村文生 副所長兼放射線検診部長】

- ・呼吸器内視鏡学会 委員
- 気管支鏡専門医制度委員会 委員
- ・大阪府がん対策推進委員会 委員

【濱田 未佳 乳腺検診部長】

- ・吹田市乳がん検診精度管理委員会 委員

【池宮城賀恵子 調査室長】

- ・日本消化器がん検診学会 検診従事者委員
- ・日本消化器がん検診学会 委員
- 近畿支部保健衛生研修委員会 委員長

【三浦一利 診療放射線技師室長】

- ・大阪消化管撮影技術研究会 幹事
- 同 編集委員会 編集委員
- ・日本消化器画像診断情報研究会 世話人
- ・日本消化器がん検診学会 委員
- 近畿支部放射線研修委員会 委員

【久保文裕 診療放射線技師室室長代理】

- ・日本消化器がん検診学会 委員
- 近畿支部放射線研修委員会 委員

【稲葉有美江 診療放射線技師室副主査】

- ・日本消化器がん検診学会 役員
- 近畿支部放射線研修委員会 役員

【末廣彬人 診療放射線技師副主査】

- ・大阪消化管撮影技術研究会編集委員会 編集委員

〈循環器病予防部門〉

【木山昌彦 副所長兼循環器病予防健診部長】

- ・八尾市衛生問題対策審議会 委員
- ・八尾市健康日本21八尾計画 委員
- 及び食育推進計画審議会 委員
- ・井川町健康づくり管理指導委員会 委員
- ・大阪府食育推進計画評価審議会 委員
- ・泉佐野市保健対策推進協議会 委員
- ・伊丹市保健医療推進協議会 委員
- ・大阪府健康づくりアワード 審査委員
- ・日本循環器病予防学会 評議員

【岡田武夫 予防推進部長】

- ・日本医療情報学会 評議員
- ・大阪府国民健康保険団体連合会 委員
- 保健事業支援・評価委員会

【清水悠路 健康開発部長】

- ・日本疫学会 代議員
- ・日本公衆衛生学会 代議員
- ・大阪府国民健康保険団体連合会 委員
- 保健事業支援・評価委員会

【本田瑛子 保健師副主査】

- ・大阪府国民健康保険団体連合会 委員
- 保健事業支援・評価委員会

4 学会及び学術集会主催

今年度該当者なし

5 学会発表及び学術講演

〈所長〉

1. 高齢者医療における統合医療の役割

第64回日本老年医学会；2022年6月 大阪市

伊藤壽記

2. Total pancreatectomy as a treatment strategy for de novo IPMN in the native pancreas after pancreas transplantation

第34回日本肝胆膵外科学会・学術集会；2022年6月 松山市

佐藤広陸，富丸慶人，小林省吾，秋田裕史，伊藤壽記，佐々木一樹，岩上佳史，山田大作，野田剛広，後藤邦仁，高橋秀典，濱 直樹，土岐祐一郎，江口英利

3. 軽度認知機能障害に対する Virtual Reality を活用した早期介入手法の開発に向けて：前向き臨床試験

第22回日本早期認知症学会学術大会；2022年9月 徳島市

高橋奈々，仁木一順，上野慶太，岡本美緒，矢原恵美，木口穂乃里，馬淵はづき，田中寛之，野村麻衣，吉田啓太，山下幸宏，奥田昶視，内藤泰男，石井良平，池田賢二，伊藤壽記，上田幹子

4. 当院におけるこれまでの膵臓移植の手術手技の工夫

第58回日本移植学会総会；2022年10月 名古屋市

富丸慶人，小林省吾，伊藤壽記，佐々木一樹，岩上佳史，山田大作，野田剛広，高橋秀典，土岐祐一郎，江口英利

5. 膵臓移植後に発生した移植後リンパ増殖性疾患に関する検討

第58回日本移植学会総会；2022年10月 名古屋市

今村宏輝，富丸慶人，小林省吾，伊藤壽記，佐々木一樹，岩上佳史，山田大作，野田剛広，高橋秀典，土岐裕一郎，江口英利，剣持 敬，

6. 脳死下腎同時移植症例における阻血時間が手術成績に与える影響

第58回日本移植学会総会；2022年10月 名古屋市

門 威志，富丸慶人，小林省吾，伊藤壽記，佐々木一樹，岩上佳史，山田大作，野田剛広，後藤邦仁，高橋秀典，今村亮一，土岐祐一郎，江口英利

7. グラフト阻血時間短縮を目指した膵臓移植 bench surgery における Vessel sealing system の使用経験

第48回日本臓器保存生物医学会学術集会；2022年11月 広島市

富丸慶人，小林省吾，伊藤壽記，佐々木一樹，岩上佳史，山田大作，野田剛広，高橋秀典，土岐祐一郎，江口英利

8. 膵臓移植後の感染症の検討 -膵グラフト喪失理由に注目して-

第35回日本外科感染症学会学術集会；2022年11月 倉敷市

富丸慶人，小林省吾，伊藤壽記，佐々木一樹，岩上佳史，山田大作，野田剛広，高橋秀典，剣持 敬，土岐祐一郎，江口英利

9. Decompression tube placement for preventing duodenal graft perforation at pancreas transplantation
Transplantation Science Symposium Asian Regional Meeting 2022 ; 2022年11月 Kyoto, Japan
Tomimaru Y, Shogo Kobayashi, Toshinori Ito, Kazuki Sasaki, Yoshifumi Iwagami, Daisaku Yamada, Takehiro Noda, Hidenori Takahashi, Ryoichi Imamura, Yuichiro Doki, Hidetoshi Eguchi
10. Impact of total ischemic time on simultaneous pancreas-kidney transplantation
Transplantation Science Symposium Asian Regional Meeting 2022 ; 2022年11月 Kyoto, Japan
Kado T, Yoshito Tomimaru, Shogo Kobayashi, Toshinori Ito, Ryoichi Imamura, Kazuki Sasaki, Yoshifumi Iwagami, Daisaku Yamada, Takehiro Noda, Hidenori Takahashi, Yuichiro Doki, Hidetoshi Eguchi
11. Impact of cytomegalovirus infection and disease on the graft loss after pancreas transplantation: A single
Transplantation Science Symposium Asian Regional Meeting 2022 ; 2022年11月 Kyoto, Japan
Toya K, Yoshito Tomimaru, Shogo Kobayashi, Toshinori Ito, Kazuki Sasaki, Yoshifumi Iwagami, Daisaku Yamada, Takehiro Noda, Hidenori Takahashi, Ryoichi Imamura, Yuichiro Doki, Hidetoshi Eguchi
12. 発酵大豆テンペ（Tempe）摂取による腸内菌叢の変化
第20回日本機能性食品医学会総会；2022年12月 京都市
太田美穂，新宅賀洋，中川 学，東城博雅，伊藤壽記
13. 特別講演：新型コロナウイルス感染症パンデミックを受けてーこれからの在宅医療と病院医療を考える
第26回日本統合医療学会学術集会；2022年12月 群馬県前橋市（WEB）
伊藤壽記
14. シンポジウム「慢性疾患と統合医療」：がんの統合医療
第26回日本統合医療学会学術集会；2022年12月 群馬県前橋市（WEB）
伊藤壽記
15. 2次移植として実施した膵臓移植における手術手技の工夫
第50回日本膵・膵島移植学会；2023年2月 長崎市
富丸慶人，小林省吾，伊藤壽記，佐々木一樹，岩上佳史，山田大作，野田剛広，高橋秀典，土岐祐一郎，江口英利
16. ワークショップ「膵臓移植施設における次世代への継承」：
脳死膵臓移植術後腸閉塞の発生頻度そのリスクファクターの解析
第50回日本膵・膵島移植学会；2023年2月 長崎市
門 威志，富丸慶人，小林省吾，伊藤壽記，佐々木一樹，岩上佳史，山田大作，野田剛広，高橋秀典，土岐祐一郎，江口英利

〈がん予防検診部門〉

1. 乳癌検診で発見された乳腺悪性リンパ腫の1例
第32回日本乳癌検診学会学術総会；2022年11月 浜松市
濱田未佳，荻田真子，岩崎悦子，相川隆夫，和田公子，柴田 大，安座間 隆
2. 当センターにおける基準撮影法の実際
第61回日本消化器がん検診学会総会；2022年6月 WEB
蓮尾智之，三浦一利，久保文裕，池宮城光哉，山口健人，藤田陽蔵，稲葉有美江，楠本美千代，末廣彬人，桑野忠雄，福本弘幸

3. 胃X線検診の被ばく線量に影響を及ぼす要因

第30回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2022 FUKUOKA) ; 2022年10月 福岡市
蓮尾智之, 西川 孝, 三浦一利, 久保文裕, 池宮城光哉, 山口健人, 藤田陽蔵, 稲葉有美江, 楠本美千代,
末廣彬人, 福本弘幸, 今村文生, 伊藤壽記

4. 当施設における乳がん家族歴の調査

第32回日本乳がん検診学会総会 ; 2022年11月 浜松市
蓮尾智之, 稲葉有美江, 楠本美千代, 辻本百合恵, 房永佳那, 池宮城光哉, 三浦一利, 和田公子,
濱田未佳

5. 新型コロナウイルス感染症拡大による胃がん検診の現状

第51回日本消化器がん検診学会近畿地方会 ; 2023年1月 奈良市
池宮城賀恵子, 政岡 望, 東 明香

〈循環器病予防部門〉

1. 高血圧予防としてのアルデヒド脱水素酵素 ALDH2 (rs671) の役割

第76回日本栄養食糧学会 ; 2022年5月 兵庫県
清水悠路

2. Peripheral thyroxine deiodination activates adaptation to renal injury

The 15th International Congress of Physiological Anthropology 2022 ; 2022年9月 Oregon, USA
Yuji Shimizu, Shin-Ya Kawashiri, Yuko Noguchi, Seiko Nakamichi, Yasuhiro Nagata,
Naomi Hayashida, Takahiro Maeda

3. 糖尿病と脳下垂体における甲状腺ホルモン感受性の関係

第81回日本公衆衛生学会総会 ; 2022年10月 山梨県
清水悠路, 有馬和彦, 野口優子, 延末 謙, 山梨啓友, 川尻真也, 前田隆浩

4. 器質的動脈硬化指標(CIMT)と歯牙欠損の関係への機能的動脈硬化の影響

第4回臨床血管健康研究会シンポジウム ; 2022年10月 東京都
清水悠路

5. 高齢者における動脈硬化指標とLDLコレステロールの相反関係

第83回日本生理人類学会総会 ; 2022年10月 京都府
清水悠路, 有馬和彦, 野口優子, 宮田 潤, 山梨啓友, 川尻真也, 前田隆浩

6. 抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体と動脈硬化の関係

第33回日本疫学会総会 ; 2023年2月 兵庫県
清水悠路, 川尻真也, 野口優子, 永田康浩, 前田隆浩, 林田直美

7. 非過体重者における食べる速さと身長低下の関係について

第83回日本衛生学会総会 ; 2023年3月 東京都
清水悠路, 早川英伸, 本田瑛子, 佐々木なぎさ, 高田 碧, 岡田武夫, 大平哲也, 木山昌彦

6 研究論文・著書

〈所長〉

1. 本邦臓移植症例登録報告 (2022)
移植 2022 ; 57(3) : 257-263
富丸慶人, 伊藤壽記, 剣持 敬

〈がん予防検診部門〉

1. Manual for abdominal ultrasound in cancer screening and health checkups, revised edition (2021)
Journal of Medical Ultrasonics 2023 ; 50(1) : 5-49
Shinji Okaniwa, Toshiko Hirai, Masahiro Ogawa, Sachiko Tanaka, et. al
2. 人間ドックにおけるがん登録—2019年度の成績—
人間ドック 2022 ; 37(3) : 512-525
鎌田智有, 井上和彦, 杉森裕樹, 田中幸子, 三原修一

〈循環器病予防部門〉

1. Retinal microvascular abnormalities and risks of incident stroke and its subtypes: The Circulatory Risk in Communities Study.
J Hypertens 2022 ; 40(4) : 732-740
Li J, Imano H, Kitamura A, Kiyama M, Yamagishi K, Tanaka M, Ohira T, Sankai T, Umesawa M, Muraki I, Hayama-Terada M, Okada T, Cui R, Tanigawa T, Iso H.
2. Leukocyte Count and Risks of Stroke and Coronary Heart Disease: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS).
J Atheroscler Thromb 2022 ; 29(4) : 527-535
Li J, Imano H, Yamagishi K, Tanaka M, Cui R, Muraki I, Umesawa M, Hayama-Terada M, Ohira T, Kiyama M, Okada T, Sankai T, Tanigawa T, Kitamura A, Iso H.
3. Association between circulating CD34-positive cell count and height loss among older men.
Sci Rep 2022 ; 12 (1) : 7175
Shimizu Y, Kawashiri SY, Nobusue K, Nonaka F, Tamai M, Honda Y, Yamanashi H, Nakamichi S, Kiyama M, Hayashida N, Nagata Y, Maeda T.
4. Serum High-Sensitivity Cardiac Troponin T as an Independent Predictor for Incident Coronary Heart Disease in the Japanese General Population: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS).
J Atheroscler Thromb 2022 ; Online ahead of print
Imano H, Yamagishi K, Ohira T, Kitamura A, Okada T, Muraki I, Umesawa M, Sankai T, Kiyama M, Iso H.
5. Associations Between Occupational Status, Support at Work, and Salivary Cortisol Levels.
Int J Behav Med 2022 ; 29(3) : 299-307
Hirokawa K, Ohira T, Nagao M, Nagayoshi M, Kajiura M, Imano H, Kitamura A, Kiyama M, Okada T, Iso H.

6. Trends for the Association between Body Mass Index and Risk of Cardiovascular Disease among the Japanese Population: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS).
J Atheroscler Thromb 2022 ;Online ahead of print
Matsumura T, Sankai T, Yamagishi K, Tanaka M, Kubota Y, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Muraki I, Umesawa M, Cui R, Imano H, Ohira T, Kitamura A, Okada T, Kiyama M, Iso H.
7. Trends in the incidence of stroke and its subtypes from 1963 to 2018 in Japanese urban and rural communities: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS).
Int J Stroke 2022 ;Online ahead of print
Li J, Imano H, Kitamura A, Kiyama M, Yamagishi K, Tanaka M, Ohira T, Sankai T, Umesawa M, Muraki I, Hayama-Terada M, Cui R, Shimizu Y, Okada T, Sato S, Tanigawa T, Iso H.
8. Trends in stroke, cardiovascular disease, and medical expenditure under a community-based long-term stroke prevention program.
J Hypertens 2022 ;Online ahead of print
Yamagishi K, Sankai T, Muraki I, Umesawa M, Cui R, Imano H, Kihara T, Noda H, Ikeda A, Ohira T, Tanigawa T, Kitamura A, Sato S, Kiyama M, Iso H.
9. Dietary intake of beans and risk of disabling dementia: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS).
Eur J Clin Nutr 2023 ; 77(1) : 65–70
Kishida R, Yamagishi K, Maruyama K, Okada C, Tanaka M, Ikeda A, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Muraki I, Umesawa M, Imano H, Brunner EJ, Sankai T, Okada T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H.
10. Changes in cardiovascular disease risk factors during menopausal transition in Japanese women: the Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS).
Menopause 2023 ; 30(1) : 88–94
Teramura S, Sankai T, Yamagishi K, Umesawa M, Hayama-Terada M, Muraki I, Tanaka M, Kihara T, Ohira T, Imano H, Cui R, Shimizu Y, Okada T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H.
11. Nocturnal Intermittent Hypoxia and the Risk of Cardiovascular Disease among Japanese Populations: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS)
J Atheroscler Thromb 2023 ;Online ahead of print
Onuki K, Ikeda A, Muraki I, Tanaka M, Yamagishi K, Kiyama M, Okada T, Kubota Y, Imano H, Kitamura A, Sankai T, Umesawa M, Ohira T, Iso H, Tanigawa T.
12. Risk factors for pre-heart failure or symptomatic heart failure based on NT-proBNP.
ESC Heart Fail 2023 ; 10(1) : 90–99
Aoki S, Yamagishi K, Kihara T, Tanaka M, Imano H, Muraki I, Shimizu Y, Hayama-Terada M, Umesawa M, Sankai T, Okada T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H.
13. Dietary fiber intake and risk of incident disabling dementia: the Circulatory Risk in Communities Study.
Nutr Neurosci 2023 ; 26(2) : 148–155
Yamagishi K, Maruyama K, Ikeda A, Nagao M, Noda H, Umesawa M, Hayama-Terada M, Muraki I, Okada C, Tanaka M, Kishida R, Kihara T, Ohira T, Imano H, Brunner EJ, Sankai T, Okada T, Tanigawa T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H.

14. Optimal Cut-off Points of Nonfasting and Fasting Triglycerides for Prediction of Ischemic Heart Disease in Japanese General Population: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS).
J Atheroscler Thromb 2023 ; 30(2) : 110-130
Imano H, Li J, Tanaka M, Yamagishi K, Muraki I, Umesawa M, Kiyama M, Kitamura A, Sato S, Iso H.
15. Modifying Effect of Outdoor Recreational Activity on the Association Between Anger Expression and Cardiovascular Disease Risk: The Circulatory Risk in Communities Study
Psychosom Med 2023 ; 85(2) : 182-187
Tezuka K, Kubota Y, Ohira T, Muraki I, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Imano H, Shirai K, Okada T, Kiyama M, Iso H.
16. Sex- and age-specific impacts of smoking, overweight/obesity, hypertension, and diabetes mellitus in the development of disabling dementia in a Japanese population.
Environ Health Prev Med 2023 ; 28
Tanaka M, Imano H, Hayama-Terada M, Muraki I, Shirai K, Yamagishi K, Okada T, Kiyama M, Kitamura A, Takayama Y, Iso H.

7 受賞及び表彰

今年度該当者なし

8 大阪がん予防対策基金

当センターでは、がん予防に関する研究・研修・啓発の促進を目的に、各界各層からのご寄附・浄財により「大阪がん予防対策基金」を設けている。

令和4年度寄附金額は、2,000円で設立当初よりのご寄附額は累計で204,432,416円となっている。この基金による事業の一環として、がん予防対策基金研究助成金制度を設け、医療従事者等のがん関連の調査研究に対して助成を行っているが、4年度事業として2件の研究に助成を行った。

(1) 大阪がん予防対策基金寄附状況

令和4年度対策基金寄附内訳

・10万円以上	0件	0円
・10万円未満	1件	2,000円
4年度寄附金合計		2,000円
設立当初よりの寄附金累計額	204,432,416円	

(2) 大阪がん予防対策基金研究助成

<受贈者> 市立豊中病院

代表：松本 健吾

<研究内容> 膵臓癌患者における膵癌早期診断のための新スコアリングシステムの有用性評価とバイオマーカーを探索する単施設前方・後方視観察研究

<受贈者> 大阪がん循環器病予防センター 乳腺検診部

代表：濱田 未佳

<研究内容> 当センターでの発見癌症例からブレスト・アウェアネスの意義と普及により死亡率の減少につながる

(3) 大阪がん予防対策基金研究助成交付者一覧表

年度	交付者名（団体・代表者名）	研究課題
昭和62年度	大阪府医師会臨床検査センター	肺癌集団検診のための集細胞喀痰細胞診の開発
	大阪がん予防検診センター	がんの一次予防のための新しい健康教育システムの開発
	大阪がん予防検診センター 河島 輝明	胃がんの進展速度に関する研究
昭和63年度	大東保健所 柳 尚夫	がんを中心とした成人病の一次予防のための健康教育の地域での実践的研究
	八尾保健所 伊藤 裕康	保健所におけるがん死亡データの活用方法の開発
	吹田市立保健センター	特定年齢(40歳・50歳)を対象とした総合健康診査の実施

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
昭和63年度	美原町健康推進室 石澤 靖 子	美原町における包括的・効果的がん予防活動のあり方
	城東区医師会	医師会としての大腸がん集団検診への積極的取り組み
	藤井寺市医師会	集団検診における悪性腫瘍の発見及び頻度
	大阪市保健指導研究会	乳がん自己検診法の指導の評価
	がん予防研究会	肺がん予防のための禁煙教室の開催
	大阪がん予防検診センター 検査部	細胞診による子宮体癌検診のための新しい内膜細胞採取器具の開発
	大阪がん予防検診センター 内視鏡検診部 岡野 彌 高	胃がん検診における内視鏡第1次精検の新しい試み
平成1年度	枚方保健所	生活習慣における発がんのリスクファクターについて
	大阪府母子保健総合医療センター	乳児神経芽腫スクリーニングにおける要精検カットオフ値の検討と設定
	門真市役所	乳がん検診における自己検診法の普及について
	箕面市医療保健センター	箕面市における各種がん検診評価に関する研究
	近畿大学医学部 第一外科	乳癌集団検診でのマンモグラフィと超音波の有用性の比較検討
	大阪市環境保健局保健部 保健管理課	胃部X線集団検診における方向表示器の活用について
	大阪市環境保健局 健康指導課	超音波検診による乳がん集団検診について
	大阪がん予防検診センター 検診第2部	子宮体癌診断精度向上に関する研究
	大阪がん予防検診センター 看護婦グループ	胃がん検診要精検者に対する内視鏡のオリエンテーションVTR作成とその活用効果について
	大阪がん予防検診センター 診療放射線グループ	レントゲン検診部門管理システムのネットワーク化について
平成2年度	柏原中小企業健康問題研究会	中小企業における禁煙、肥満教育
	寝屋川保健所 堀毛 輝 江	禁煙・飲酒に関する地域健康教育ネットワークシステムの研究 —酒害対策の発展を踏まえて—
	東大阪市保健衛生部	乳がん予防のための健康教育のあり方
	寝屋川市学校保健教育研究会	寝屋川市における小中学生の喫煙状況の実態調査と喫煙防止の指導のあり方の研究
	大阪市住之江区医師会	住之江区における大腸がん集団検診
	岸和田徳州会病院 消化器内科	大腸癌の早期発見及び内視鏡的治療
	大阪市保健衛生検査所	集団検診による神経芽細胞腫の特性と疫学的事項に関する研究

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成２年度	大阪がん予防検診センター 三 木 信 夫	消化器総合検診(胃・大腸同時集検)の検討
	大阪がん予防検診センター 宮本真由美	集検発見胃がん患者の予後の分析
	大阪がん予防検診センター 田 路 英 作	子宮頸部上皮細胞のH P V (Human Papilloma Virus)感染様式の検討とその臨床応用に関する研究
	大阪がん予防検診センター 布 引 治	子宮体癌スクリーニングに適した新しい標本作製方法の試み
平成３年度	古妻クリニック 古 妻 嘉 一	関西新空港による生活環境の変化に基づく乳がんの一次予防に関する研究
	近畿大学医学部 光 林 茂	ポリメラーゼαによる膀胱腫瘍増殖能の検討
	大阪府立公衆衛生研究所 中 村 清 一	環境変異原を不活性化する生体成分について
	大阪府立公衆衛生研究所 原 嘉 宏	子宮頸癌の危険因子に関する研究
	大阪市交通局 健康管理室	がん検診による早期発見の可能性と限界について
	大阪市保健指導研究会	子宮がん(頸部)検診でがんと診断された者の受診態様からみた検診の有り方について
	大阪がん予防検診センター 綿 谷 正 弘	乳癌一次検診へのマンモグラフィの導入ー肥満女性に対するマンモグラフィの検討からー
	大阪がん予防検診センター 山 本 倫 子	H P V 感染の指標となる細胞診パターンの確認
	大阪がん予防検診センター 検査部	Papanicolaou 染色標本における細胞移動の試み
	大阪がん予防検診センター 桑 野 忠 雄	胃集検におけるX線照射線量低減のための体側フィルタの製作
	大阪がん予防検診センター 安 達 正 子	乳房自己検診法(BSE)指導方法についての検討
	大阪がん予防検診センター 横 溝 美 穂	妊婦とその家族を対象とした禁煙指導の有効性評価に関する研究
平成４年度	大阪中央病院産婦人科 前 田 隆 義	子宮頸部初期癌及び前癌病変に対する検診法として Contact Laser Conization の臨床的意義
	泉佐野保健所	受動喫煙の灰中ニコチンによる定量的評価と禁煙・分煙
	八尾保健所	胸部間接撮影における描出能と有用性の検討
	岸和田保健所	トータルヘルスをめざした健康教育の有効に関する研究ー保健所を中心にしてー
	大阪市保健衛生検査所	乳癌集団検診で使用している水浸式超音波診断装置(オクトゾン方式)の撮影条件の検討
	大阪がん予防検診センター 検診第２部	新しい自己細胞採取器具(マイハップ)による子宮頸部細胞診臨床試験
	大阪がん予防検診センター 検査部	子宮頸部ヒト乳頭腫ウィルス感染症の Follow up について
	大阪がん予防検診センター 山 本 兼 右	当センターにおけるパソコン利用の一考察ーがん患者画像データベースー

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成４年度	大阪がん予防検診センター 大森美恵子	大腸がん精密検査における不安及び緊張の緩和に関する研究
	大阪がん予防検診センター 遠藤幸子	がん検診情報システムの更新にあたっての取り組み
平成５年度	北摂病院 御前治	妊婦における細胞診の必要性和その要精検妊婦の管理
	吹田市医師会がん検診部会	乳がん個別検診のデータ解析による成績評価と今後の展望
	堺市宿院保健所 淵 勲	がん予防・健康講座の実践
	池田保健所	地域・職域における効果的な禁煙指導法の開発・普及のための研究
	吹田保健所	大腸がん検診における精密検査実施状況及び実施体制の実態調査
	大阪がん予防検診センター 検診第２部	細胞診における新しい判定方法“ベセスダシステム”についての研究
	大阪がん予防検診センター 検査部	子宮頸がん検診精度管理に関する研究（細胞診誤陰性例のチェック方法とその再検診）
	大阪がん予防検診センター 中川智美	便潜血検査判定による大腸がん検診の精度
	大阪がん予防検診センター 矢竹秀稔	胃集検用硫酸バリウム製剤（145W/V ゼル）の総合的評価についての研究
	大阪がん予防検診センター 田端和代	子宮がん精密検査受診率向上についての検討
平成６年度	堺市医師会呼吸器疾患談話会	F C Rを用いた肺癌早期発見の研究
	旭区医師会肝癌検診グループ	効率の良い肝癌検診の確立： ハイリスクグループの設定と適切な検診間隔
	泉佐野市保健センター	泉佐野市における胃がん検診 —計画検診の３年間のまとめ—
	八尾保健所	肺がんの発生と呼吸器疾患既往歴との関連
	大阪市環境保健協会	発見大腸がん患者等についての研究
	大阪がん予防検診センター 検査部	子宮頸部における接着分子（カドヘリン）の発現と組織—細胞所見
	大阪がん予防検診センター 牧本和代	大腸がん検診における精検方法の改良に関する研究—主として前処置について—
平成７年度	石切生喜病院 山片重房	乳がん・子宮がん複合検診の効用と効果
	旭区医師会肝癌検診グループ	効率の良い肝癌検診の確立： ハイリスクグループの設定と適切な検診間隔
	豊中保健所 森定一稔	豊中市におけるがん死亡の地域特性について
	熊取町大腸がん検診研究グループ	健康教室・住民説明会を併用した大腸がん検診の精度
	胃集団検診研究会	胃集検用高濃度バリウムの有用性について

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成 8 年度	旭区医師会肝臓検診グループ	効率の良い肝臓検診の確立
	大阪がん予防検診センター 濱田紘一郎	子宮頸部腺系初期癌および前癌病変の早期診断・治療・管理に関する研究
	大阪がん予防検診センター 前 田 喜 徳	がんに関する検診の調査研究
平成 9 年度	禁煙サポートグループ	成人病専門施設で働く看護婦の禁煙指導の現状と課題
	本 多 正 治	免疫学的便潜血検査法によって発見された大腸癌の解析と効果的な検診方法の検討
	大阪市婦人科腫瘍研究グループ	頸部擦過細胞診を用いた PCR 法による HPV - DNA 検出法とタイピング法の有用性の検討
平成10年度	谷 口 定 之	子宮頸がん検診に関する臨床的研究
	府立羽曳野病院 第 2 内科	小細胞肺癌患者の長期生存例における第2癌の発生ならびに晩発性再発についての因子解析
平成11年度	旭区医師会肝臓検診グループ	「効率の良い肝臓検診の確立」肝臓早期発見のため検診対象者の設定、検診方法、検診間隔の設定
	肝疾患対策研究グループ	地域における肝がん予防対策推進に関する研究
平成12年度	関西労働保険協会	腹部(肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓)超音波検診の精度
	府立羽曳野病院 外科	喫煙係数からみた肺癌手術予後
平成13年度	大阪鉄道病院 保健管理部消化器科	職員検診を活用した肝細胞癌の予防・早期発見システムの構築
平成15年度	大阪がん予防検診センター 岡 野 彌 高	検診機関におけるヘリコバクターピロリ菌陽性潰瘍例の除菌療法の評価と追跡調査の検討
	大阪府立成人病センター 福島良志幸	
平成16年度	枚方市立枚方市民病院 外科	乳癌の早期発見(マンモグラフィの有用性の検討)
平成17年度	堺市医師会乳がん検診	マンモグラフィ併用乳がん検診の有用性について
	胃がん検診用バリウム製剤研究グループ 山 本 兼 右	胃がん集団検診における高濃度低粘性硫酸バリウム粉末製剤のm A s 値の評価
平成18年度	枚方市妊産婦への禁煙支援グループ	妊婦禁煙と出産後の禁煙継続のための支援プログラム
	貝塚市健康づくり推進委員会	各校区毎の健康教室の開催や、大腸がん検診のスティック配布によりがん予防に対する知識を地域に広め、がん検診受診率の向上に寄与する
	大阪がん予防検診センター 婦人科検診部 植 田 政 嗣	婦人科癌における遺伝子多型解析

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成19年度	大阪がん予防検診センター 乳腺検診部 森 田 眞 照	乳癌マンモグラフィ検診の普及と精度向上を目指して
	大阪がん予防検診センター 臨床検査室 田 路 英 作	HPV検査(HC - 2)法におけるハイリスク陽性症例の子宮頸部細胞診所見
平成20年度	大東市 健康いきがい課 足 立 安 正	肺がん検診が禁煙指導に及ぼす影響
	胃がん検診用バリウム製剤研究グループ 山 本 兼 右	胃がん検診における高濃度と中濃度硫酸バリウム製剤のX線被曝線量評価に関する研究
平成22年度	大阪府四条畷保健所 企画調整課 山 口 和 子	未成年者に対する喫煙防止教育の充実
	府中病院 消化器内科 廣 岡 大 司	泉州地域における大腸がん検診の受診率・精検受診率の向上に向けた活動
	大阪がん予防検診センター 乳がん検診看護チーム 浅井恵美子	大阪府の乳がん検診受診率の向上を目指した、地域ボランティアシステムの構築
平成23年度	泉大津市立保健センター 鈴 木 友 子	子育て世代に対する子宮がん予防の効果的な啓発について
	大阪府立成人病センター がん予防情報センター 田 淵 貴 大	医療保険等の社会的背景に基づくがん検診受診率格差の実証的研究
	市立貝塚病院 乳がん高度検診・治療センター 山口美保子	外来看護師の積極的介入による若年者への乳がんの検診受診の啓発
平成24年度	大阪府立成人病センター がん予防情報センター 伊 藤 ゆ り	大阪府における市町村がん検診の検診精度管理指標に関する分析
	生長会府中大腸がん検診研究会 廣 岡 大 司	泉州地域における大腸がん検診の普及に向けた住民講座などの啓発活動
平成25年度	田附興風会医学研究所北野病院 八隅秀二郎	地域ぐるみの連携システムの構築
	PANDRA PROJECT 井 岡 達 也	膵癌早期診断を目指した適正な検診間隔を検討するための研究
	大阪府立成人病センター がん予防情報センター 井岡亜希子	神経芽細胞腫マスマスクリーニング中止による影響評価に関する研究
平成26年度	医療法人橘会東住吉森本病院 地域医療連携センター 地域がん対策チーム 田 中 宏	院内がん登録を基礎とした当地区における癌の特徴分析と効果的な予防啓発活動に関する研究
	上部下部消化管症例検討撮影研究会 山 本 兼 右	注腸X線検査における受診者の被ばく線量(実効線量)の算出と生涯がん死亡リスクの推定
	大阪がん循環器病予防センター 婦人科検診部 植 田 政 嗣	ベセスダシステム異型腺細胞の臨床病理学的背景ならびにHPV感染に関する研究
平成27年度	和泉市医師会「胃がんリスク検査」研究会 廣 岡 大 司	H. pylori 血清抗体(以下HP抗体)とPG検査で行う「胃がんリスク検査」の確立, 胃がん予防, 診断, その成果・問題点についての検討

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
平成27年度	森 島 敏 隆 (大阪府立成人病センターがん予防情報センター)	喫煙習慣が肺がん患者の生存期間に及ぼす影響
平成28年度	上部下部消化管症例検討撮影研究会 山 本 兼 右	胃がんX線検診における受診者の被ばく線量の算出 －Flat Panel Detector (FPD) デジタル撮影－
平成29年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 佐 藤 亮	がんサバイバーに対するがん検診の意義に関する研究
	ダイハツ保健センター	職域における疾病早期発見対策として導入した甲状腺エコー検査の実績と、その評価
平成30年度	市立豊中病院 消化器外科 富 丸 慶 人	十二指腸乳頭癌における他臓器重複癌の調査および十二指腸乳頭癌早期発見プロジェクトの開発
	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 中村ハルミ	病理医だけが知っている肺癌と喫煙の関係
令和1年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 中村ハルミ	喫煙 DNA メチル化異常を介した肺がん発生の免疫組織学的研究
	大阪がん循環器病予防センター 看護室 受診支援グループ 代表：浅井恵美子	がん検診の受診支援につながる情報提供とその評価
令和2年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター肝胆膵内科膵検査室 池 澤 賢 治	膵がんの早期発見向上を目指した新規膵検診プランの有効性
	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 血液内科 藤 重 夫	大阪府における HTLV1感染の実態把握の為の調査研究
	大阪がん循環器病予防センター 婦人科細胞診断部 代表：呉 美優貴	閉経後の要精検者に対する p16 免疫組織化学染色の有効性
令和3年度	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 放射線診断・IVR 科品質管理グループ 代表：川真田 実	二次発がん予防に向けたがん診療の放射線被ばく線量の実態調査
	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター がん対策センター 小山史穂子	口腔がん患者における飲酒習慣と10年生存率との関連
	大阪がん循環器病予防センター 消化管撮影班 代表：蓮 尾 智 之	胃 X 線がん検診におけるがん検出能の精度評価－対策型検診撮影法と任意型検診撮影法－
令和4年度	市立豊中病院 代表：松 本 健 吾	膵嚢胞患者における膵癌早期診断のためのスコアリングシステムの有用性評価とバイオマーカーを探索する単施設前方・後方視観察研究

年度	交付者名（団体・代表者名）	研 究 課 題
令和4年度	大阪がん循環器病予防センター 乳腺検診部 代表：濱田未佳	当センターでの発見癌症例からブレスト・アウェアネスの意義と普及により死亡率の減少につなげる

資 料 編

VII がん検診結果集計資料

1－(1) 胃がん検診実績表（施設検診・車検診号車別）

対象検診期間： 令和4年04月01日～令和5年03月31日

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計
1号	検診数	29	283	791	767	545	658	854	830	564	300	457	392	6,470
	検診回数	1	8	23	21	15	18	22	24	17	9	13	12	183
2号	検診数	0	112	93	0	41	0	0	30	0	0	0	0	276
	検診回数	0	3	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	7
8号	検診数	199	585	881	345	209	623	782	862	601	298	615	332	6,332
	検診回数	6	16	23	12	6	17	22	25	16	9	17	9	178
12号	検診数	132	729	782	676	354	636	682	818	558	349	607	428	6,751
	検診回数	4	20	24	20	11	18	20	22	17	10	18	13	197
車合計	検診数	360	1,709	2,547	1,788	1,149	1,917	2,318	2,540	1,723	947	1,679	1,152	19,829
	検診回数	11	47	72	53	33	53	64	72	50	28	48	34	565
施設計	検診数	408	738	945	985	979	1,232	1,262	1,203	1,030	715	987	1,017	11,501
	検診回数	20	19	22	20	22	20	20	20	19	18	19	22	241
総合計	検診数	768	2,447	3,492	2,773	2,128	3,149	3,580	3,743	2,753	1,662	2,666	2,169	31,330
	検診回数	31	66	94	73	55	73	84	92	69	46	67	56	806

1－(2) 胃がん検診結果集計表

対象期間： 令和4年04月01日～令和5年03月31日

X線	受診数	要精検	要精検率 (%)	精検受診 (%)	精検受診率 (%)	精検結果				がん症例の治療				39才以下 の割合	初回 の割合		
						胃がん	(うち早期)	良性隆起	潰瘍	潰瘍瘢痕	その他	異常なし	治癒切除			非治癒切除	その他
地域合計	20069	1141	5.7	1037	90.9	39	31	158	15	42	707	76	39	0	0	0.8	21.1
(29市町村)																	
職域合計	7557	221	2.9	188	85.1	1	0	31	4	4	127	21	1	0	0	16.2	19.1
(129団体)																	
検診友の会等合計	531	22	4.1	20	90.9	0	0	2	0	0	16	2	0	0	0	7.3	68.4
X線合計	28157	1384	4.9	1245	90.0	40	31	191	19	46	850	99	40	0	0	5.1	21.5
(1度目の読影で要精検)	975			878		37	29	128	14	29	605	65	37	0	0	1.9	31.1
(2度目の読影で要精検)	409			367		3	2	63	5	17	245	34	3	0	0	3.7	25.4

内視鏡	受診数	要精検率		精検受診率 (%)	精検結果				がん症例の治療				39才以下 の割合	初回 の割合				
		要精検	(%)		胃がん	(うち早期)	良性隆起	潰瘍	潰瘍瘢痕	その他	異常なし	治癒切除			非治癒切除	その他	不明	
内視鏡合計	3173	145	4.6	143	98.6	5	3	15	0	1	122	0	3	1	1	0	5.5	20.9

総合計	31330	1529	4.9	1388	45	34	206	19	47	972	99	43	1	1	0	5.1	21.4
-----	-------	------	-----	------	----	----	-----	----	----	-----	----	----	---	---	---	-----	------

1－(3) 胃がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [地域]

対象検診期間： 令和 4 年 04 月 01 日 ～ 令和 5 年 03 月 31 日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初 回	1 年前	その他 受診歴	要精検	要精検率 (%)	精 受診数	精検受診率 (%)	精検結果						
										胃がん	率(%)	うち早期がん	率(%)	良性隆起	潰瘍	その他
【 男 】																
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
30～34	12	0.1	7	4	1	1	8.3	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0
35～39	43	0.5	34	5	4	1	2.3	0	0.0	0	0	0	0	0	1	0
40～44	441	5.3	265	113	63	19	4.3	14	73.7	0	0	0	0	0	11	3
45～49	549	6.6	161	225	163	36	6.6	31	86.1	1	0	0	0	2	26	2
50～54	731	8.8	198	301	232	45	6.2	38	84.4	0	0	0	7	2	27	2
55～59	673	8.1	178	313	182	37	5.5	30	81.1	1	0	0	7	1	18	3
60～64	1002	12.0	342	441	219	86	8.6	73	84.9	3	2	0	10	2	53	5
65～69	1577	18.9	419	772	386	143	9.1	127	88.8	3	0	0	23	0	89	12
70～74	1809	21.7	216	1082	511	161	8.9	150	93.2	10	9	0	29	3	100	8
75～79	929	11.1	62	604	263	72	7.8	67	93.1	8	6	0	9	0	48	2
80～84	434	5.2	21	268	145	24	5.5	24	100.0	1	0	0	5	1	17	0
85～	140	1.7	7	86	47	11	7.9	10	90.9	1	1	0	3	0	6	0
計	8340	100.0	1910	4214	2216	636	7.6	565	88.8	28	23	0.28	93	11	396	37
【 女 】																
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0.00	0	0	0	0
30～34	30	0.2	24	3	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0.00	0	0	0	0
35～39	76	0.6	63	7	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0.00	0	0	0	0
40～44	984	8.0	571	249	164	42	4.3	39	92.9	0	0	0.00	3	0	31	5
45～49	1323	10.7	368	520	435	47	3.6	43	91.5	0	0	0.00	4	0	35	4
50～54	1514	12.3	363	593	558	54	3.6	50	92.6	2	1	0.07	9	1	33	5
55～59	1460	11.8	273	636	551	47	3.2	43	91.5	0	0	0.00	7	0	32	4
60～64	1627	13.2	316	758	553	79	4.9	72	91.1	2	1	0.06	9	1	55	5
65～69	1925	15.6	275	1007	643	102	5.3	98	96.1	6	4	0.32	16	0	71	5
70～74	1994	16.1	148	1126	720	101	5.1	95	94.1	2	2	0.10	16	1	69	7
75～79	955	7.7	61	536	358	37	3.9	36	97.3	2	2	0.21	4	1	25	4
80～84	387	3.1	23	205	159	28	7.2	27	96.4	0	0	0.00	4	0	23	0
85～	74	0.6	3	35	36	1	1.4	1	100.0	0	0	0.00	0	0	1	0
計	12349	100.0	2488	5675	4186	538	4.4	504	93.7	14	10	0.11	72	4	375	39

1－(4) 胃がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [職域]

対象検診期間： 令和4年04月01日～令和5年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初 回	1 年前	その他 受診歴	要精検	要精検率 (%)	精 検 受診数	精 検 受診率 (%)	精検結果				
										胃がん 率 (%)	うち早期がん 率 (%)	良性隆起	潰瘍	その他 異常なし
【 男 】														
～29	86	1.4	49	35	2	1	1.2	1	100.0	0.00	0	0	0	0
30～34	239	3.8	115	101	23	10	4.2	6	60.0	0.00	0	0	0	0
35～39	512	8.1	164	281	67	18	3.5	16	88.9	0.00	0	2	0	13
40～44	766	12.1	175	435	156	15	2.0	11	73.3	0.00	0	2	0	8
45～49	1085	17.1	170	620	295	34	3.1	28	82.4	0.00	0	5	0	19
50～54	1280	20.2	188	744	348	46	3.6	40	87.0	0.00	0	5	2	29
55～59	1063	16.8	132	562	369	54	5.1	51	94.4	0.09	1	7	1	38
60～64	763	12.0	86	511	166	38	5.0	35	92.1	0.00	0	8	0	24
65～69	378	6.0	49	263	66	27	7.1	22	81.5	0.53	0	2	0	18
70～74	139	2.2	14	103	22	9	6.5	9	100.0	0.00	0	1	0	8
75～79	22	0.3	2	14	6	0	0.0	0	0.0	0.00	0	0	0	0
80～84	1	0.0	0	1	0	0	0.0	0	0.0	0.00	0	0	0	0
85～	2	0.0	0	2	0	0	0.0	0	0.0	0.00	0	0	0	0
計	6336	100.0	1144	3672	1520	252	4.0	219	86.9	0.05	1	32	3	164
【 女 】														
～29	70	2.0	55	13	2	0	0.0	0	0.0	0.00	0	0	0	0
30～34	136	3.8	75	41	20	2	1.5	2	100.0	0.00	0	0	0	2
35～39	343	9.6	130	156	57	6	1.7	6	100.0	0.00	0	0	0	6
40～44	449	12.6	121	227	101	4	0.9	3	75.0	0.00	0	0	0	2
45～49	633	17.8	118	322	193	14	2.2	14	100.0	0.00	0	0	0	13
50～54	763	21.4	113	434	216	14	1.8	14	100.0	0.00	0	2	1	11
55～59	620	17.4	87	331	202	16	2.6	16	100.0	0.00	0	5	0	10
60～64	364	10.2	43	228	93	13	3.6	13	0.0	0.00	0	1	0	11
65～69	125	3.5	14	84	27	1	0.8	1	100.0	0.00	0	0	0	1
70～74	50	1.4	6	32	12	2	4.0	2	100.0	0.00	0	1	0	1
75～79	10	0.3	2	7	1	0	0.0	0	0.0	0.00	0	0	0	0
80～84	1	0.0	0	1	0	0	0.0	0	0.0	0.00	0	0	0	0
85～	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0.00	0	0	0	0
計	3564	100.0	764	1876	924	72	2.0	71	98.6	0.00	0	9	1	57
														4

1－(5) 胃がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [検診友の会等]

対象検診期間： 令和4年04月01日～令和5年03月31日

年齢階級 【男】	受診数	割合 (率)	受診歴 初 回	1 年前	その他 受診歴	要精検	要精検率 (%)	精 検 受診数	精 検 受診率 (%)	精検結果						
										胃がん	率(%)	うち早期がん	率(%)	良性隆起	潰瘍	その他
～29	9	2.7	3	6	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
30～34	9	2.7	3	5	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
35～39	11	3.3	7	3	1	1	9.1	1	100.0	0	0.00	0	0	1	0	0
40～44	23	6.9	13	7	3	1	4.3	1	100.0	0	0.00	0	0	0	1	0
45～49	56	16.8	29	21	6	2	3.6	2	100.0	0	0.00	0	0	0	1	1
50～54	42	12.6	23	14	5	1	2.4	1	100.0	0	0.00	0	0	0	1	0
55～59	35	10.5	23	7	5	3	8.6	3	100.0	0	0.00	0	0	0	2	1
60～64	38	11.4	18	15	5	1	2.6	1	100.0	0	0.00	0	1	0	0	0
65～69	24	7.2	9	10	5	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
70～74	22	6.6	4	11	7	1	4.5	1	100.0	0	0.00	0	0	0	1	0
75～79	41	12.3	7	23	11	2	4.9	2	100.0	0	0.00	0	1	0	1	0
80～84	20	6.0	3	12	5	3	15.0	3	100.0	0	0.00	0	0	0	3	0
85～	4	1.2	2	0	2	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
計	334	100.0	144	134	56	15	4.5	15	100.0	0	0.00	0	2	0	11	2
【女】																
～29	2	0.5	2	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
30～34	11	2.7	11	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
35～39	8	2.0	5	2	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
40～44	51	12.5	39	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
45～49	63	15.4	47	8	8	1	1.6	1	100.0	0	0.00	0	0	0	1	0
50～54	84	20.6	66	10	8	3	3.6	2	66.7	0	0.00	0	1	0	1	0
55～59	61	15.0	43	10	8	3	4.9	3	100.0	0	0.00	0	0	0	3	0
60～64	42	10.3	23	8	11	1	2.4	1	100.0	0	0.00	0	0	0	1	0
65～69	28	6.9	11	11	6	4	14.3	4	100.0	0	0.00	0	0	0	4	0
70～74	20	4.9	9	4	7	2	10.0	2	100.0	0	0.00	0	0	0	2	0
75～79	27	6.6	3	14	10	2	7.4	1	50.0	0	0.00	0	0	0	1	0
80～84	10	2.5	1	7	2	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
85～	1	0.2	1	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0	0	0	0
計	408	100.0	261	83	64	16	3.9	14	87.5	0	0.00	0	1	0	13	0

1－(6) 胃がん検診結果集計表（性・年齢階級別）〔総合計〕

対象検診期間： 令和4年04月01日～令和5年03月31日

年齢階級 【男】	受診数	割合 (率)	受診歴 初 回	1 年前	その他 受診歴	要精検	要精検率 (%)	精 受診数	精 検 受診率 (%)	精検結果							
										胃がん	率(%)	うち早期がん	率(%)	良性隆起	潰瘍	その他	異常なし
～29	95	0.6	52	41	2	1	1.1	1	10.0	0	0.00	0	0.00	0	0	1	0
30～34	260	1.7	125	110	25	11	4.2	6	54.5	0	0.00	0	0.00	0	0	6	0
35～39	566	3.8	205	289	72	20	3.5	18	90.0	0	0.00	0	0.00	2	0	15	1
40～44	1230	8.2	453	555	222	35	2.8	26	74.3	0	0.00	0	0.00	2	0	20	4
45～49	1690	11.3	360	866	464	72	4.3	61	84.7	1	0.06	0	0.00	5	2	46	7
50～54	2053	13.7	409	1059	585	92	4.5	79	85.9	0	0.00	0	0.00	12	4	57	6
55～59	1771	11.8	333	882	556	94	5.3	84	89.4	2	0.11	2	0.11	14	2	58	8
60～64	1803	12.0	446	967	390	125	6.9	109	87.2	3	0.17	2	0.11	19	2	77	8
65～69	1979	13.2	477	1045	457	170	8.6	149	87.6	5	0.25	3	0.15	25	0	107	12
70～74	1970	13.1	234	1196	540	171	8.7	160	93.6	10	0.51	9	0.46	30	3	109	8
75～79	992	6.6	71	692	280	74	7.5	69	93.2	8	0.81	6	0.60	10	0	49	2
80～84	455	3.0	24	281	150	27	5.9	27	100.0	1	0.22	1	0.22	5	1	20	0
85～	146	1.0	9	88	49	11	7.5	10	90.9	1	0.68	1	0.68	3	0	6	0
計	15010	100.0	3198	8020	3792	903	6.0	799	88.5	31	0.21	24	0.16	127	14	571	56
【女】																	
～29	72	0.4	57	13	2	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
30～34	177	1.1	110	44	23	2	1.1	2	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	2	0
35～39	427	2.6	198	165	64	6	1.4	6	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	6	0
40～44	1484	9.1	731	485	268	46	3.1	42	91.3	0	0.00	0	0.00	3	0	33	6
45～49	2019	12.4	533	850	636	62	3.1	58	93.5	0	0.00	0	0.00	4	0	49	5
50～54	2361	14.5	542	1037	782	71	3.0	66	93.0	2	0.08	1	0.04	12	2	45	5
55～59	2141	13.1	403	977	761	66	3.1	62	93.9	0	0.00	0	0.00	12	0	45	5
60～64	2033	12.5	382	994	657	93	4.6	86	92.5	2	0.10	1	0.05	10	1	67	6
65～69	2078	12.7	300	1102	676	107	5.1	103	96.3	6	0.29	4	0.19	16	0	76	5
70～74	2064	12.6	163	1162	739	105	5.1	99	94.3	2	0.10	2	0.10	17	1	72	7
75～79	992	6.1	66	557	369	39	3.9	37	94.9	2	0.20	2	0.20	4	1	26	4
80～84	398	2.4	24	213	161	28	7.0	27	96.4	0	0.00	0	0.00	4	0	23	0
85～	75	0.5	4	35	36	1	1.3	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	1	0
計	16321	100.0	3513	7634	5174	626	3.8	589	94.1	14	0.09	10	0.06	82	5	445	43

1－(7) 胃がん精検機関別精検受診数（令和４年度）

		精 検 機 関			
		大阪がん循環器病予防センター	他の医療機関	総 計	
地 域	X線受診	0	3	3	
	内視鏡受診	129	929	1,058	
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	0 129 (12.2)	0 932 (87.8)	0 1,061 (100.0)	
職 域	X線受診	0	1	1	
	内視鏡受診	169	104	273	
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	0 169 (61.7)	0 105 (38.3)	0 274 (100.0)	
検 診 友 の 会 等	X線受診	0	0	0	
	内視鏡受診	24	3	27	
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	0 24 (88.9)	0 3 (11.1)	0 27 (100.0)	
合 計	X線受診	0	4	4	
	内視鏡受診	322	1,036	1,358	
	X線内視鏡受診 精検受診数(総)計	0 322 (23.6)	0 1,040 (76.4)	0 1,362 (100.0)	

1－(8) 市町村別胃がん検診精密検査機関（令和４年度）

市町村名	要精検数	精検受診数（率）	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
豊能町	28	26（ 92.9 ）	1	18	2	0	5
能勢町	18	17（ 94.4 ）	1	4	0	0	12
吹田市	57	54（ 94.7 ）	1	8	10	9	26
摂津市（車）	3	3（ 100.0 ）	0	0	1	1	1
摂津市（施設）	1	1（ 100.0 ）	1	0	0	0	0
茨木市	8	8（ 100.0 ）	0	0	5	0	3
門真市	12	9（ 75.0 ）	6	2	0	0	1
四條畷市	11	9（ 81.8 ）	1	0	7	0	1
四條畷市（施設）	1	1（ 100.0 ）	1	0	0	0	0
八尾市	145	132（ 91.0 ）	24	13	17	19	59
八尾市（施設）	7	7（ 100.0 ）	5	0	0	0	2
柏原市	56	49（ 87.5 ）	9	12	1	5	22
柏原市（施設）	2	2（ 100.0 ）	0	1	0	0	1
松原市	74	68（ 91.9 ）	11	0	31	3	23
羽曳野市	96	86（ 89.6 ）	5	11	34	14	22
羽曳野市（施設）	2	1（ 50.0 ）	1	0	0	0	0
藤井寺市	105	94（ 89.5 ）	7	21	10	36	20
藤井寺市（施設）	4	4（ 100.0 ）	1	1	0	0	2
富田林市	64	54（ 84.4 ）	0	3	45	0	6
太子町	12	12（ 100.0 ）	3	3	5	1	0
千早赤阪村	9	9（ 100.0 ）	0	8	0	0	1
河内長野市	45	44（ 97.8 ）	4	19	7	0	14
和泉市	25	21（ 84.0 ）	1	15	2	1	2
泉大津市	65	62（ 95.4 ）	1	27	12	0	22
高石市	66	65（ 98.5 ）	3	9	23	19	11
忠岡町	15	10（ 66.7 ）	0	4	3	0	3
貝塚市	63	57	0	32	3	0	22
熊取町	38	35（ 92.1 ）	1	16	6	0	12
泉南市	56	47（ 83.9 ）	3	8	17	11	8
岬町	9	9（ 100.0 ）	0	0	7	0	2
大阪府市	50	49（ 98.0 ）	38	0	6	0	5
大阪府国保（トック）	1	0（ 0.0 ）	0	0	0	0	0
大阪府国保（無料ドック）	8	7（ 87.5 ）	1	1	3	0	2
大阪府国保（特定ドック）	18	17（ 94.4 ）	7	0	5	2	3
合計	1,174	1,069（ 91.1 ）	137	236	262	121	313

（註）公的病院に大学附属病院を含む

2- (1) 子宮頸がん検診結果集計表

対象検診期間： 令和4年04月01日～令和5年03月31日

	頭部受診数			要精検率		精検受診率 (%)	精 検 結 果						が ん 症 例 の 治 療				39才以下 の割合		
	体部受診数	要精検	(%)	精検受診	(%)		頸がん 体がん	(うち微小浸癌)	AIS・CIN3 異型増殖	CIN2・CIN1 複・単増殖	その他 異常なし	微小浸潤癌 手術	非手術	治癒切除	非治癒切除	結果不明			
地域合計 (29市町村)	10875	102	0.9	95	93.1	3	1	18	(15)	24	(2)	44	6	1	0	2	0	0	19.7
職域合計 (117団体)	4884	94	1.9	87	92.6	1	1	13	(12)	26	(2)	41	6	1	0	0	0	0	29.8
	46	2	4.3	2	100.0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	2.2
検診友の会等 合計	1071	25	2.3	24	96.0	0	0	1	(1)	4		16	3	0	0	0	0	0	9.9
	60	2	3.3	2	100.0	0	0	1		0	0	1	1	0	0	0	0	0	0.0
総合計	16830	221	1.3	206	93.2	4	2	32	(28)	54	(4)	101	15	2	0	2	0	0	22.0
	197	9	4.6	9	100.0	0	0	1		2		2	4	0	0	0	0	0	1.5

註：()内は、前がん病変で治療を受けたものを再掲。

2- (2) 子宮頸がん検診結果集計表 (年齢階級別)

対象検診期間： 令和4年04月01日～令和5年03月31日

年齢階級	受診数	判 定							要精検 率 (%)	精 検 受診数	精 検 受診率 (%)	精 検 結 果				異常 なし				
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL (軽度)	LSIL (中度)	LSIL (高度)	LSIL (上皮)				SCC	AGC	AIS	Adeno carci		Other	判定 不能	頸癌	うち微小 浸癌
[頸部]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～19	307	301	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
20～24	643	616	12	0	13	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	11	(1)	13
25～29	1417	1385	14	2	8	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4(4)	10	(0)	14
30～34	1328	1299	15	1	7	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5(4)	14	(0)	5
35～39	1676	1650	7	2	5	2	4	1	1	3	0	0	0	0	0	0	5(4)	4	(0)	4
40～44	1856	1829	18	3	1	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	2(2)	3	(1)	14
45～49	2191	2155	12	3	8	0	2	1	2	6	0	0	0	2	0	0	8(8)	97.1	0	20
50～54	1934	1918	8	0	2	0	1	2	0	2	1	0	0	0	0	0	3(3)	3	7	2
55～59	1793	1784	5	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2(1)	0	6	0
60～64	1363	1355	4	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1(1)	1	4	1
65～69	1408	1403	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0
70～74	639	636	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2(1)	0	1	0
75～79	224	224	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～84	37	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85～	16816	16592	99	12	50	15	12	6	6	19	2	0	0	3	4	2	32(28)	54	(4)	101
計																				15

年齢階級	受診数	判定			要精検			精検			精検結果			その他
		陰性	疑陽性	陽性	判定 不能	要精検	要精検率 (%)	精検 受診数	精検 受診率 (%)	体癌	異型 増殖	複雑型 増殖	単純型 増殖	
[体部]	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
19～	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
20～24	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
25～29	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
30～34	1	1	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
35～39	2	2	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
40～44	14	12	2	0	0	2	14.3	2	100.0	0	1	0	0	1
45～49	34	34	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
50～54	49	45	3	0	1	3	6.1	3	100.0	0	1	0	0	2
55～59	46	45	1	0	0	1	2.2	1	100.0	0	0	0	0	1
60～64	25	25	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
65～69	11	9	1	0	1	1	9.1	1	100.0	0	1	0	0	0
70～74	14	12	2	0	0	2	14.3	2	100.0	0	0	0	0	1
75～79	1	1	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
80～84	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
85～	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0
計	197	186	9	0	2	9	4.6	9	100.0	0	3	0	1	5

註) ()内は前がん病変で治療を受けたものを再掲示

2- (3) 子宮がん精検機関別精検受診数 (令和4年度)

	精 検 機 関				
	大阪がん循環器病予防センター	他 の 医 療 機 関		総 計	
地 域	頸部 49 (52.1)	頸部 45 (47.9)		94 (100.0)	
	体部 5 (100.0)	体部 0 (0.0)		5 (100.0)	
職 域	頸部 77 (88.5)	頸部 10 (11.5)		87 (100.0)	
	体部 1 (50.0)	体部 1 (50.0)		2 (100.0)	
検 診 友 の 会 等	頸部 22 (91.7)	頸部 2 (8.3)		24 (100.0)	
	体部 2 (100.0)	体部 0 (0.0)		2 (100.0)	
合 計	頸部 148 (72.2)	頸部 57 (27.8)		205 (100.0)	
	体部 8 (88.9)	体部 1 (11.1)		9 (100.0)	

2- (4) 市町村別子宮がん検診精密検査機関 (令和4年度)

市町村名	要精検数	精検受診数	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
能勢町	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)
摂津市 (車)	17 (0)	16 (0)	9 (0)	3 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)
茨木市	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
門真市	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
四條畷市 (施設)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大東市	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
八尾市	22 (0)	20 (0)	6 (0)	4 (0)	5 (0)	5 (0)	0 (0)
八尾市 (施設)	5 (0)	5 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
柏原市	2 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
柏原市 (施設)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
羽曳野市	5 (0)	4 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
羽曳野市 (施設)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
藤井寺市 (施設)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大阪狭山市	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
富田林市	4 (0)	4 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)
太子町	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)
太子町 (施設)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
河内南町	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
貝塚市	7 (0)	7 (0)	0 (0)	5 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
熊取町	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
泉南市	4 (0)	4 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
堺市	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大阪市	15 (3)	15 (3)	15 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	102 (5)	95 (5)	49 (5)	22 (0)	12 (0)	11 (0)	1 (0)

註) 公的病院に大学附属病院を含む

註) () 内は体部

3- (1) 乳がん検診結果集計表

対象検診期間： 令和 4 年 04 月 01 日 ～ 令和 5 年 03 月 31 日

	受診数	要精検	要精検率		精検受診率 (%)	精 検 結 果					が ん 症 例 の 治 療		39才以下 の 割 合		
			(%)	精検受診 (%)		乳がん (うち早期がん)	線維腺腫	乳腺症	その他 異常なし	治癒切除	非治癒切除 結果不明				
地域合計 (31 市町村)	14900	657	4.4	616	93.8	72	47	26	47	335	136	68	4	0	1.9
職域合計 (117 団体)	4780	147	3.1	141	95.9	10	8	10	10	79	32	9	0	1	17.6
検診友の会等 合計	1638	68	4.2	63	92.6	8	7	2	5	39	9	8	0	0	6.5
総合計	21318	872	4.1	820	94.0	90	62	38	62	453	177	85	4	1	5.8

3－ (2) 乳がん検診結果集計表 (年齢階級別)

対象検診期間： 令和4年04月01日～令和5年03月31日

年齢階級	割合		要精検数	要精検率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	精 検 結 果					
	受診数	(%)					乳がん(%)	うち早期がん	線維腺腫	乳腺症	その他	異常なし
～29	256	1.2	4	1.6	3	75.0	0	0.00	1	0	2	0
30～34	393	1.8	7	1.8	6	85.7	0	0.00	3	1	2	0
35～39	577	2.7	14	2.4	14	100.0	0	0.00	1	0	11	2
40～44	2410	11.3	153	6.3	143	93.5	4	0.17	14	15	85	25
45～49	2810	13.2	139	4.9	129	92.8	12	0.43	6	17	74	20
50～54	3403	16.0	165	4.8	155	93.9	16	0.47	6	9	92	32
55～59	2892	13.6	121	4.2	117	96.7	14	0.48	2	8	63	30
60～64	2605	12.2	77	3.0	73	94.8	12	0.46	2	4	33	22
65～69	2171	10.2	86	4.0	82	95.3	14	0.64	1	4	45	18
70～74	2244	10.5	67	3.0	62	92.5	8	0.36	1	3	31	19
75～79	1088	5.1	29	2.7	27	93.1	9	0.83	1	1	11	5
80～84	383	1.8	8	2.1	8	100.0	1	0.26	0	0	4	3
85～	86	0.4	2	2.3	1	50.0	0	0.00	0	0	0	1
合計	21318	100.0	872	4.1	820	94.0	90	0.42	38	62	453	177

3－ (3) 乳がん精検機関別精検受診数 (令和4年度)

	精 検 機 関			
	大阪がん循環器病予防センター	他 の 医 療 機 関	総 計	
地 域	263 (42.7)	353 (57.3)	616 (100.0)	
職 域	108 (76.6)	33 (23.4)	141 (100.0)	
検 診 友 の 会 等	62 (98.4)	1 (1.6)	63 (100.0)	
合 計	433 (52.8)	387 (47.2)	820 (100.0)	

3- (4) 市町村別乳がん検診精密検査機関 (令和4年度)

市町村名	要精検数	精検受診数	当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
池田市	50	49 (98.0)	3	44	0	0	2
能勢町	11	11 (100.0)	2	8	0	1	0
豊能町	6	5 83.3	1	3	1	0	0
摂津市 (車)	56	55 (98.2)	26	8	16	1	4
摂津市 (施設)	1	1 (100.0)	1	0	0	0	0
茨木市	6	5 83.3	1	0	2	0	2
島本町	18	18 (100.0)	10	2	5	0	1
門真市	34	32 (94.1)	27	1	0	2	2
四條畷市	7	7 (100.0)	6	0	0	0	1
四條畷市 (施設)	5	5 100.0	5	0	0	0	0
大東市	7	7 (100.0)	7	0	0	0	0
八尾市 (施設)	9	9 (100.0)	9	0	0	0	0
柏原市	21	21 (100.0)	12	3	0	0	6
柏原市 (施設)	9	8 (88.9)	8	0	0	0	0
松原市	16	14 (87.5)	6	0	3	2	3
羽曳野市	37	36 (97.3)	4	25	7	0	0
羽曳野市 (施設)	2	2 (100.0)	2	0	0	0	0
藤井寺市	51	49 (96.1)	9	26	12	0	2
藤井寺市 (施設)	2	2 (100.0)	2	0	0	0	0
大阪狭山市	24	22 (91.7)	3	11	8	0	0
富田林市	17	16 (94.1)	3	0	10	0	3
太子町	6	6 (100.0)	0	2	2	0	2
太子町 (施設)	1	1 100.0	1	0	0	0	0
千早赤阪村	5	4 (80.0)	2	2	0	0	0
千早赤阪村 (施設)	1	1 100.0	1	0	0	0	0
河内長野市	30	30 (100.0)	1	20	4	0	5
泉大津市	27	27 (100.0)	1	9	0	14	3
高石市 (施設)	1	1 100.0	1	0	0	0	0
忠岡町	2	2 (100.0)	0	0	0	2	0
熊取町	28	27 (96.4)	5	21	0	1	0
泉南市	17	17 (100.0)	1	14	1	1	0
岬町	10	10 (100.0)	1	3	5	0	1
堺市	39	16 (41.0)	8	0	7	0	1
東大阪市	3	3 (100.0)	3	0	0	0	0
大阪府	98	97 (99.0)	91	1	4	0	1
合計	657	616 (93.8)	263	203	87	24	39

註) 公的病院に大学附属病院を含む

4－（1）肺がん検診結果集計表

対象検診期間： 令和4年04月01日～令和5年03月31日

	受診数	X線 受診数	CT 受診数	喀痰提 出者数	要精検	要精検率 (%)	精検受診	精検受診率 (%)	がん症例の治療		
									肺がん	治癒切除	非治癒切除 非切除
地域 (22市町)	15683	15670	66	475	562	3.6	546	97.2	12	7	1 4
職域合計 (124団体)	12185	11748	918	221	268	2.2	246	91.8	2	2	0 0
検診友の会等 合計	1262	964	309	22	59	4.7	55	93.2	1	1	0 0
総合計	29130	28382	1293	718	889	3.1	847	95.3	15	10	1 4

註) 本表には、労働衛生安全法に基づく定期健康診断、人間ドック等による胸部X線検査の受診者数 (10,844) の結果を含む

4－(2) 肺がん検診 (CT) 結果集計表 (性・年齢階級別)

対象検診期間： 令和4年04月01日～令和5年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	CT のみ	CT 喀痰	受診歴 初 回 1年前	CT判定区分*					要精検率精 (%)		精 検 結 果						
						A	B	C	D	E	(%)	受診数		精検受診率 (%)					
【男】																			
～29	11	2.1	9	2	5	6	0	3	0	2	18.2	2	100.0	0	0	0	2	0	
30～34	18	3.5	15	3	10	4	0	8	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	
35～39	22	4.3	15	7	12	9	0	9	1	1	4.5	1	100.0	0	0	0	1	0	
40～44	36	7.0	29	7	16	15	0	18	0	2	5.6	1	50.0	0	0	0	1	0	
45～49	66	12.8	54	12	23	38	0	36	3	2	3.0	2	100.0	0	0	0	2	0	
50～54	74	14.3	61	13	25	38	0	45	2	7	9.5	6	85.7	1	2	0	3	0	
55～59	65	12.6	53	12	22	33	0	37	3	4	6.2	3	75.0	0	1	0	2	0	
60～64	86	16.7	66	20	12	62	0	61	0	7	8.1	7	100.0	0	1	0	6	0	
65～69	62	12.0	41	21	14	40	0	46	2	2	3.2	2	100.0	0	0	0	2	0	
70～74	46	8.9	37	9	6	32	0	34	1	5	10.9	4	80.0	0	0	0	4	0	
75～79	19	3.7	17	2	3	14	0	15	2	2	10.5	2	100.0	0	0	0	2	0	
80～84	8	1.6	7	1	0	7	0	7	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	
85～	3	0.6	2	1	1	1	0	3	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	
計	516	100.0	406	110	149	299	0	145	322	15	34	6.6	30	88.2	1	4	0	25	0
【女】																			
～29	3	1.0	3	0	2	1	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	
30～34	12	3.9	10	2	10	2	0	4	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	
35～39	15	4.9	11	4	9	3	0	7	0	1	6.7	0	0.0	0	0	0	0	0	
40～44	22	7.2	18	4	6	15	0	11	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	
45～49	31	10.2	29	2	12	12	0	25	0	1	3.2	1	100.0	0	0	0	1	0	
50～54	45	14.8	34	11	19	18	0	34	1	4	8.9	4	100.0	0	0	0	4	0	
55～59	48	15.7	38	10	12	24	0	35	1	4	8.3	3	75.0	0	0	0	3	0	
60～64	54	17.7	46	8	10	27	0	47	2	1	1.9	0	0.0	0	0	0	0	0	
65～69	36	11.8	31	5	8	22	0	23	2	6	16.7	6	100.0	0	1	0	5	0	
70～74	17	5.6	14	3	1	9	0	15	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	
75～79	14	4.6	11	3	7	6	0	11	0	2	14.3	2	100.0	0	0	0	2	0	
80～84	6	2.0	6	0	1	3	0	6	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	
85～	2	0.7	1	1	1	0	0	2	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	
計	305	100.0	252	53	98	142	0	60	220	6	19	6.2	16	84.2	0	1	0	15	0

注* CT判定区分 A:読影不能 B:異常所見を認めず C:異常所見を認めるも精検不要 D:異常所見を認めるも肺がん以外 E:肺がん疑い

4－（3）肺がん検診（直接X線）結果集計表（性・年齢階級別）

対象検診期間： 令和4年04月01日～令和5年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	X線 のみ	X線 略痰	受診歴		X線判定区分*					要精検率精		精 検 数	精 検 受診率 (%)	精 検 結 果		
					初 回	1 年前	A	B	C	D	E	(%)	(%)			肺がん	異常なし	転移性肺腫瘍その他
【男】																		
～29	21	0.3	21	0	21	20	0	0	20	0	0	1	48	1	100.0	0	1	0
30～34	39	0.5	39	0	34	33	1	0	37	1	0	1	26	1	100.0	0	1	0
35～39	122	1.7	122	0	61	57	10	0	109	10	0	3	25	3	100.0	0	1	0
40～44	507	7.0	507	0	246	229	52	4	440	52	4	11	22	10	90.9	0	6	0
45～49	723	9.9	723	0	207	207	86	13	605	86	13	19	26	18	94.7	0	3	0
50～54	897	12.3	850	47	259	252	129	8	731	129	8	29	32	28	96.6	0	10	0
55～59	924	12.7	861	63	217	224	178	18	704	178	18	24	26	23	95.8	0	9	0
60～64	783	10.8	714	69	277	274	160	15	571	160	15	37	47	36	97.3	0	16	0
65～69	1071	14.7	971	100	368	411	266	22	724	266	22	59	55	55	93.2	0	23	0
70～74	1096	15.1	999	97	230	379	351	26	662	351	26	57	52	56	98.2	3	17	0
75～79	662	9.1	587	75	99	230	237	11	378	237	11	36	54	36	100.0	1	9	0
80～84	322	4.4	296	26	43	106	139	7	153	139	7	23	7.1	21	91.3	2	5	0
85～	113	1.6	108	5	20	43	51	1	48	51	1	13	11.5	13	100.0	0	2	0
計	7280	100.0	6798	482	2082	2465	1660	125	5182	1660	125	313	4.3	301	96.2	6	103	0
【女】																		
～29	52	0.5	52	0	50	1	1	1	48	1	1	2	3.8	2	100.0	0	1	0
30～34	38	0.4	38	0	28	3	0	0	38	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0
35～39	94	0.9	94	0	63	11	11	0	82	11	0	1	1.1	1	100.0	0	0	0
40～44	836	8.1	836	0	489	188	44	6	768	44	6	18	2.2	16	88.9	0	5	0
45～49	1174	11.4	1174	0	370	362	147	3	1009	147	3	15	1.3	13	86.7	0	5	0
50～54	1368	13.3	1355	0	381	485	160	15	1172	160	15	21	1.5	20	95.2	0	7	0
55～59	1256	12.2	1243	14	301	484	248	14	965	248	14	29	2.3	28	96.6	0	10	0
60～64	1262	12.3	1250	15	329	563	288	23	916	288	23	35	2.8	35	100.0	0	14	0
65～69	1351	13.2	1334	14	314	693	344	18	934	344	18	55	4.1	53	96.4	2	13	1
70～74	1558	15.2	1548	16	265	864	459	28	1020	459	28	51	3.3	49	96.1	2	15	0
75～79	842	8.2	837	9	115	501	285	13	498	285	13	46	5.5	46	100.0	1	13	0
80～84	337	3.3	334	3	58	183	130	6	184	130	6	17	5.0	17	100.0	0	4	0
85～	91	0.9	91	2	12	48	33	3	48	33	3	7	7.7	7	100.0	1	1	0
計	10259	100.0	10186	73	2775	4386	2150	130	7682	2150	130	297	2.9	287	96.6	6	88	1

注* X線判定区分 A:読影不能 B:異常所見を認めるも精検不要 C:異常所見を認めるも肺がん以外 E:肺がん疑い

5ー (1) 大腸がん (便潜血) 検診結果集計表

対象検診期間： 令和4年04月01日～令和5年03月31日

	要精検率		精検 受診 (%)	精検受診率 (%)	精検結果			がん症例の治療			39才以下 の割合	初回 割合					
	受診数	陽性数			大腸がん (うち早期 がん)	腺腫 の隆起	その他 憩室他異常なし	早期手術	ポリペク トミール治療 切除	不明							
地域合計 (22市町村)	21458	929	4.3	818	88.1	55	34	399	77	127	160	5	29	20	1	0.3	19.5
職域合計 (89団体)	10035	382	3.8	272	71.2	4	4	108	43	35	82	2	2	0	0	14.6	18.6
検診友の会等 合計	966	55	5.7	43	78.2	6	1	21	4	3	9	1	0	4	1	5.5	52.8
総合計	32459	1366	4.2	1133	82.9	65	39	528	124	165	251	8	31	24	2	4.2	22.3

5－(2) 大腸がん検診結果集計表（性・年齢階級別）〔地域〕

対象検診期間： 令和4年04月01日～令和5年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初 回	1 年前	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	精 検 結 果								
										大腸がん	率(%)	うち早期がん	率(%)	腺腫	その他隆起	その他	異常なし	
【男】																		
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
30～34	7	0.1	4	2	1	2	28.6	1	50.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	1
35～39	19	0.2	16	2	1	1	5.3	1	100.0	0	0.00	0	0.00	1	0	0	0	0
40～44	376	4.7	227	97	52	14	3.7	10	71.4	0	0.00	0	0.00	1	1	4	4	4
45～49	499	6.2	133	227	139	18	3.6	14	77.8	0	0.00	0	0.00	4	2	3	5	5
50～54	687	8.5	178	324	185	26	3.8	24	92.3	1	0.15	1	0.15	14	2	3	4	4
55～59	636	7.9	150	310	176	28	4.4	26	92.9	2	0.31	1	0.16	14	2	3	5	5
60～64	903	11.2	306	413	184	40	4.4	34	85.0	1	0.11	1	0.11	24	1	3	5	5
65～69	1530	19.0	411	771	348	77	5.0	60	77.9	8	0.52	7	0.46	30	7	10	5	5
70～74	1794	22.3	204	1148	442	98	5.5	87	88.8	7	0.39	3	0.17	50	6	16	8	8
75～79	933	11.6	64	649	220	56	6.0	50	89.3	3	0.32	2	0.21	29	7	5	6	6
80～84	497	6.2	29	323	145	49	9.9	44	89.8	2	0.40	0	0.00	28	2	7	5	5
85～	172	2.1	8	121	43	15	8.7	14	93.3	1	0.58	0	0.00	7	1	0	5	5
計	8053	100.0	1730	4387	1936	424	5.3	365	86.1	25	0.31	15	0.19	202	31	54	53	53
【女】																		
～29	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
30～34	16	0.1	13	3	0	1	6.3	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	1
35～39	33	0.2	31	1	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0
40～44	924	6.9	526	248	150	25	2.7	20	80.0	1	0.11	0	0.00	5	0	2	12	12
45～49	1253	9.3	351	463	439	37	3.0	29	78.4	1	0.08	0	0.00	8	3	2	15	15
50～54	1499	11.2	325	611	563	48	3.2	44	91.7	2	0.13	2	0.13	15	3	7	17	17
55～59	1515	11.3	260	717	538	64	4.2	59	92.2	3	0.20	2	0.13	25	9	10	12	12
60～64	1776	13.2	343	899	534	70	3.9	62	88.6	7	0.39	4	0.23	34	5	6	10	10
65～69	2223	16.6	324	1236	663	76	3.4	73	96.1	4	0.18	2	0.09	38	9	8	14	14
70～74	2395	17.9	186	1465	744	95	4.0	86	90.5	6	0.25	6	0.25	33	10	19	18	18
75～79	1177	8.8	67	732	378	56	4.8	51	91.1	2	0.17	1	0.08	27	5	12	5	5
80～84	467	3.5	33	280	154	27	5.8	25	92.6	4	0.86	2	0.43	11	1	7	2	2
85～	127	0.9	5	69	53	6	4.7	3	50.0	0	0.00	0	0.00	1	1	0	1	1
計	13405	100.0	2464	6724	4217	505	3.8	453	89.7	30	0.22	19	0.14	197	46	73	107	107

5－(3) 大腸がん検診結果集計表（性・年齢階級別）〔職域〕

対象検診期間： 令和4年04月01日～令和5年03月31日

年齢階級	受診数	割合 (率)	受診歴 初 回	1年前	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	精 検				果 腺腫	その他隆起	その他	異常なし
										大腸がん	率 (%)	うち早期がん	率 (%)				
【男】																	
～29	108	1.8	54	49	5	2	1.9	1	50.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	1
30～34	208	3.5	95	99	14	15	7.2	8	53.3	0	0.00	0	0.00	2	1	1	4
35～39	497	8.3	158	278	61	20	4.0	12	60.0	0	0.00	0	0.00	3	3	1	5
40～44	710	11.8	150	413	147	20	2.8	11	55.0	0	0.00	0	0.00	2	2	2	5
45～49	1021	17.0	166	575	280	29	2.8	23	79.3	0	0.00	0	0.00	6	5	5	7
50～54	1179	19.6	174	679	326	48	4.1	34	70.8	0	0.00	0	0.00	12	5	7	10
55～59	1043	17.3	141	518	384	42	4.0	25	59.5	2	0.19	2	0.19	13	2	3	5
60～64	709	11.8	93	465	151	35	4.9	32	91.4	1	0.14	1	0.14	18	7	1	5
65～69	359	6.0	50	275	34	21	5.8	16	76.2	0	0.00	0	0.00	9	4	1	2
70～74	147	2.4	10	117	20	11	7.5	10	90.9	0	0.00	0	0.00	7	1	2	0
75～79	25	0.4	1	19	5	3	12.0	1	33.3	0	0.00	0	0.00	1	0	0	0
80～84	5	0.1	0	4	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
85～	5	0.1	0	4	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
計	6016	100.0	1092	3495	1429	246	4.1	173	70.3	3	0.05	3	0.05	73	30	23	44
【女】																	
～29	121	3.0	81	37	3	3	2.5	2	66.7	0	0.00	0	0.00	0	0	0	2
30～34	153	3.8	58	79	16	6	3.9	4	66.7	0	0.00	0	0.00	0	0	2	2
35～39	380	9.5	122	194	64	13	3.4	9	69.2	0	0.00	0	0.00	1	1	0	7
40～44	496	12.3	124	269	103	23	4.6	12	52.2	0	0.00	0	0.00	5	1	2	4
45～49	715	17.8	126	393	196	26	3.6	20	76.9	1	0.14	1	0.14	8	1	2	8
50～54	815	20.3	119	472	224	24	2.9	19	79.2	0	0.00	0	0.00	10	4	2	3
55～59	726	18.1	81	410	235	21	2.9	17	81.0	0	0.00	0	0.00	3	4	3	7
60～64	380	9.5	38	259	83	12	3.2	9	75.0	0	0.00	0	0.00	5	1	1	2
65～69	147	3.7	17	113	17	6	4.1	5	83.3	0	0.00	0	0.00	2	1	0	2
70～74	69	1.7	8	50	11	2	2.9	2	100.0	0	0.00	0	0.00	1	0	0	1
75～79	16	0.4	3	11	2	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
80～84	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
85～	1	0.0	0	1	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
計	4019	100.0	777	2288	954	136	3.4	99	72.8	1	0.14	1	0.14	35	13	12	38

5－(4) 大腸がん検診結果集計表（性・年齢階級別）〔検診友の会等〕

対象検診期間： 令和4年04月01日～令和5年03月31日

年齢階級 【男】	受診数	割合 (率)	受診歴 初 回	1 年前	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	精 検 結 果							
										大腸がん	率(%)	うち早期がん	率(%)	腺腫	その他隆起	その他	異常なし
～29	8	1.9	2	6	0	1	12.5	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
30～34	9	2.1	4	4	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
35～39	10	2.4	5	5	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
40～44	22	5.3	14	8	0	2	9.1	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
45～49	54	12.9	32	21	1	2	3.7	2	100.0	0	0.00	0	0.00	2	0	0	0
50～54	47	11.2	28	13	6	3	6.4	1	33.3	0	0.00	0	0.00	1	0	0	0
55～59	43	10.3	29	9	5	3	7.0	2	66.7	0	0.00	0	0.00	1	0	1	0
60～64	45	10.7	24	17	4	1	2.2	1	100.0	1	2.22	0	0.00	0	0	0	0
65～69	34	8.1	16	12	6	2	5.9	1	50.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	1
70～74	31	7.4	8	13	10	3	9.7	1	33.3	0	0.00	0	0.00	0	0	0	1
75～79	86	20.5	16	55	15	6	7.0	6	100.0	3	3.49	1	1.16	2	0	0	1
80～84	25	6.0	1	17	7	3	12.0	3	100.0	0	0.00	0	0.00	3	0	0	0
85～	5	1.2	3	0	2	2	40.0	2	100.0	0	0.00	0	0.00	2	0	0	0
計	419	100.0	182	180	57	28	6.7	19	67.9	4	0.95	1	0.24	11	0	1	3
【女】																	
～29	1	0.2	1	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
30～34	13	2.4	12	0	1	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
35～39	12	2.2	8	1	3	1	8.3	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0	1	0	0
40～44	61	11.2	46	12	3	1	1.6	1	100.0	1	1.64	0	0.00	0	0	0	0
45～49	74	13.5	55	10	9	3	4.1	2	66.7	0	0.00	0	0.00	1	0	0	1
50～54	103	18.8	77	12	14	6	5.8	5	83.3	0	0.00	0	0.00	3	0	0	2
55～59	72	13.2	57	8	7	4	5.6	3	75.0	0	0.00	0	0.00	2	0	0	1
60～64	52	9.5	24	12	16	3	5.8	3	100.0	0	0.00	0	0.00	1	0	1	1
65～69	33	6.0	15	12	6	2	6.1	2	100.0	0	0.00	0	0.00	1	0	0	1
70～74	29	5.3	16	9	4	2	6.9	2	100.0	0	0.00	0	0.00	1	1	0	0
75～79	73	13.3	11	46	16	4	5.5	4	100.0	1	1.37	0	0.00	1	2	0	0
80～84	21	3.8	5	10	6	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0
85～	3	0.5	1	2	0	1	33.3	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0	1	0
計	547	100.0	328	134	85	27	4.9	24	88.9	2	0.37	0	0.00	10	4	2	6

5- (5) 大腸がん検診結果集計表 (性・年齢階級別) [総合計]

対象検診期間：令和4年04月01日～令和5年03月31日

年齢階級 【男】	受診数	割合 (率)	受診歴 初回	1年前	その他 受診歴	判定 陽性	陽性率 (%)	精 検 受診数	精検受診率 (%)	精 検 結 果							
										大腸がん	率(%)	うち早期がん	率(%)	腺腫	その他隆起	その他	異常なし
～29	116	0.8	56	55	5	3	2.6	1	33.3	0	0.00	0	0.00	0	0	0	1
30～34	224	1.5	103	105	16	17	7.6	9	52.9	0	0.00	0	0.00	2	1	1	5
35～39	526	3.6	179	285	62	21	4.0	13	61.9	0	0.00	0	0.00	4	3	1	5
40～44	1108	7.6	391	518	199	36	3.2	21	58.3	0	0.00	0	0.00	3	3	6	9
45～49	1574	10.9	331	823	420	49	3.1	39	79.6	0	0.00	0	0.00	12	7	8	12
50～54	1913	13.2	380	1016	517	77	4.0	59	76.6	1	0.05	1	0.05	27	7	10	14
55～59	1722	11.9	320	837	565	73	4.2	53	72.6	4	0.23	3	0.17	28	4	7	10
60～64	1657	11.4	423	895	339	76	4.6	67	88.2	3	0.18	2	0.12	42	8	4	10
65～69	1923	13.3	477	1058	388	100	5.2	77	77.0	8	0.42	7	0.36	39	11	11	8
70～74	1972	13.6	222	1278	472	112	5.7	98	87.5	7	0.35	3	0.15	57	7	18	9
75～79	1044	7.2	81	723	240	65	6.2	57	87.7	6	0.57	3	0.29	32	7	5	7
80～84	527	3.6	30	344	153	52	9.9	47	90.4	2	0.38	0	0.00	31	2	7	5
85～	182	1.3	11	125	46	17	9.3	16	94.1	1	0.55	0	0.00	9	1	0	5
計	14488	100.0	3004	8062	3422	698	4.8	557	79.8	32	0.22	19	0.13	286	61	78	100
【女】																	
～29	122	0.7	82	37	3	3	2.5	2	66.7	0	0.00	0	0.00	0	0	0	2
30～34	182	1.0	83	82	17	7	3.8	5	71.4	0	0.00	0	0.00	0	0	2	3
35～39	425	2.4	161	196	68	14	3.3	10	71.4	0	0.00	0	0.00	1	2	0	7
40～44	1481	8.2	696	529	256	49	3.3	33	67.3	2	0.14	0	0.00	10	1	4	16
45～49	2042	11.4	532	866	644	66	3.2	51	77.3	2	0.10	1	0.05	17	4	4	24
50～54	2417	13.4	521	1095	801	78	3.2	68	87.2	2	0.08	2	0.08	28	7	9	22
55～59	2313	12.9	398	1135	780	89	3.8	79	88.8	3	0.13	2	0.09	30	13	13	20
60～64	2208	12.3	405	1170	633	85	3.8	74	87.1	7	0.32	4	0.18	40	6	8	13
65～69	2403	13.4	356	1361	686	84	3.5	80	95.2	4	0.17	2	0.08	41	10	8	17
70～74	2493	13.9	210	1524	759	99	4.0	90	90.9	6	0.24	6	0.24	35	11	19	19
75～79	1266	7.0	81	789	396	60	4.7	55	91.7	3	0.24	1	0.08	28	7	12	5
80～84	488	2.7	38	290	160	27	5.5	25	92.6	4	0.82	2	0.41	11	1	7	2
85～	131	0.7	6	72	53	7	5.3	4	57.1	0	0.00	0	0.00	1	1	1	1
計	17971	100.0	3569	9146	5256	668	3.7	576	86.2	33	0.18	20	0.11	242	63	87	151

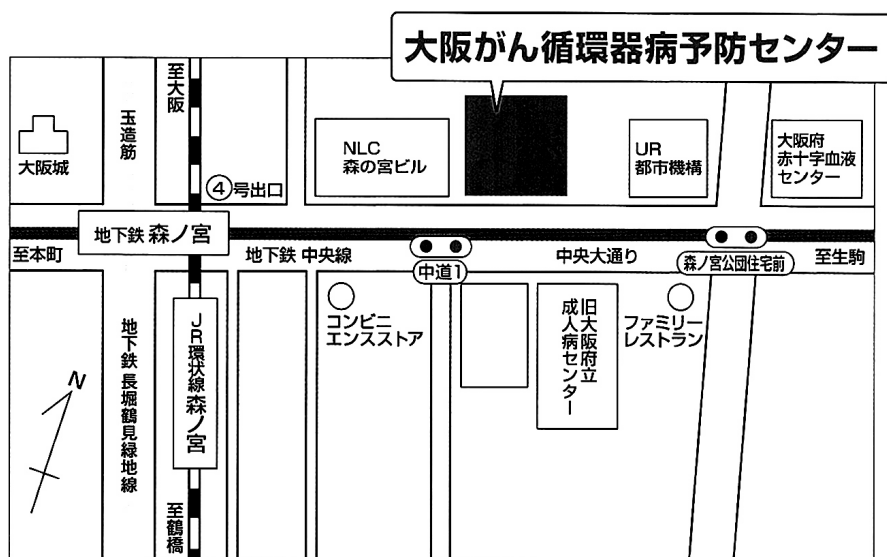
5- (6) 大腸がん精検機関別精検受診数 (令和4年度)

		精 検 機 関		
		大阪がん循環器病予防センター	他 の 医 療 機 関	総 計
地 域	X線受診	0	0	0
	内視鏡受診	0	772	772
	X線内視鏡受診	0	46	46
	精検受診数(総)計	0 (0.0)	818 (100.0)	818 (100.0)
職 域	X線受診	0	2	2
	内視鏡受診	0	268	268
	X線内視鏡受診	0	3	3
	精検受診数(総)計	0 (0.0)	273 (100.0)	273 (100.0)
検 診 友 の 会 等	X線受診	0	0	0
	内視鏡受診	0	43	43
	X線内視鏡受診	0	0	0
	精検受診数(総)計	0 (0.0)	43 (100.0)	43 (100.0)
合 計	X線受診	0	2	2
	内視鏡受診	0	1,083	1,083
	X線内視鏡受診	0	49	49
	精検受診数(総)計	0 (0.0)	1,134 (100.0)	1,134 (100.0)

5- (7) 市町村別大腸がん検診精密検査機関 (令和4年度)

市町村名	要精検数	精検受診数(率)		当センター	公的病院	一般病院	専門機関	その他
豊能町	28	25 (	89.3)	0	22	0	0	3
能勢町	22	20 (	90.9)	0	7	1	0	12
吹田市	42	39 (	92.9)	0	11	7	10	11
摂津市(車)	4	3	75.0	0	1	2	0	0
摂津市(施設)	2	1 (	50.0)	0	0	1	0	0
門真市	14	10 (	71.4)	0	2	1	0	7
四條畷市(施設)	4	4	100.0	0	1	1	0	2
大東市	3	2 (	66.7)	0	0	0	0	2
八尾市(施設)	11	11	100.0	0	3	2	5	1
柏原市	39	31 (	79.5)	0	12	1	17	1
柏原市(施設)	9	6 (	66.7)	0	0	1	5	0
松原市	52	48 (	92.3)	0	1	20	20	7
羽曳野市	119	114 (	95.8)	0	17	35	39	23
羽曳野市(施設)	5	4 (	80.0)	0	1	0	2	1
藤井寺市	91	80 (	87.9)	0	16	6	48	10
藤井寺市(施設)	2	2	100.0	0	0	1	0	1
太子町	20	18 (	90.0)	0	0	13	3	2
千早赤阪村	14	14 (	100.0)	0	5	8	0	1
河内長野市	34	26 (	76.5)	0	16	3	2	5
泉大津市	72	63 (	87.5)	0	42	3	14	4
高石市	43	36 (	83.7)	0	6	11	16	3
高石市(施設)	1	1	100.0	0	0	0	1	0
貝塚市	50	45 (	90.0)	0	29	4	0	12
熊取町	52	46 (	88.5)	0	30	13	0	3
泉南市	37	33 (	89.2)	0	8	19	5	1
岬町	25	23 (	92.0)	0	5	9	0	9
大阪府	72	61 (	84.7)	0	11	9	33	8
八尾市国保ドック	1	1	100.0	0	0	0	1	0
大阪府国保(ドック)	4	3 (	75.0)	0	1	0	2	0
大阪府国保(無料ドック)	13	12 (	92.3)	0	1	3	6	2
大阪府国保(特定ドック)	44	36 (	81.8)	0	5	9	14	8
合計	929	818 (	88.1)	0	253	183	243	139

(註) 公的病院に大学附属病院を含む



<交通>

- JR 環状線「森ノ宮」下車 北出口
- 地下鉄 中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮」下車 ④号出口
東へ徒歩 2 分

事業年報（令和4年度）

発行日 令和6年3月
 編集・発行 大阪がん循環器病予防センター
 〒536-8588 大阪市城東区森之宮1丁目6番107号
 TEL 06(6964)0666(代)
 FAX 06(6964)0665
 URL <http://www.osaka-ganjun.jp>

印刷所 石川特殊特急製本株式会社

ISSN 2188-0093